

**障がい福祉アンケート調査結果の集計
(松山市分)**

障がい福祉アンケート調査結果

1. 調査実施期間

平成29年7月～8月

2. 調査対象者

身体障害者手帳所持者，療育手帳所持者，精神障害者保健福祉手帳所持者，難病患者，発達障がいと診断された者，高次脳機能障がいと診断された者，重症心身障害児（者）

3. 調査方法，送付先

- ・方法 郵送によるアンケート送付，回収，無記名
- ・送付先 各事業所等の利用者（障害福祉サービス事業所，障害児通所支援事業所），各特別支援学校の在校生，難病患者

4. 送付数と回収数（愛媛県全体の数値を計上）

送付数，回収数，回収率

	送付数	回収数	回収率（%）
施設利用者（障害福祉サービス事業所，障害児通所支援事業所）	約 4,000	3,371	84.2
各特別支援学校	1,475	1,004 名	68
難病患者	213	118	55.3
送付合計	5,688	4,493	78.9

5. 集計結果

設問ごとに，集計結果の表とグラフを掲示しました。グラフ内の数字は，パーセンテージを示しています。ただし，数値が0（集計表内では「-」で表記）など，グラフ内数字を省略しているものもあります。

グラフ化では，回答者を「合計」と障がい別に「身体障害者」，「知的障害者」，「精神障害者」，「難病」，「発達障がい」，「高次脳機能障がい」，「重症心身障害児（者）」「上記以外で何らかの障がいがある」「不明・無回答」に分け，SA（単数回答）については，100分率の帯グラフで表し，MA（複数回答）については，棒グラフで表しました。

なお，本年度より「障害児福祉計画」についても策定する関係上，障がい児

(18歳未満)と障がい者(18歳以上)に分け、グラフ・表を集計しています。

※このアンケート調査は、愛媛県及び県内市町の障がい者施策の指針となる「県(市町)障害者計画」やその実施計画となる「県(市町)障害福祉計画」、「県(市町)障害児福祉計画」を策定するにあたり、障がいのある方やそのご家族の状況、ご意見及びご要望を把握するために愛媛県と県内市町が連携して実施したものです。以下の設問毎の数値は、愛媛県全体の内、松山市分を集計した数値となっています。

※次ページ以降の本文の記載については、便宜上、「障がい児」「障がい者」をそれぞれ「児」「者」と記載しています。

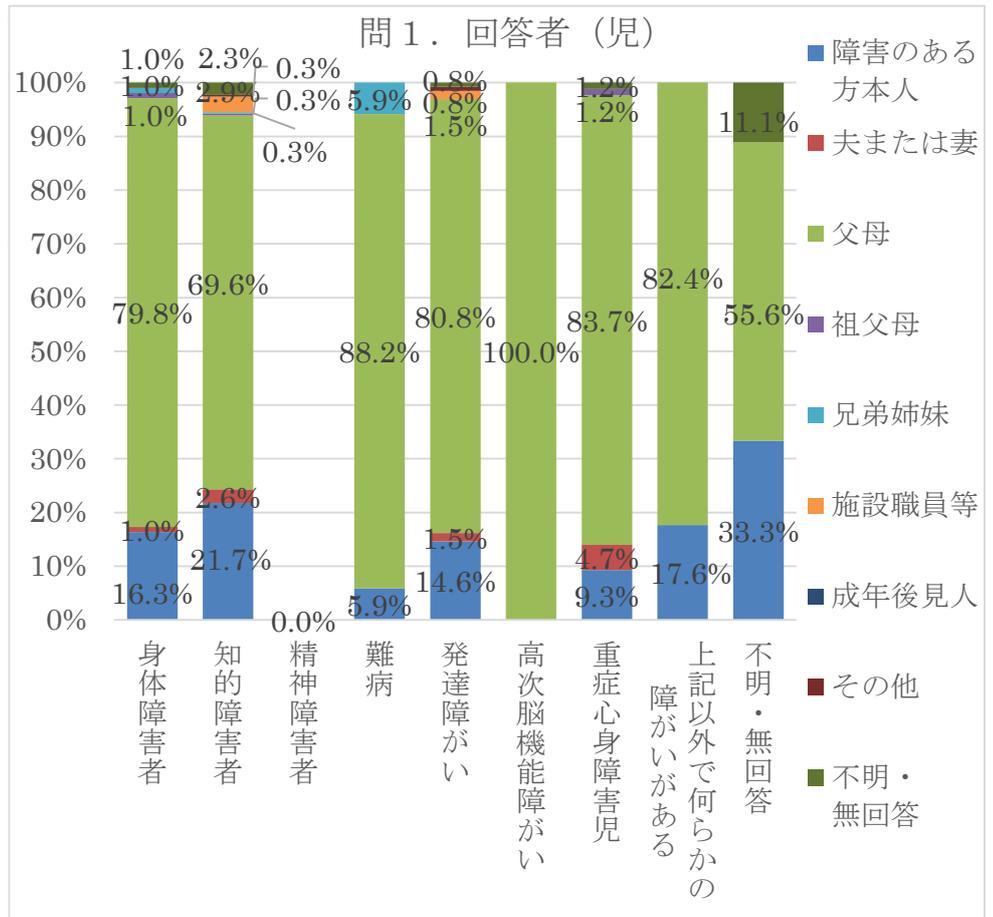
(1) 回答者

問1 このアンケートにお答えいただいている方について、あてはまるものに1つだけ ○をしてください。ご本人に確認しながら代筆する場合は、「1 本人」に○をしてください。

- | | | | |
|--------|---------|---------|-------|
| 1 本人 | 2 夫または妻 | 3 父母 | 4 祖父母 |
| 5 兄弟姉妹 | 6 施設職員等 | 7 成年後見人 | 8 その他 |

児の調査票回答者は、障がい種別に関わらず「父母」が最も高く、全体で75.5%である。

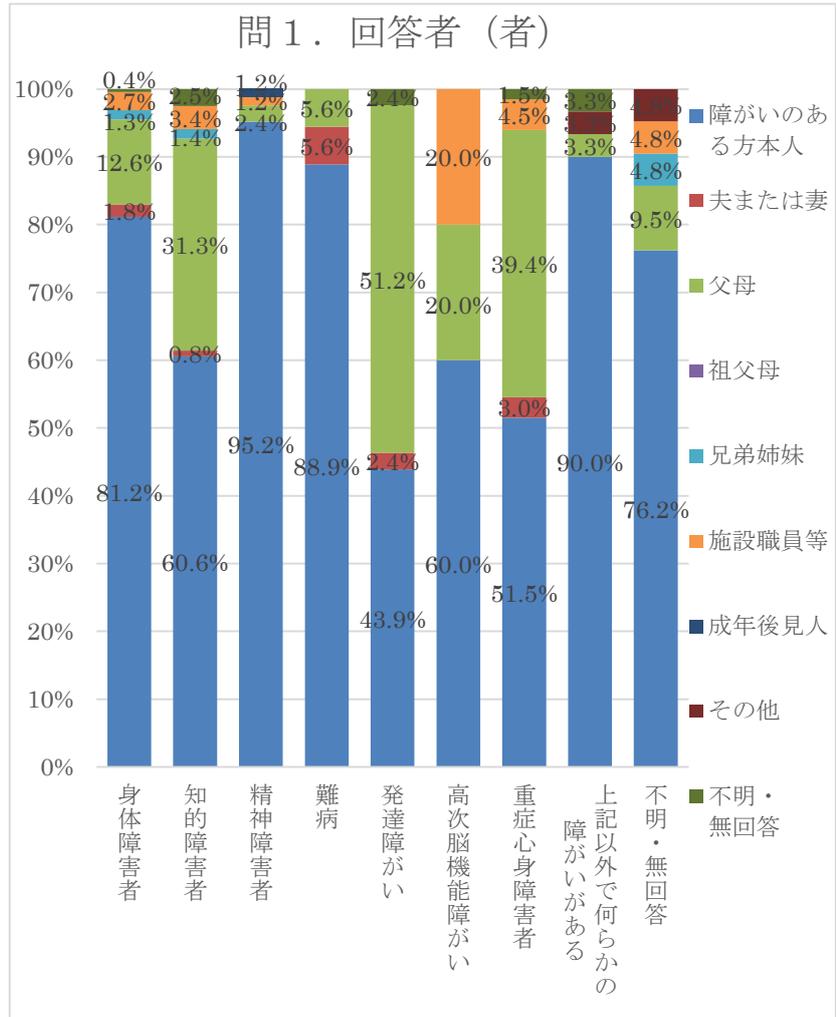
なお、児は今回のアンケートでは、精神障害者保健福祉手帳の所持者はいなかった。



上段:度数 下段:%	障がいのある方 本人	夫または妻	父母	祖父母	兄弟姉妹	施設職員等	成年後見人	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	17	1	83	1	1	-	-	-	1	104
	16.3%	1.0%	79.8%	1.0%	1.0%	-	-	-	1.0%	100.0%
知的障害者	75	9	240	1	1	10	-	1	8	345
	21.7%	2.6%	69.6%	0.3%	0.3%	2.9%	-	0.3%	2.3%	100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	1	-	15	-	-	1	-	-	-	17
	5.9%	-	88.2%	-	5.9%	-	-	-	-	100.0%
発達障がい	19	2	105	-	-	2	-	1	1	130
	14.6%	1.5%	80.8%	-	-	1.5%	-	0.8%	0.8%	100.0%
高次脳機能障がい	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	100.0%
重症心身障害児	8	4	72	1	-	-	-	-	1	86
	9.3%	4.7%	83.7%	1.2%	-	-	-	-	1.2%	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	3	-	14	-	-	-	-	-	0	17
	17.6%	-	82.4%	-	-	-	-	-	0.0%	100.0%
不明・無回答	3	-	5	-	-	-	-	-	1	9
	33.3%	-	55.6%	-	-	-	-	-	11.1%	100.0%
合計	126	16	536	3	3	12	-	2	12	710
	17.7%	2.3%	75.5%	0.4%	0.4%	1.7%	-	0.3%	1.7%	100.0%

者の調査票回答者は、全体では「本人」が最も多く、70.3%である。

回答者で多いのは「父母」で、障がい別では、発達障がい51.2%で最も多く、次いで重症心身障害者が39.4%である。



上段:度数 下段:%	障がいのある方 本人	夫または妻	父母	祖父母	兄弟姉妹	施設職員等	成年後見人	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	181 81.2%	4 1.8%	28 12.6%	-	3 1.3%	6 2.7%	-	-	1 0.4%	223 100.0%
知的障害者	215 60.6%	3 0.8%	111 31.3%	-	5 1.4%	12 3.4%	-	-	9 2.5%	355 100.0%
精神障害者	79 95.2%	-	2 2.4%	-	-	1 1.2%	1 1.2%	-	-	83 100.0%
難病	32 88.9%	2 5.6%	2 5.6%	-	-	-	-	-	-	36 100.0%
発達障がい	18 43.9%	1 2.4%	21 51.2%	-	-	-	-	-	1 2.4%	41 100.0%
高次脳機能障がい	6 60.0%	-	2 20.0%	-	-	2 20.0%	-	-	-	10 100.0%
重症心身障害者	34 51.5%	2 3.0%	26 39.4%	-	-	3 4.5%	-	-	1 1.5%	66 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	27 90.0%	-	1 3.3%	-	-	-	-	1 3.3%	1 3.3%	30 100.0%
不明・無回答	16 76.2%	-	2 9.5%	-	1 4.8%	1 4.8%	-	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%
合計	608 70.3%	12 1.4%	195 22.5%	-	9 1.0%	25 2.9%	1 0.1%	2 0.2%	13 1.5%	865 100.0%

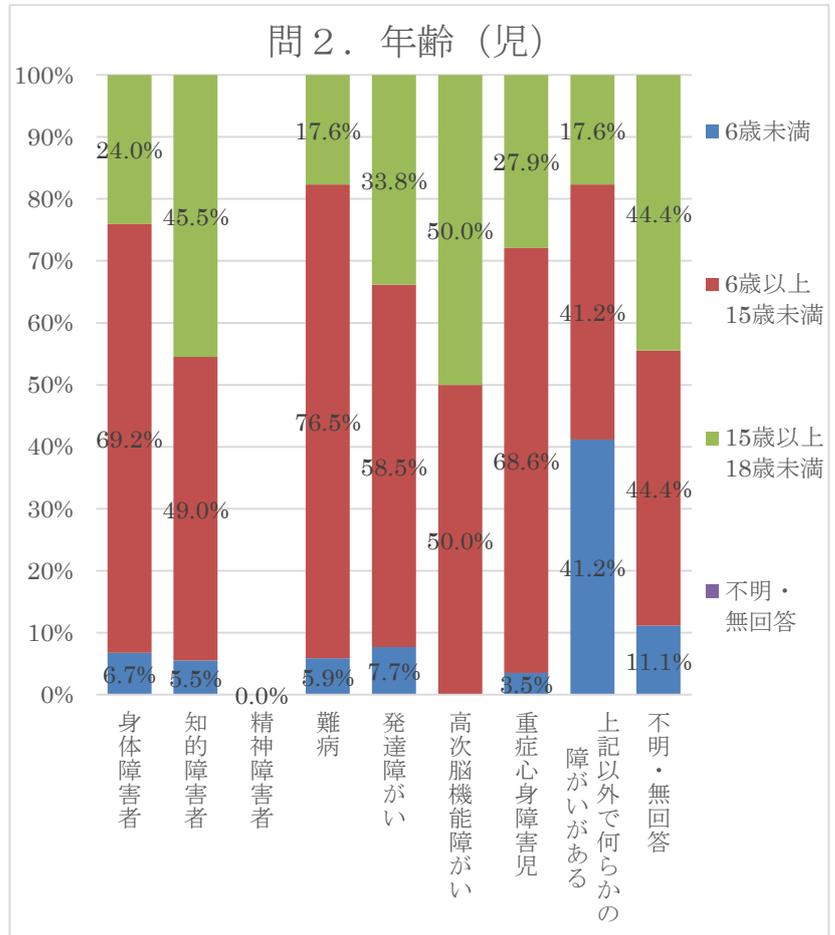
(2) 年齢

問2 ご本人の年齢をお書きください。

平成29年4月1日現在

歳

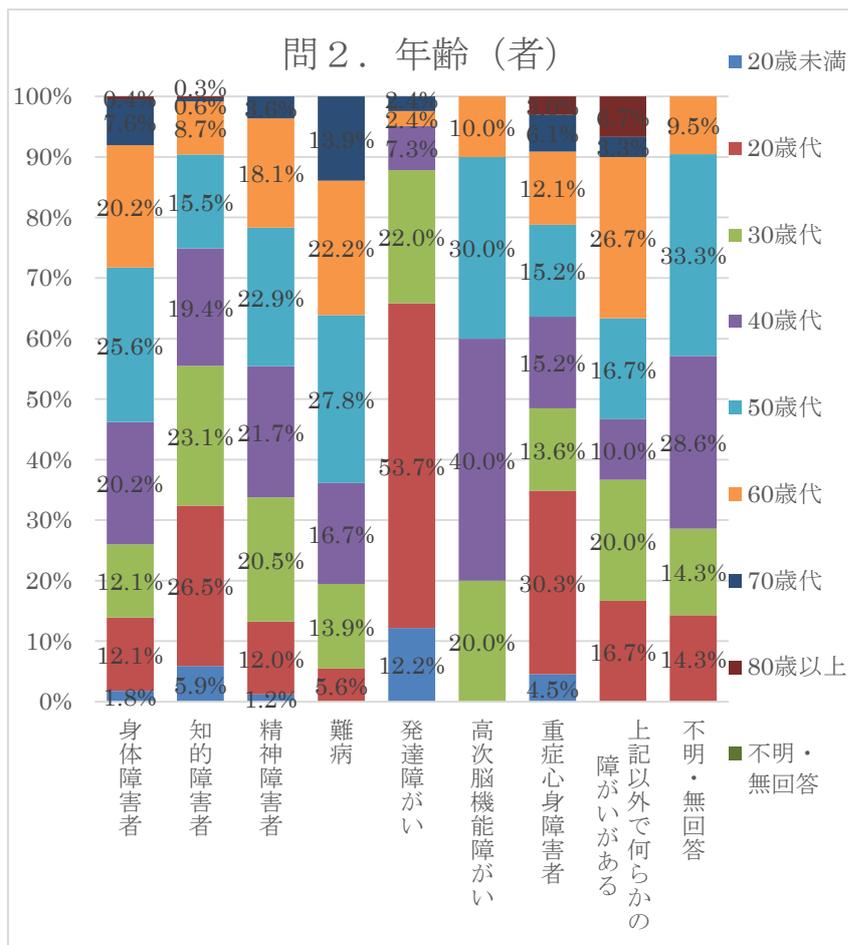
児の年齢は、全体で義務教育期間である「6歳以上15歳未満」の者が56.5%と最も多く、次いで「15歳以上18歳未満」の者が36.8%である。



上段:度数 下段:%	6歳未満	6歳以上15歳未満	15歳以上18歳未満	不明・無回答	合計
身体障害者	7 6.7%	72 69.2%	25 24.0%	-	104 100%
知的障害者	19 5.5%	169 49.0%	157 45.5%	-	345 100%
精神障害者	-	-	-	-	-
難病	1 5.9%	13 76.5%	3 17.6%	-	17 100%
発達障がい	10 7.7%	76 58.5%	44 33.8%	-	130 100%
高次脳機能障がい	-	1 50.0%	1 50.0%	-	2 100%
重症心身障害児	3 3.5%	59 68.6%	24 27.9%	-	86 100%
上記以外で何らかの障がいがある	7 41.2%	7 41.2%	3 17.6%	-	17 100%
不明・無回答	1 11.1%	4 44.4%	4 44.4%	-	9 100%
合計	48 6.8%	401 56.5%	261 36.8%	-	710 100%

者の年齢は、全体では「20歳代」が21.2%、「30歳代」が18.5%、「40歳代」が19%、「50歳代」が19.2%で、これらの年代で77.9%を占めている一方、「70歳代」は3.8%、「80歳以上」は0.7%であり、大きく開きがある。

障がい別では、全体の年齢階層に準じているが、発達障がいは「20歳代」が53.7%、重症心身障害者も同様に30.3%であり、比率が高い。



上段:度数 下段:%	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明・無回答	合計
身体障害者	4	27	27	45	57	45	17	1	-	223
	1.8%	12.1%	12.1%	20.2%	25.6%	20.2%	7.6%	0.4%	-	100%
知的障害者	21	94	82	69	55	31	2	1	-	355
	5.9%	26.5%	23.1%	19.4%	15.5%	8.7%	0.6%	0.3%	-	100%
精神障害者	1	10	17	18	19	15	3	-	-	83
	1.2%	12.0%	20.5%	21.7%	22.9%	18.1%	3.6%	-	-	100%
難病	-	2	5	6	10	8	5	-	-	36
	-	5.6%	13.9%	16.7%	27.8%	22.2%	13.9%	-	-	100%
発達障がい	5	22	9	3	-	1	1	-	-	41
	12.2%	53.7%	22.0%	7.3%	-	2.4%	2.4%	-	-	100%
高次脳機能障がい	-	-	2	4	3	1	-	-	-	10
	-	-	20.0%	40.0%	30.0%	10.0%	-	-	-	100%
重症心身障害者	3	20	9	10	10	8	4	2	-	66
	4.5%	30.3%	13.6%	15.2%	15.2%	12.1%	6.1%	3.0%	-	100%
上記以外で何らかの障がいがある	-	5	6	3	5	8	1	2	-	30
	-	16.7%	20.0%	10.0%	16.7%	26.7%	3.3%	6.7%	-	100%
不明・無回答	-	3	3	6	7	2	-	-	-	21
	-	14.3%	14.3%	28.6%	33.3%	9.5%	-	-	-	100%
合計	34	183	160	164	166	119	33	6	-	865
	3.9%	21.2%	18.5%	19.0%	19.2%	13.8%	3.8%	0.7%	-	100.0%

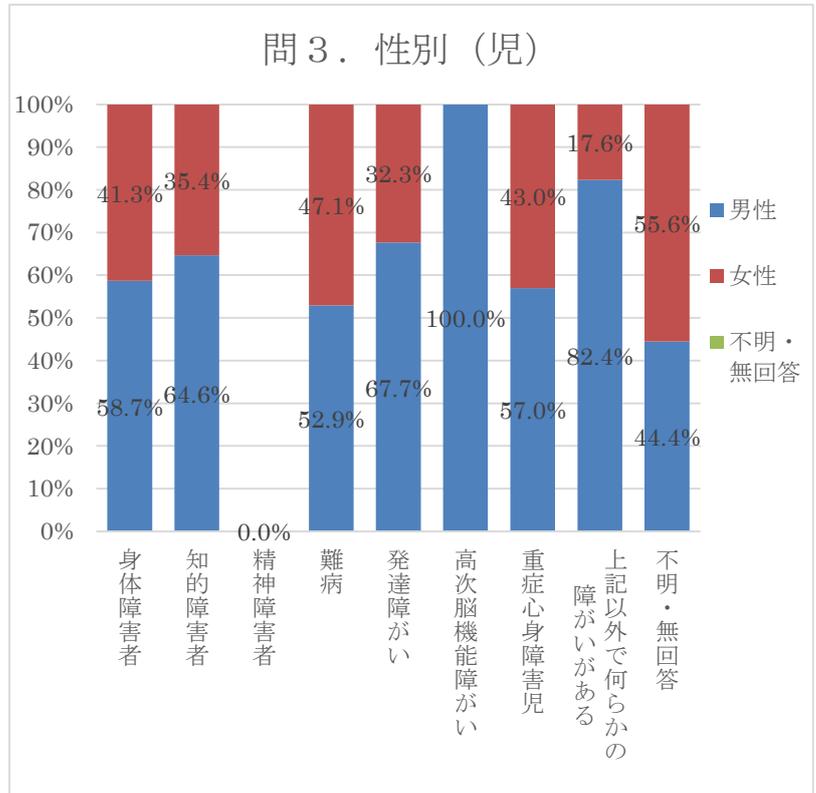
(3) 性別

問3 ご本人の性別について、あてはまるものに○をしてください。

1 <small>おとこ</small> 男	2 <small>おんな</small> 女
----------------------------------	----------------------------------

児の性別は、全体で見は「男性」が63.4%、「女性」が36.6%であり、「男性」の比率がやや高い。

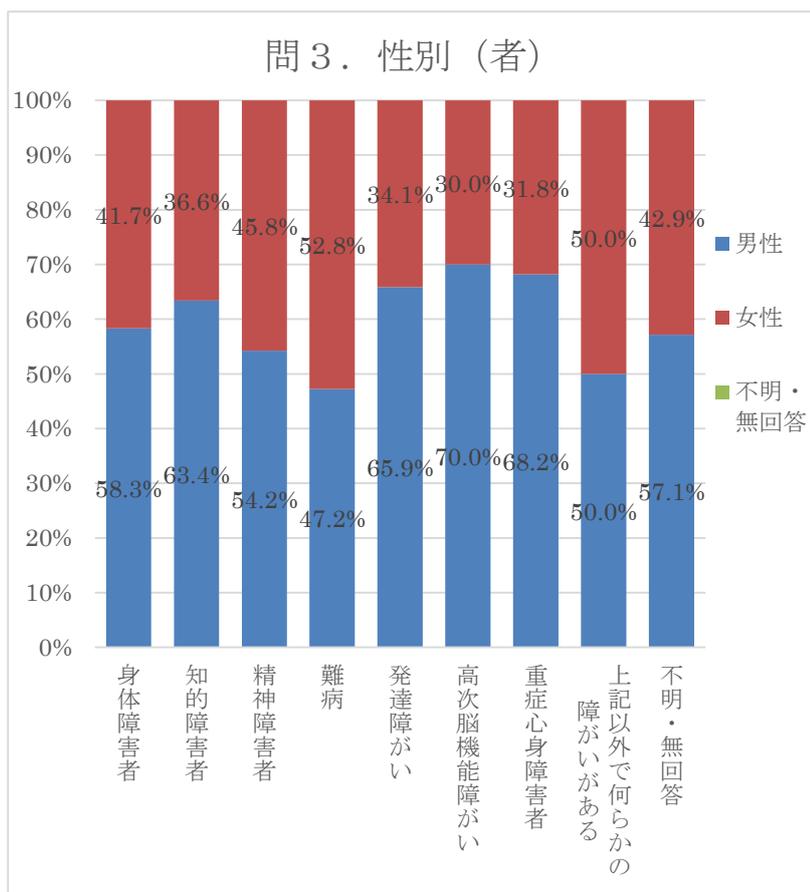
障がい別では、高次脳機能障がいは「男性」が100%である（児の回答者が2名であったため、有意な差ではないと考えられる）。



上段:度数 下段:%	男性	女性	不明・無回答	合計
身体障害者	61 58.7%	43 41.3%	-	104 100.0%
知的障害者	223 64.6%	122 35.4%	-	345 100.0%
精神障害者	-	-	-	-
難病	9 52.9%	8 47.1%	-	17 100.0%
発達障がい	88 67.7%	42 32.3%	-	130 100.0%
高次脳機能障がい	2 100.0%	0 0.0%	-	2 100.0%
重症心身障害児	49 57.0%	37 43.0%	-	86 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	14 82.4%	3 17.6%	-	17 100.0%
不明・無回答	4 44.4%	5 55.6%	-	9 100.0%
合計	450 63.4%	260 36.6%	-	710 100.0%

者の性別は、全体では「男性」が60.5%、「女性」が39.5%であり、「男性」の比率がやや高い。

障がい別では、難病のみ、「女性」が52.8%であり、「男性」の47.2%を上回っている。



上段:度数 下段:%	男性	女性	不明・無回答	合計
身体障害者	130 58.3%	93 41.7%	-	223 100.0%
知的障害者	225 63.4%	130 36.6%	-	355 100.0%
精神障害者	45 54.2%	38 45.8%	-	83 100.0%
難病	17 47.2%	19 52.8%	-	36 100.0%
発達障がい	27 65.9%	14 34.1%	-	41 100.0%
高次脳機能障がい	7 70.0%	3 30.0%	-	10 100.0%
重症心身障害者	45 68.2%	21 31.8%	-	66 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	15 50.0%	15 50.0%	-	30 100.0%
不明・無回答	12 57.1%	9 42.9%	-	21 100.0%
合計	523 60.5%	342 39.5%	-	865 100.0%

(4) 居住している市町

問4 ご本人がお住まいの市町に○をしてください。施設入所中の方は、障害福祉サービス受給者証を交付した市町に○をしてください。入院中の方は帰宅先の市町に○をしてください。(○をするのは1つだけ)

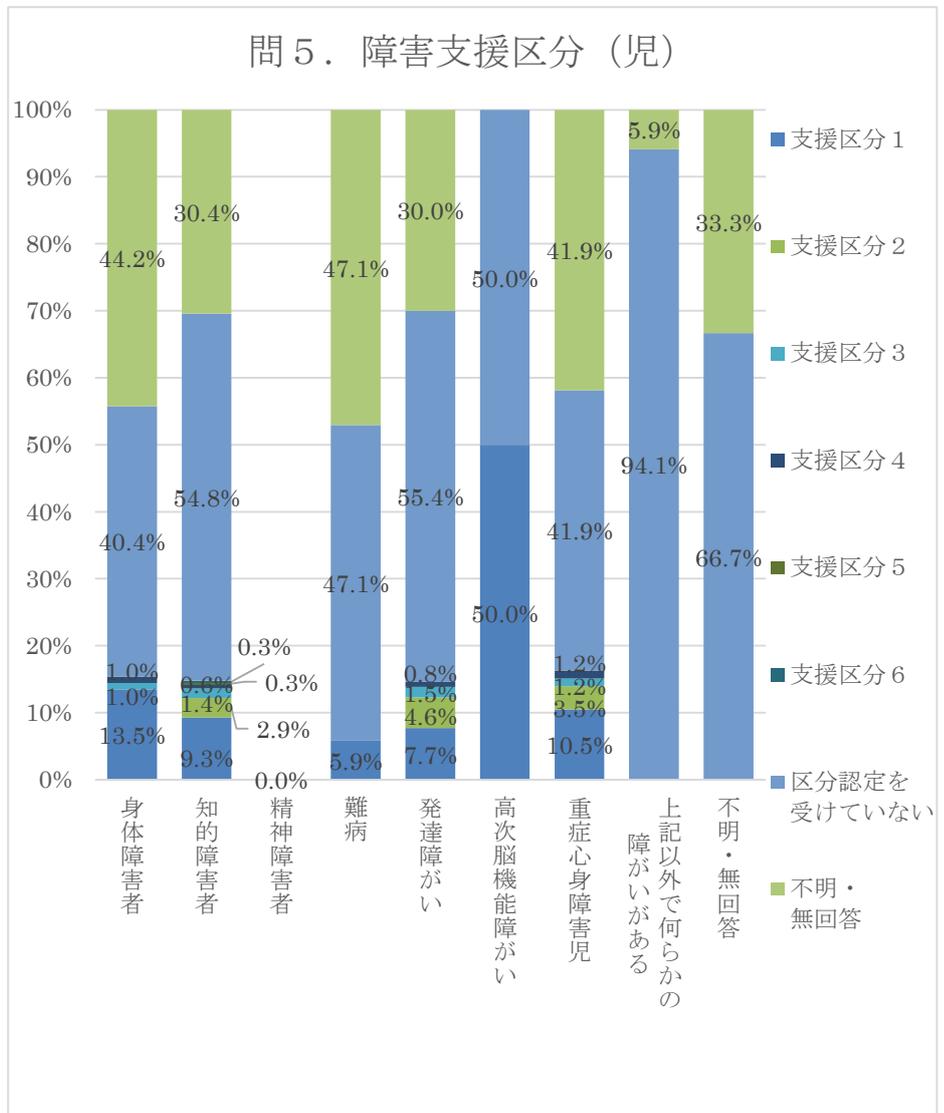
※松山市居住者のみを抽出しているため、省略。

(5) 障害のある方ご本人の障害支援区分について

問5 ご本人の障害支援区分について、該当するものに○をしてください。

- | | | |
|----------------|-----------|-----------|
| 1 障害支援区分1 | 2 障害支援区分2 | 3 障害支援区分3 |
| 4 障害支援区分4 | 5 障害支援区分5 | 6 障害支援区分6 |
| 7 区分の認定を受けていない | | |

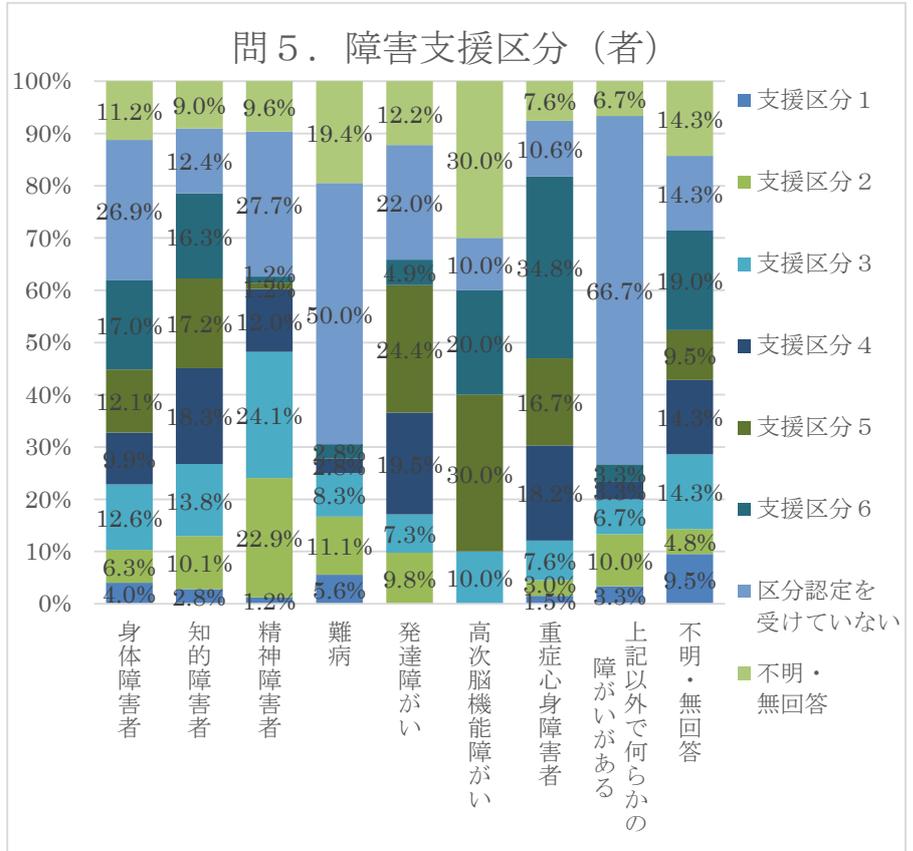
児の障害支援区分は、全体では「区分認定を受けていない」が52.1%と最も多い。一方、障害支援区分を受けている者も、「支援区分1」の9.4%以外はごく少数であり、障害支援区分を受けていない児が多い。



上段:度数 下段:%	支援区分1	支援区分2	支援区分3	支援区分4	支援区分5	支援区分6	区分認定を 受けていない	不明・無回答	合計
身体障害者	14 13.5%	-	1 1.0%	1 1.0%	-	-	42 40.4%	46 44.2%	104 100.0%
知的障害者	32 9.3%	10 2.9%	5 1.4%	2 0.6%	1 0.3%	1 0.3%	189 54.8%	105 30.4%	345 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	1 5.9%	-	-	-	-	-	8 47.1%	8 47.1%	17 100.0%
発達障がい	10 7.7%	6 4.6%	2 1.5%	1 0.8%	-	-	72 55.4%	39 30.0%	130 100.0%
高次脳機能障がい	1 50.0%	-	-	-	-	-	1 50.0%	-	2 100.0%
重症心身障害児	9 10.5%	3 3.5%	1 1.2%	1 1.2%	-	-	36 41.9%	36 41.9%	86 100.0%
上記以外で何らかの 障がいがある	-	-	-	-	-	-	16 94.1%	1 5.9%	17 100.0%
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	6 66.7%	3 33.3%	9 100.0%
合計	67 9.4%	19 2.7%	9 1.3%	5 0.7%	1 0.1%	1 0.1%	370 52.1%	238 33.5%	710 100.0%

者の障害支援区分は、全体では「区分認定を受けていない」が21.4%で最も多い。区分認定を受けている場合、支援区分が高い対象者の比率が増加している。

障がい別では、難病の「区分認定を受けていない」が50%で最も多い。一方、重症心身障害者は「支援区分6」が34.8%で最も支援の必要性が高いことが分かる。



上段:度数 下段:%	支援区分1	支援区分2	支援区分3	支援区分4	支援区分5	支援区分6	区分認定を 受けていない	不明・無回答	合計
身体障害者	9 4.0%	14 6.3%	28 12.6%	22 9.9%	27 12.1%	38 17.0%	60 26.9%	25 11.2%	223 100.0%
知的障害者	10 2.8%	36 10.1%	49 13.8%	65 18.3%	61 17.2%	58 16.3%	44 12.4%	32 9.0%	355 100.0%
精神障害者	1 1.2%	19 22.9%	20 24.1%	10 12.0%	1 1.2%	1 1.2%	23 27.7%	8 9.6%	83 100.0%
難病	2 5.6%	4 11.1%	3 8.3%	1 2.8%	-	1 2.8%	18 50.0%	7 19.4%	36 100.0%
発達障がい	-	4 9.8%	3 7.3%	8 19.5%	10 24.4%	2 4.9%	9 22.0%	5 12.2%	41 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	1 10.0%	-	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	3 30.0%	10 100.0%
重症心身障害者	1 1.5%	2 3.0%	5 7.6%	12 18.2%	11 16.7%	23 34.8%	7 10.6%	5 7.6%	66 100.0%
上記以外で何らかの 障がいがある	1 3.3%	3 10.0%	2 6.7%	1 3.3%	-	1 3.3%	20 66.7%	2 6.7%	30 100.0%
不明・無回答	2 9.5%	1 4.8%	3 14.3%	3 14.3%	2 9.5%	4 19.0%	3 14.3%	3 14.3%	21 100.0%
合計	26 3.0%	83 9.6%	114 13.2%	122 14.1%	115 13.3%	130 15.0%	185 21.4%	90 10.4%	865 100.0%

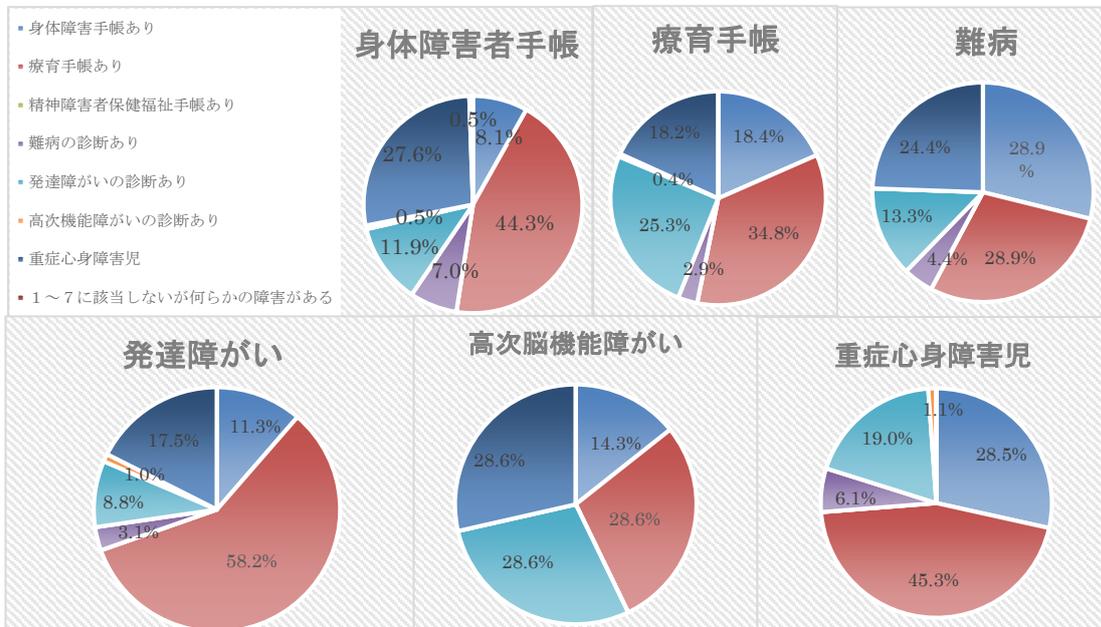
(6) 障がい等の状況について

問6 ご本人の障がい等の状態について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 身体障害者手帳 あり | 2 療育手帳 あり |
| 3 精神障害者保健福祉手帳 あり | 4 難病の診断 あり |
| 5 発達障がいの診断 あり | 6 高次脳機能障がいの診断 あり |
| 7 重症心身障害児(者)である | 8 1～7に該当しないが、何らかの障がい等がある |

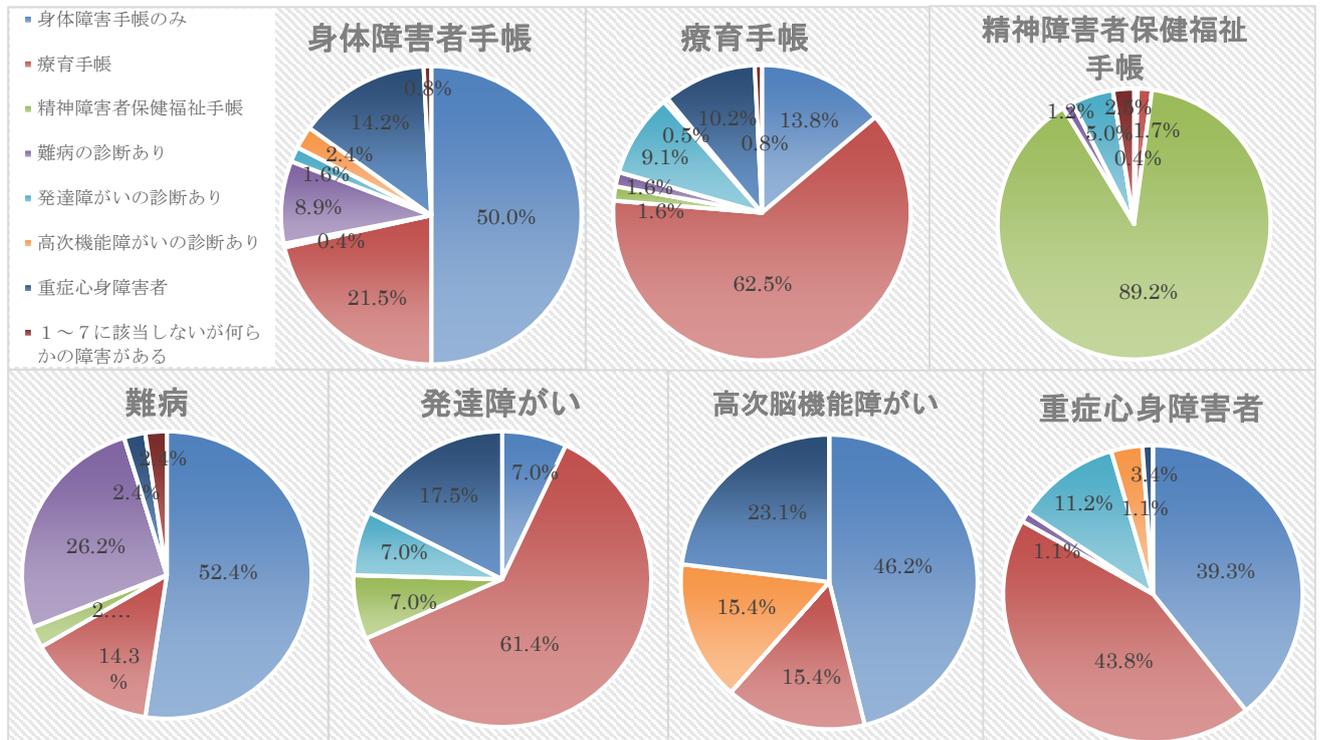
児の障がい等の状態は、全体では「療育手帳あり」が41.3%と最も多い。一方、「身体障害者手帳あり」は17.3%にとどまっている。

障がい種別では、いずれの障がいも、重複して「療育手帳あり」の者が多く、次いで「発達障がいの診断あり」が多い。



上段:度数 下段:%	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障害児	1～7に該当しないが何らかの障がいがある	不明・無回答	合計
身体障害者	104	82	-	13	22	1	51	1	-	274
	38.0%	29.9%	-	4.7%	8.0%	0.4%	18.6%	0.4%	-	100.0%
知的障害者	82	345	-	13	113	2	81	-	-	636
	12.9%	54.2%	-	2.0%	17.8%	0.3%	12.7%	-	-	100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	13	13	-	17	6	-	11	-	-	60
	21.7%	21.7%	-	28.3%	10.0%	-	18.3%	-	-	100.0%
発達障がい	22	113	-	6	130	2	34	-	-	307
	7.2%	36.8%	-	2.0%	42.3%	0.7%	11.1%	-	-	100.0%
高次脳機能障がい	1	2	-	0	2	2	2	-	-	9
	11.1%	22.2%	-	-	22.2%	22.2%	22.2%	-	-	100.0%
重症心身障害児	51	81	-	11	34	2	86	-	-	265
	19.2%	30.6%	-	4.2%	12.8%	0.8%	32.5%	-	-	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	1	-	-	-	-	-	-	17	-	18
	5.6%	-	-	-	-	-	-	94.4%	-	100.0%
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	9	9
	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	100.0%
合計	275	634	-	60	301	9	265	18	9	1571
	17.5%	40.4%	-	3.8%	19.2%	0.6%	16.9%	1.1%	0.6%	100.0%

者の障がい等の状態は、全体では「身体障害手帳あり」が25.6%、「療育手帳あり」が39.4%と多い。また、各項目には、1つの障がい単独ではなく、重複して障がいを持っている者が多いことがうかがえる。障がい種別では、「発達障がい」は、単独より「療育手帳」を所持している者が61.4%と多い。また、「難病」で「身体障害者手帳」を所持している者も、52.4%と多い。「重症心身障害者（児）」は、「身体障害者手帳」を所持している者が39.3%、「療育手帳」を所持している者が43.8%と多い。



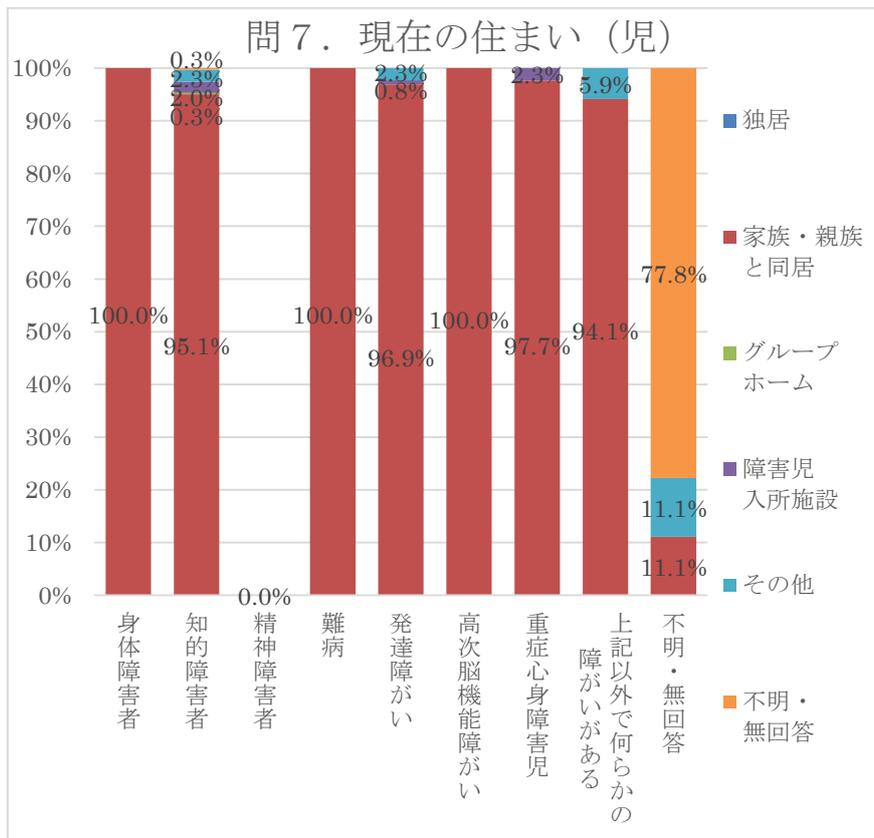
上段:度数 下段:%	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障害者	1～7に該当しないが何らかの障害がある	不明・無回答	合計
身体障害者	223 64.5%	53 15.3%	1 0.3%	22 6.4%	4 1.2%	6 1.7%	35 10.1%	2 0.6%	-	346 100.0%
知的障害者	53 10.6%	355 71.1%	6 1.2%	6 1.2%	35 7.0%	2 0.4%	39 7.8%	3 0.6%	-	499 100.0%
精神障害者	1 1.0%	6 6.2%	83 85.6%	1 1.0%	4 4.1%	-	-	2 2.1%	-	97 100.0%
難病	22 32.8%	6 9.0%	1 1.5%	36 53.7%	-	-	1 1.5%	1 1.5%	-	67 100.0%
発達障がい	4 4.3%	35 37.2%	4 4.3%	-	41 43.6%	-	10 10.6%	-	-	94 100.0%
高次脳機能障がい	6 28.6%	2 9.5%	-	-	-	10 47.6%	3 14.3%	-	-	21 100.0%
重症心身障害者	35 22.7%	39 25.3%	-	1 0.6%	10 6.5%	3 1.9%	66 42.9%	-	-	154 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	2 5.3%	3 7.9%	2 5.3%	2 2.6%	1 -	-	-	30 78.9%	-	38 100.0%
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	21 100.0%	21 100.0%
合計	348 26.0%	497 37.2%	97 7.3%	67 5.0%	94 7.0%	21 1.6%	154 11.5%	38 2.8%	21 1.6%	1337 100.0%

(7) 障がいのある方ご本人の住まいの状況について

問7 ご本人の現在のお住まいの状況について、あてはまるものに1つだけ〇をしてください。

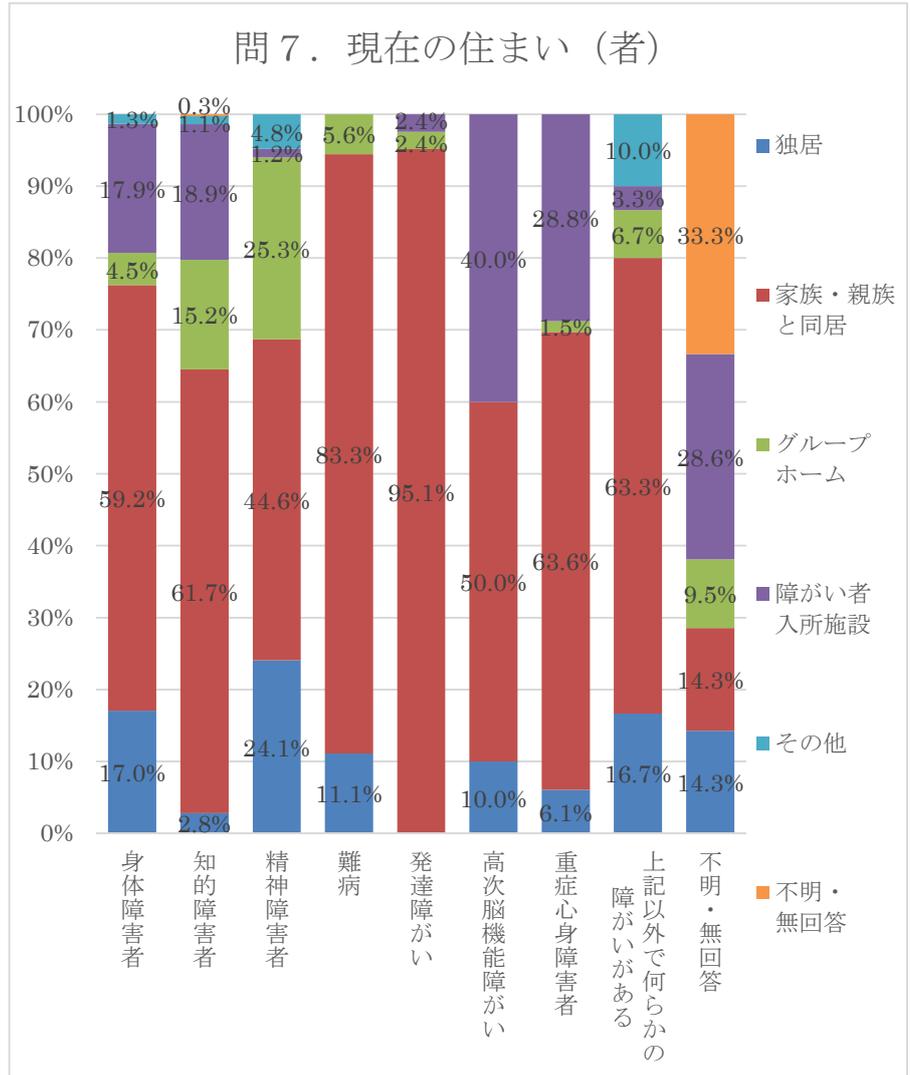
- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 一人であらしている | 2 家族や親族とあらしている |
| 3 グループホームであらしている | 4 障がい者（児）入所施設であらしている |
| 5 その他（ ） | |

児の現在の住まいの状況は、「家族・親族と同居」が全体の95.5%を占めている。児は調査対象者が18歳未満であり、大部分が義務教育課程であるため、このような結果となっていると考えられる。



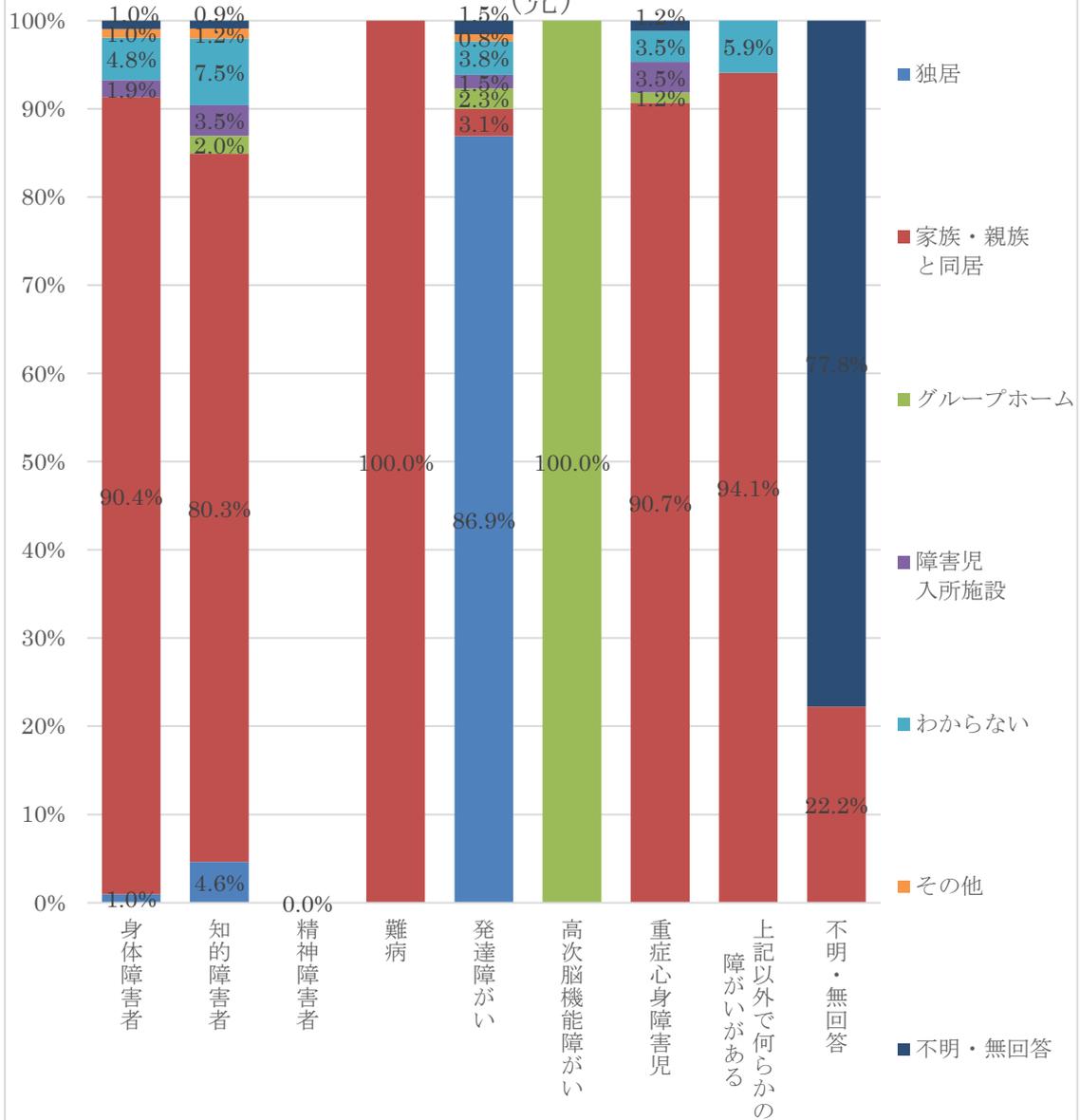
上段:度数 下段:%	独居	家族・親族と同居	グループホーム	障がい児入所施設	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	-	104	-	-	-	-	104
	-	100.0%	-	-	-	-	100.0%
知的障害者	-	328	1	7	8	1	345
	-	95.1%	0.3%	2.0%	2.3%	0.3%	100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	17	-	-	-	-	17
	-	100.0%	-	-	-	-	100.0%
発達障がい	-	126	-	1	3	-	130
	-	96.9%	-	0.8%	2.3%	-	100.0%
高次脳機能障がい	-	2	-	-	-	-	2
	-	100.0%	-	-	-	-	100.0%
重症心身障害児	-	84	-	2	-	-	86
	-	97.7%	-	2.3%	-	-	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	16	-	-	1	-	17
	-	94.1%	-	-	5.9%	-	100.0%
不明・無回答	-	1	-	-	1	7	9
	-	11.1%	-	-	11.1%	77.8%	100.0%
合計	-	678	1	10	13	8	710
	-	95.5%	0.1%	1.4%	1.8%	1.1%	100.0%

者の現在の住まいの状況は、全体では「家族・親族と同居」が60.8%と最も多い。障がい別では、精神障がいは「家族・親族と同居」が44.6%と全体と比較して低く、「独居」が24.1%、「グループホーム」が25.3%であり、比較的高い。また、高次脳機能障がいは、「障がい者入所施設」が40%、重度心身障害者は「障がい者入所施設」が同様に28.8%と、比較的高い。



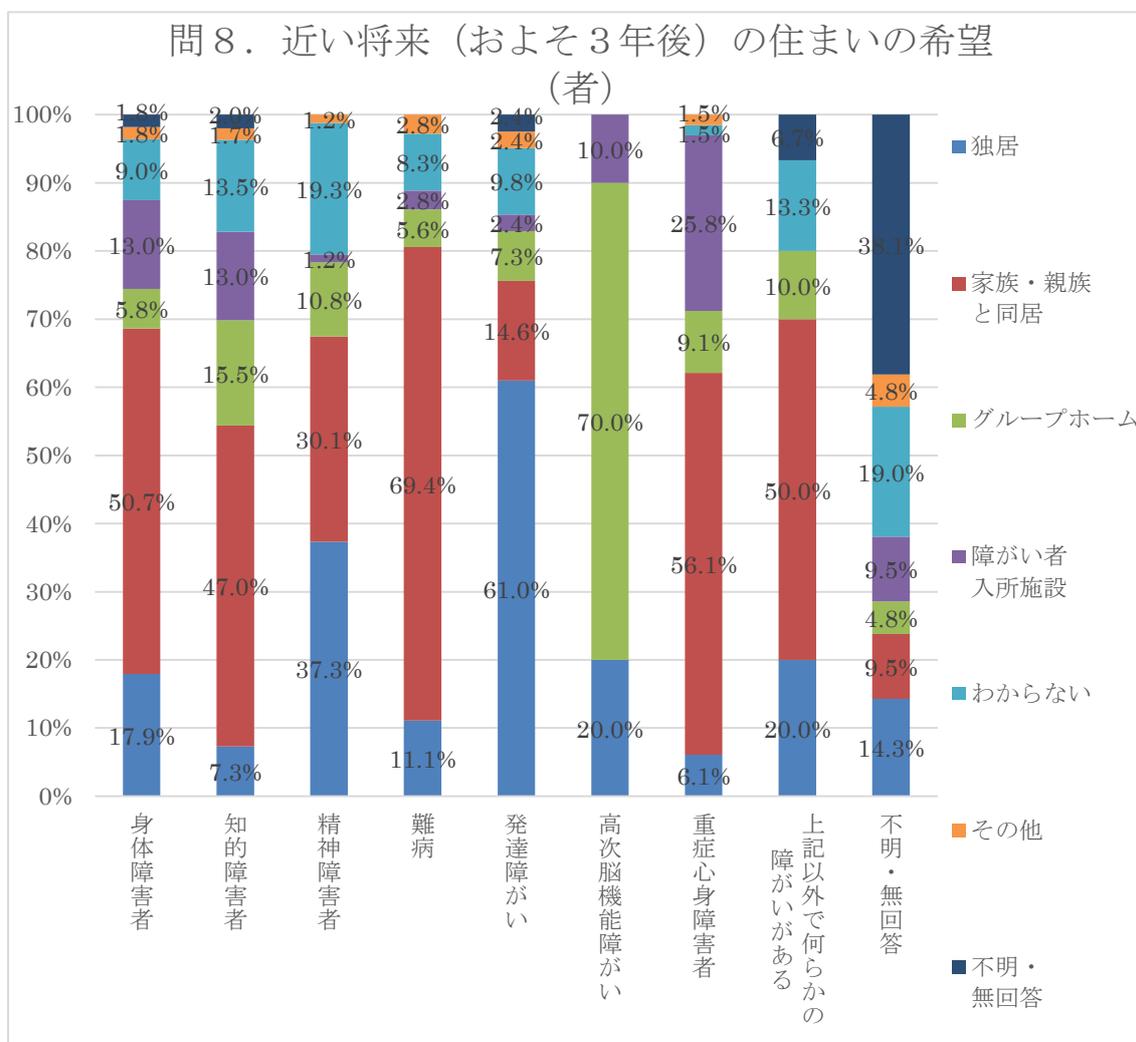
上段:度数 下段:%	独居	家族・親族と同居	グループホーム	障がい者(児)入所施設	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	38 17.0%	132 59.2%	10 4.5%	40 17.9%	3 1.3%	- 0.3%	223 100.0%
知的障害者	10 2.8%	219 61.7%	54 15.2%	67 18.9%	4 1.1%	1 0.3%	355 100.0%
精神障害者	20 24.1%	37 44.6%	21 25.3%	1 1.2%	4 4.8%	-	83 100.0%
難病	4 11.1%	30 83.3%	2 5.6%	-	-	-	36 100.0%
発達障がい	-	39 95.1%	1 2.4%	1 2.4%	-	-	41 100.0%
高次脳機能障がい	1 10.0%	5 50.0%	-	4 40.0%	-	-	10 100.0%
重症心身障害者	4 6.1%	42 63.6%	1 1.5%	19 28.8%	-	-	66 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	5 16.7%	19 63.3%	2 6.7%	1 3.3%	3 10.0%	-	30 100.0%
不明・無回答	3 14.3%	3 14.3%	2 9.5%	6 28.6%	-	7 33.3%	21 100.0%
合計	85 9.8%	526 60.8%	93 10.8%	139 16.1%	14 1.6%	8 0.9%	865 100.0%

問 8. 近い将来（およそ3年後）の住まいの希望
(児)



上段:度数 下段:%	独居	家族・親族と同居	グループホーム	障がい児入所施設	わからない	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	1	94	-	2	5	1	1	104
	1.0%	90.4%	-	1.9%	4.8%	1.0%	1.0%	100.0%
知的障害者	16	277	7	12	26	4	3	345
	4.6%	80.3%	2.0%	3.5%	7.5%	1.2%	0.9%	100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	17	-	-	-	-	-	17
	-	100.0%	-	-	-	-	-	100.0%
発達障がい	113	4	3	2	5	1	2	130
	86.9%	3.1%	2.3%	1.5%	3.8%	0.8%	1.5%	100.0%
高次脳機能障がい	-	-	2	-	-	-	-	2
	-	-	100.0%	-	-	-	-	100.0%
重症心身障害児	-	78	1	3	3	-	1	86
	-	90.7%	1.2%	3.5%	3.5%	-	1.2%	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	16	-	-	1	-	-	17
	-	94.1%	-	-	5.9%	-	-	100.0%
不明・無回答	-	2	-	-	-	-	7	9
	-	22.2%	-	-	-	-	77.8%	100.0%
合計	130	488	13	19	40	6	14	710
	18.3%	68.7%	1.8%	2.7%	5.6%	0.8%	2.0%	100.0%

者の近い将来の住まいの希望は、全体では「家族・親族と同居」が45.1%と最も多い。障がい種別では、精神障がいの「独居」が37.3%、発達障がいも同項目が61%と全体と比較して高く、一人暮らしのニーズが高い。一方、高次脳機能障がいは「グループホーム」の希望が70%であり、重症心身障害者は「障がい者入所施設」が25.8%と比較的高い。障がい種別の状況によりニーズが異なるため、それぞれの状況に応じた支援が必要であることが分かる。



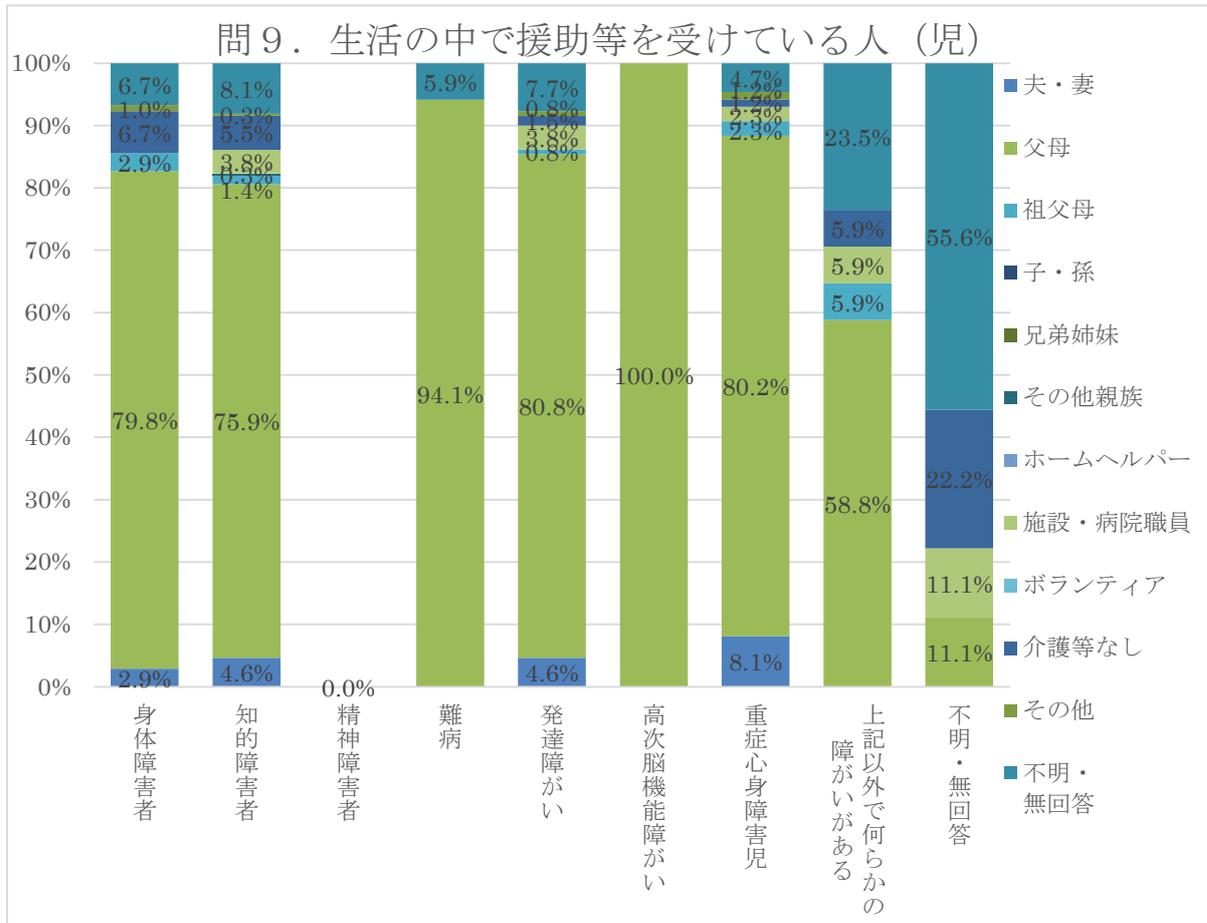
上段:度数 下段:%	独居	家族・親族と同居	グループホーム	障がい者(児)入所施設	わからない	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	40 17.9%	113 50.7%	13 5.8%	29 13.0%	20 9.0%	4 1.8%	4 1.8%	223 100.0%
知的障害者	26 7.3%	167 47.0%	55 15.5%	46 13.0%	48 13.5%	6 1.7%	7 2.0%	355 100.0%
精神障害者	31 37.3%	25 30.1%	9 10.8%	1 1.2%	16 19.3%	1 1.2%	-	83 100.0%
難病	4 11.1%	25 69.4%	2 5.6%	1 2.8%	3 8.3%	1 2.8%	-	36 100.0%
発達障がい	25 61.0%	6 14.6%	3 7.3%	1 2.4%	4 9.8%	1 2.4%	1 2.4%	41 100.0%
高次脳機能障がい	2 20.0%	-	7 70.0%	1 10.0%	-	-	-	10 100.0%
重症心身障害者	4 6.1%	37 56.1%	6 9.1%	17 25.8%	1 1.5%	1 1.5%	-	66 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	6 20.0%	15 50.0%	3 10.0%	-	4 13.3%	-	2 6.7%	30 100.0%
不明・無回答	3 14.3%	2 9.5%	1 4.8%	2 9.5%	4 19.0%	1 4.8%	8 38.1%	21 100.0%
合計	141 16.3%	390 45.1%	99 11.4%	98 11.3%	100 11.6%	15 1.7%	22 2.5%	865 100.0%

(9) 日常生活時の介助者等について

問9 ご本人が、ふだんの生活の中で援助、手助け、介護、看護を受けている方についてお聞きします。主なものに1つだけ〇をしてください。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 夫または妻 | 2 父母 | 3 祖父母 |
| 4 子・孫 | 5 兄弟姉妹 | 6 その他親族 |
| 7 ホームヘルパー | 8 施設・病院職員 | 9 ボランティア |
| 10 介護等なし | 11 その他() | |

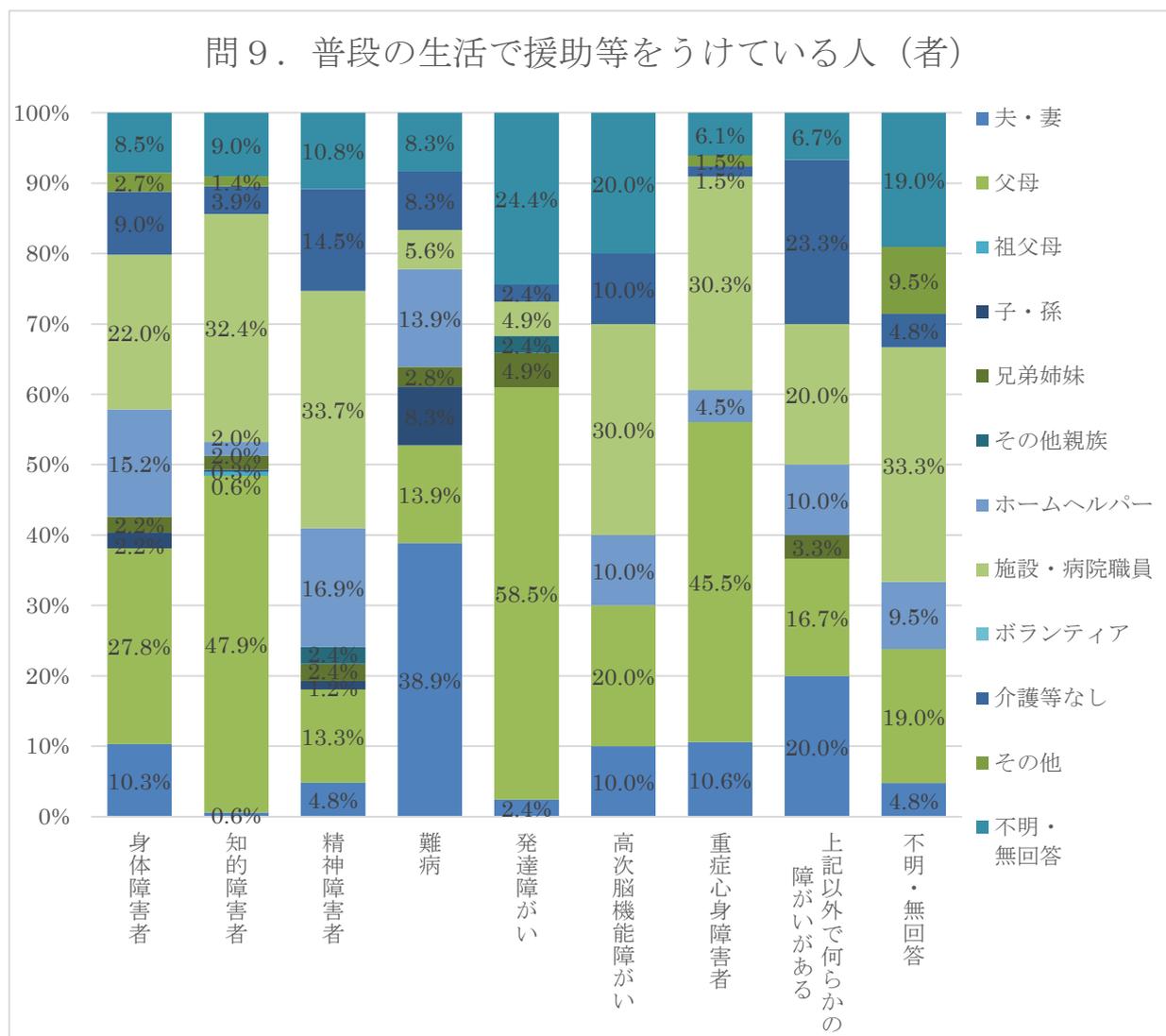
児の生活の中で援助等を受けている人は、全体では「父母」が77.2%で最も多い。



上段:度数 下段:%	夫・妻	父母	祖父母	子・孫	兄弟姉妹	その他親族	ホームヘルパー	施設・病院職員	ボランティア	介護等なし	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	3	83	3	0	0	-	0	0	-	7	1	7	104
知的障害者	16	262	5	0	0	1	0	13	-	19	1	28	345
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
発達障がい	6	105	1	-	-	-	-	5	-	2	1	10	130
高次脳機能障がい	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
重症心身障害児	7	69	2	-	-	-	-	2	-	1	1	4	86
上記以外で何らかの障がいがある	-	10	1	-	-	-	-	1	-	1	-	4	17
不明・無回答	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	5	9
合計	32	548	12	0	0	1	0	22	-	32	4	59	710

者の普段の生活で援助等を受けている人は、全体では「父母」が36.2%、「施設・病院職員」が26.8%と多い。

障がい種別では、難病は「夫・妻」が38.9%であり、配偶者の援助が最も多い。



上段：度数 下段：%	夫・妻	父母	祖父母	子・孫	兄弟姉妹	その他親族	ホームヘルパー	施設・病院職員	ボランティア	介護等なし	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	23	62	-	5	5	-	34	49	-	20	6	19	223
	10.3%	27.8%	-	2.2%	2.2%	-	15.2%	22.0%	-	9.0%	2.7%	8.5%	100.0%
知的障害者	2	170	2	1	7	-	7	115	-	14	5	32	355
	0.6%	47.9%	0.6%	0.3%	2.0%	-	2.0%	32.4%	-	3.9%	1.4%	9.0%	100.0%
精神障害者	4	11	-	1	2	2	14	28	-	12	-	9	83
	4.8%	13.3%	-	1.2%	2.4%	2.4%	16.9%	33.7%	-	14.5%	-	10.8%	100.0%
難病	14	5	-	3	1	-	5	2	-	3	-	3	36
	38.9%	13.9%	-	8.3%	2.8%	-	13.9%	5.6%	-	8.3%	-	8.3%	100.0%
発達障がい	1	24	-	-	2	1	-	2	-	1	-	10	41
	2.4%	58.5%	-	-	4.9%	2.4%	-	4.9%	-	2.4%	-	24.4%	100.0%
高次脳機能障がい	1	2	-	-	-	-	1	3	-	1	-	2	10
	10.0%	20.0%	-	-	-	-	10.0%	30.0%	-	10.0%	-	20.0%	100.0%
重症心身障害者	7	30	-	-	-	-	3	20	-	1	1	4	66
	10.6%	45.5%	-	-	-	-	4.5%	30.3%	-	1.5%	1.5%	6.1%	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	6	5	-	-	1	-	3	6	-	7	-	2	30
	20.0%	16.7%	-	-	3.3%	-	10.0%	20.0%	-	23.3%	-	6.7%	100.0%
不明・無回答	1	4	-	-	-	-	2	7	-	1	2	4	21
	4.8%	19.0%	-	-	-	-	9.5%	33.3%	-	4.8%	9.5%	19.0%	100.0%
合計	59	313	2	10	18	3	69	232	-	60	14	85	865
	6.8%	36.2%	0.2%	1.2%	2.1%	0.3%	8.0%	26.8%	-	6.9%	1.6%	9.8%	100.0%

(10) 医療的ケアについて

問10 ご本人が、現在受けている医療的ケアについて、あてはまるものすべてに○をしてください。

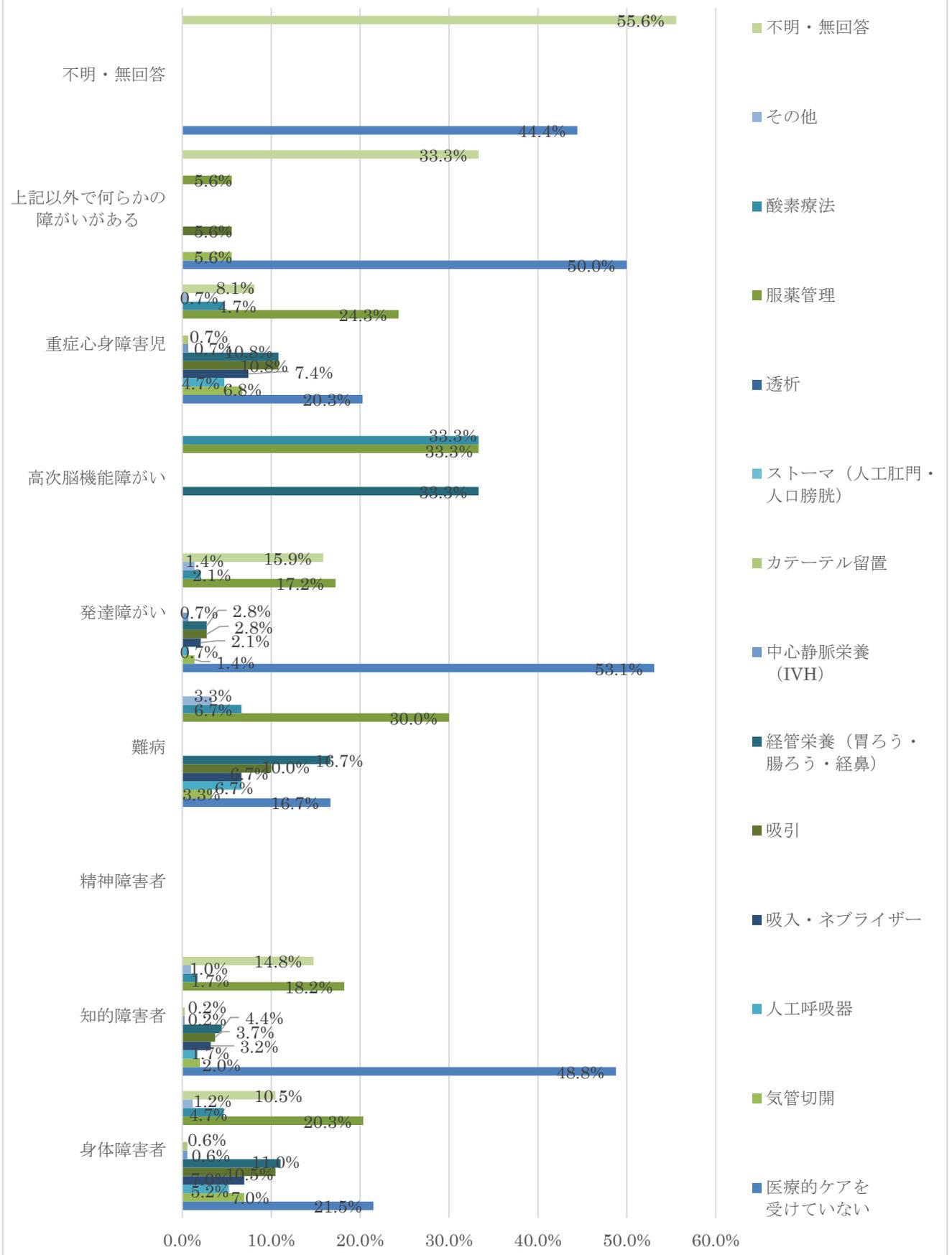
1 医療的ケアを受けていない	2 気管切開
3 人工呼吸器	4 吸入・ネブライザー
5 吸引	6 栄養（胃ろう・腸ろう・経鼻）
7 中心静脈栄養（IVH）	8 カテーテル留置
9 ストーマ（人工肛門・人工膀胱）	10 透析
11 服薬管理	12 酸素療法
13 その他（	）

児の現在受けている医療的ケアは、全体では「医療的ケアを受けていない」が38.7%で最も多く、次いで「服薬管理」が19.4%が多い。パーセンテージでは低いが、アンケートの設問に記載されているような、比較的重度な医療的ケアが必要な児が存在している。

上段:度数 下段:%	医療的ケアを受けていない	気管切開	人工呼吸器	吸入・ネブライザー	吸引	経管栄養(胃ろう・腸ろう・経鼻)	中心静脈栄養 (IVH)	カテーテル留置
身体障害者	37 21.5%	12 7.0%	9 5.2%	12 7.0%	18 10.5%	19 11.0%	1 0.6%	1 0.6%
知的障害者	198 48.8%	8 2.0%	7 1.7%	13 3.2%	15 3.7%	18 4.4%	1 0.2%	1 0.2%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	5 16.7%	1 3.3%	2 6.7%	2 6.7%	3 10.0%	5 16.7%	-	-
発達障がい	77 53.1%	2 1.4%	1 0.7%	3 2.1%	4 2.8%	4 2.8%	1 0.7%	-
高次脳機能障がい	-	-	-	-	0 0.0%	1 33.3%	-	-
重症心身障害児	30 20.3%	10 6.8%	7 4.7%	11 7.4%	16 10.8%	16 10.8%	1 0.7%	1 0.7%
上記以外で何らかの障がいがある	9 50.0%	1 5.6%	-	-	1 5.6%	-	-	-
不明・無回答	4 44.4%	-	-	-	-	-	-	-
合計	360 38.7%	34 3.7%	26 2.8%	41 4.4%	57 6.1%	63 6.8%	4 0.4%	3 0.3%

上段:度数 下段:%	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	透析	服薬管理	酸素療法	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	-	-	35 20.3%	8 4.7%	2 1.2%	18 10.5%	172 100.0%
知的障害者	-	-	74 18.2%	7 1.7%	4 1.0%	60 14.8%	406 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	9 30.0%	2 6.7%	1 3.3%	-	30 100.0%
発達障がい	-	-	25 17.2%	3 2.1%	2 1.4%	23 15.9%	145 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	1 33.3%	1 33.3%	-	-	3 100.0%
重症心身障害児	-	-	36 24.3%	7 4.7%	1 0.7%	12 8.1%	148 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	-	1 5.6%	-	-	6 33.3%	18 100.0%
不明・無回答	-	-	-	-	-	5 55.6%	9 100.0%
合計	0 0.0%	-	181 19.4%	28 3.0%	10 1.1%	124 13.3%	931 100.0%

問10. 現在受けている医療的ケア（児）

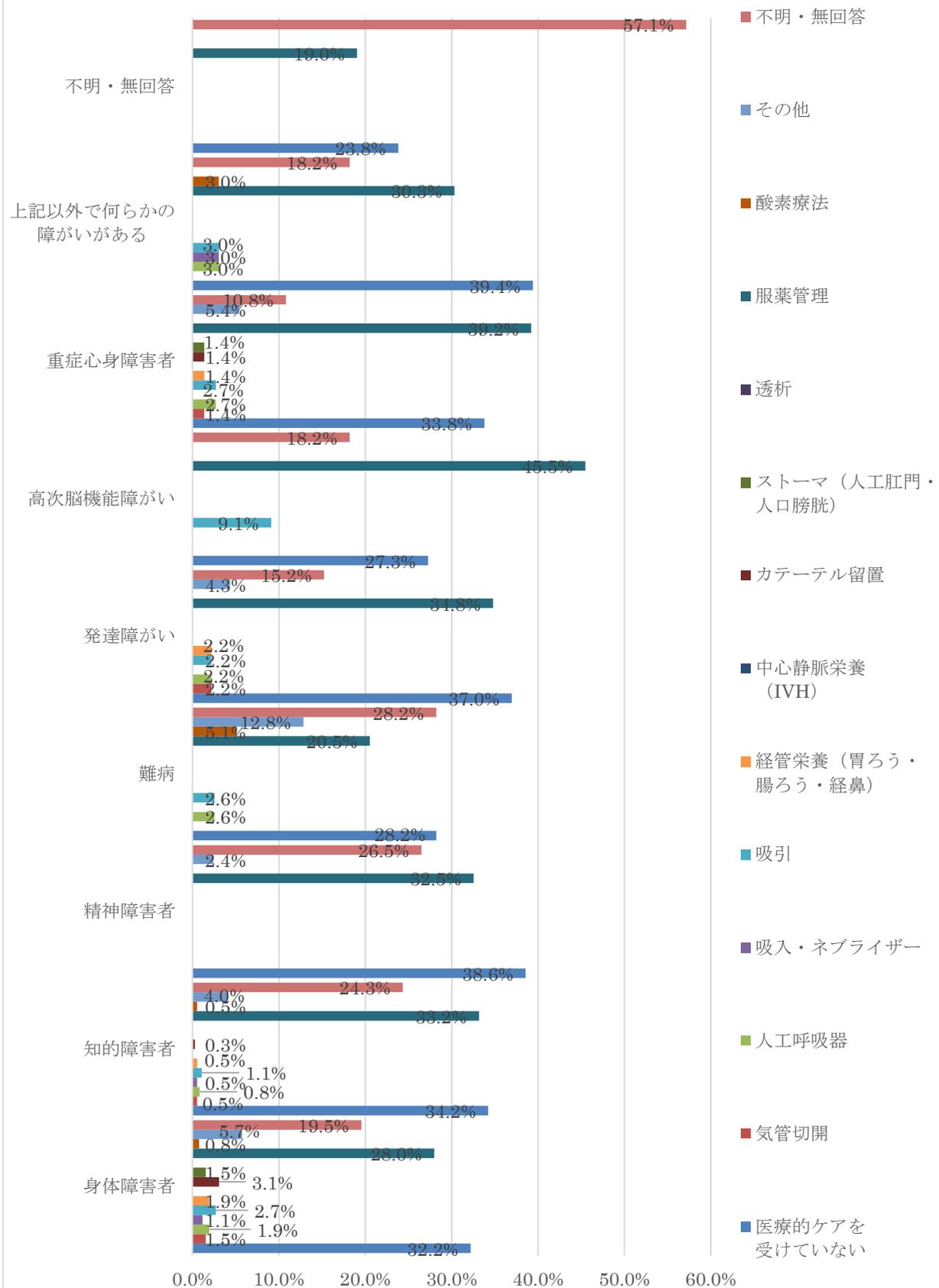


者の現在受けている医療的ケアは、全体では「医療的ケアを受けていない」が 33.8%で最も多く、次いで「服薬管理」が 31.4%で多い。者でも児と同様、パーセンテージでは低いがアンケートの設問に記載されているような比較的重度な医療的ケアが必要な者が存在している。

上段:度数 下段:%	医療的ケアを受けていない	気管切開	人工呼吸器	吸入・ネブライザー	吸引	経管栄養(胃ろう・腸ろう・経鼻)	中心静脈栄養 (IVH)	カテーテル留置
身体障害者	84 32.2%	4 1.5%	5 1.9%	3 1.1%	7 2.7%	5 1.9%	-	8 3.1%
知的障害者	128 34.2%	2 0.5%	3 0.8%	2 0.5%	4 1.1%	2 0.5%	-	1 0.3%
精神障害者	32 38.6%	-	-	-	-	-	-	-
難病	11 28.2%	-	1 2.6%	-	1 2.6%	-	-	-
発達障がい	17 37.0%	1 2.2%	1 2.2%	-	1 2.2%	1 2.2%	-	-
高次脳機能障がい	3 27.3%	-	-	-	1 9.1%	-	-	-
重症心身障害者	25 33.8%	1 1.4%	2 2.7%	-	2 2.7%	1 1.4%	-	1 1.4%
上記以外で何らかの障がいがある	13 39.4%	-	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%	-	-	-
不明・無回答	5 23.8%	-	-	-	-	-	-	-
合計	318 33.8%	8 0.8%	13 1.4%	6 0.6%	17 1.8%	9 1.0%	-	10 1.1%

上段:度数 下段:%	ストーマ(人工肛門・人口膀胱)	透析	服薬管理	酸素療法	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	4 1.5%	-	73 28.0%	2 0.8%	15 5.7%	51 19.5%	261 100.0%
知的障害者	-	-	124 33.2%	2 0.5%	15 4.0%	91 24.3%	374 100.0%
精神障害者	-	-	27 32.5%	-	2 2.4%	22 26.5%	83 100.0%
難病	-	-	8 20.5%	2 5.1%	5 12.8%	11 28.2%	39 100.0%
発達障がい	-	-	16 34.8%	-	2 4.3%	7 15.2%	46 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	5 45.5%	-	-	2 18.2%	11 100.0%
重症心身障害者	1 1.4%	-	29 39.2%	-	4 5.4%	8 10.8%	74 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	-	10 30.3%	1 3.0%	-	6 18.2%	33 100.0%
不明・無回答	-	-	4 19.0%	-	-	12 57.1%	21 100.0%
合計	5 0.5%	-	296 31.4%	7 0.7%	43 4.6%	210 22.3%	942 100.0%

問10. 現在受けている医療的ケア（者）



(11) 障害福祉サービス等について

問11 ご本人が、現在利用している障がい福祉サービス等について、あてはまるものすべてに○をしてください。

障害福祉サービス等 因：障がい者と障がい児ともに対象 ⊙：障がい児が対象	【問 11】	【問 12】
	現在 利用中	今後 利用したい ※今は利用していない
居宅介護（ホームヘルプ）	1	1
重度訪問介護	2	2
同行援護	3	3
行動援護	4	4
重度障害者等包括支援	5	5
短期入所（ショートステイ）	6	6
療養介護	7	7
生活介護	8	8
自立訓練（機能訓練）	9	9
自立訓練（生活訓練）	10	10
就労移行支援	11	11
就労継続支援（A型）	12	12
就労継続支援（B型）	13	13
就労定着支援		14
自立生活援助		15
共同生活援助（グループホーム）	16	16
施設入所	17	17
児童発達支援	18	18
医療型児童発達支援	19	19
放課後等デイサービス	20	20
居宅訪問型児童発達支援		21
保育所等訪問支援	22	22
福祉型児童入所支援	23	23
医療型児童入所支援	24	24
計画相談支援	25	25
障害児相談支援	26	26
地域移行支援	27	27
地域定着支援	28	28
（市町事業）成年後見人制度利用支援	29	29
（市町事業）意欲疎通支援	30	30
（市町事業）日常生活用具給付	31	31
（市町事業）移動支援	32	32
（市町事業）日中一時支援	33	33

児の現在利用している障害福祉サービスは、全体では「放課後等デイサービス」が31.4%で最も多い。また、「短期入所」が9.9%であり、他と比較して多い。

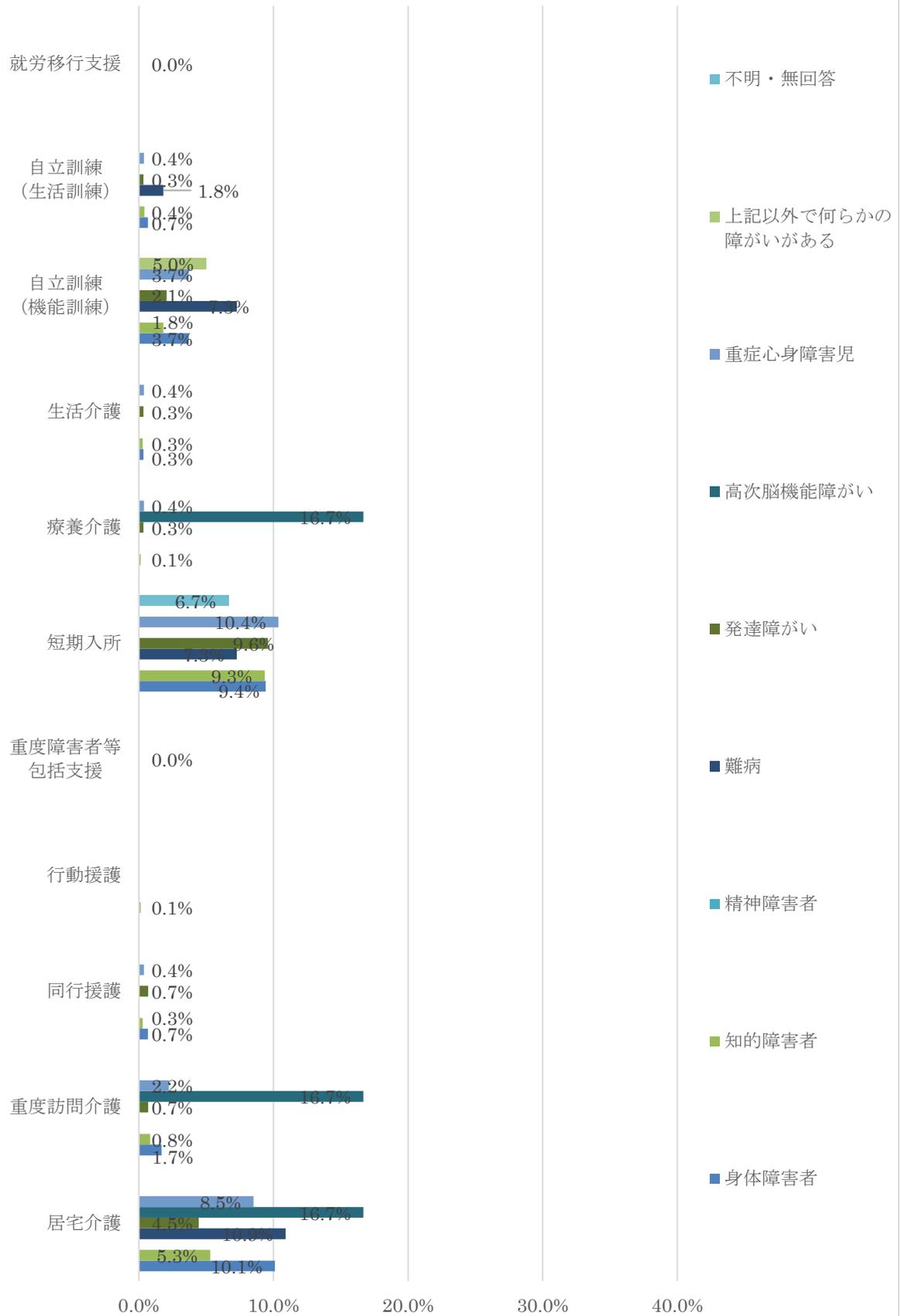
障がい別では、いずれの障がいも「放課後等デイサービス」が最も多いが、身体障がいの「居宅介護」が10.1%、「難病」も同項目が10.9%と比較的多い。また、難病では「障害児相談支援」が14.5%と多い。

上段:度数 下段:%	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等 包括支援	短期入所	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援
身体障害者	30	5	2	-	-	28	-	1	11	2	-
	10.1%	1.7%	0.7%	-	-	9.4%	-	0.3%	3.7%	0.7%	-
知的障害者	38	6	2	1	-	67	1	2	13	3	-
	5.3%	0.8%	0.3%	0.1%	-	9.3%	0.1%	0.3%	1.8%	0.4%	-
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	6	-	-	-	-	4	-	-	4	1	-
	10.9%	-	-	-	-	7.3%	-	-	7.3%	1.8%	-
発達障がい	13	2	2	-	-	28	1	1	6	1	-
	4.5%	0.7%	0.7%	-	-	9.6%	0.3%	0.3%	2.1%	0.3%	-
高次脳機能障がい	1	1	-	-	-	0	1	-	-	-	-
	16.7%	16.7%	-	-	-	0.0%	16.7%	-	-	-	-
重症心身障害児	23	6	1	-	-	28	1	1	10	1	-
	8.5%	2.2%	0.4%	-	-	10.4%	0.4%	0.4%	3.7%	0.4%	-
上記以外で何らかの 障がいがある	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0%	-	-
不明・無回答	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	6.7%	-	-	-	-	-
合計	111	20	7	1	-	156	4	5	45	8	-
	7.0%	1.3%	0.4%	0.1%	-	9.9%	0.3%	0.3%	2.9%	0.5%	-

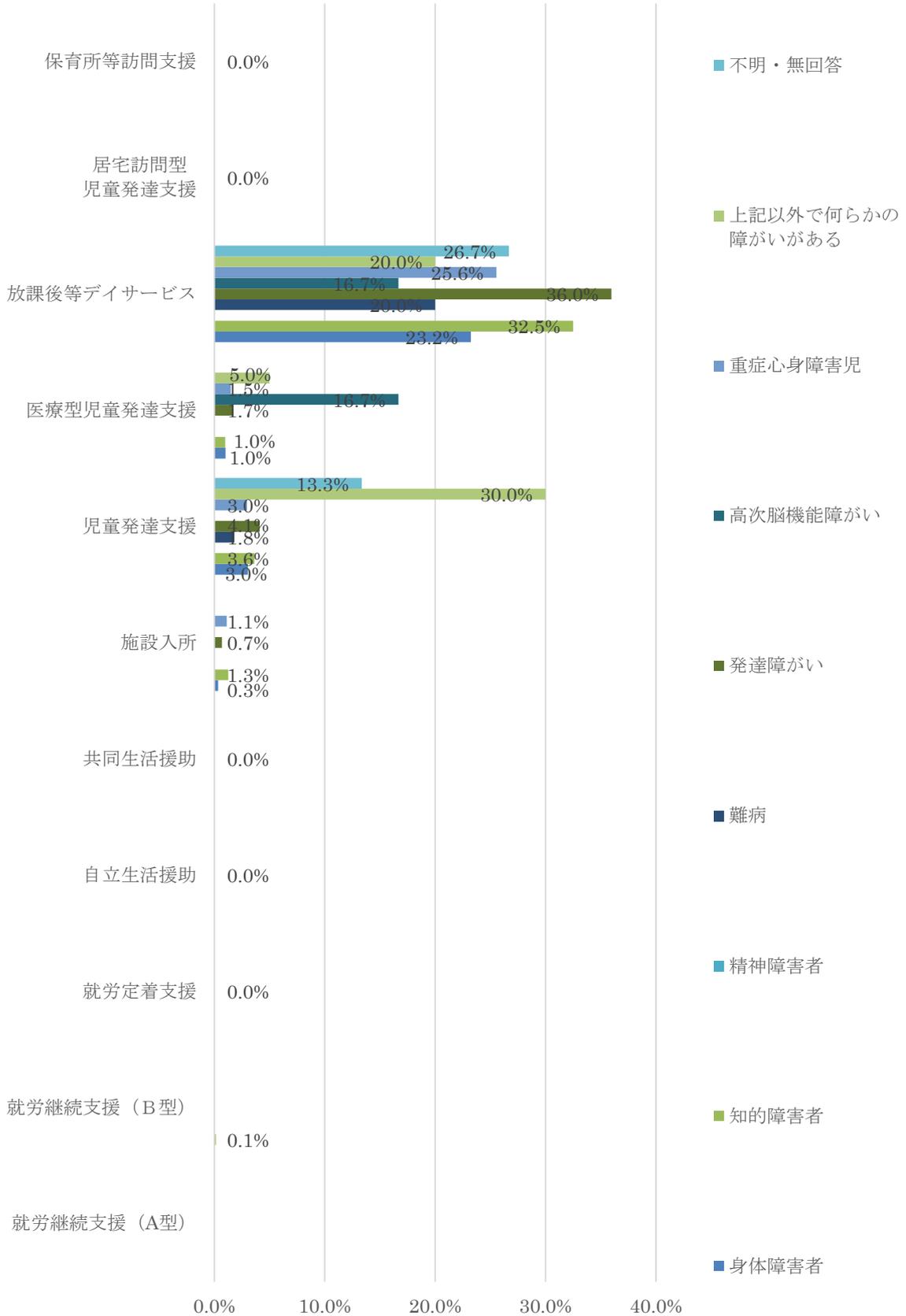
上段:度数 下段:%	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	自立生活援助	共同生活援助	施設入所	児童発達支援	医療型児童 発達支援	放課後等 デイサービス	居宅訪問型 児童発達支援	保育所等 訪問支援
身体障害者	-	-	-	-	-	1	9	3	69	-	-
	-	-	-	-	-	0.3%	3.0%	1.0%	23.2%	-	-
知的障害者	-	1	-	-	-	9	26	7	233	-	-
	-	0.1%	-	-	-	1.3%	3.6%	1.0%	32.5%	-	-
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-
	-	-	-	-	-	-	1.8%	-	20.0%	-	-
発達障がい	-	-	-	-	-	2	12	5	105	-	-
	-	-	-	-	-	0.7%	4.1%	1.7%	36.0%	-	-
高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	16.7%	16.7%	-	-
重症心身障害児	-	-	-	-	-	3	8	4	69	-	-
	-	-	-	-	-	1.1%	3.0%	1.5%	25.6%	-	-
上記以外で何らかの 障がいがある	-	-	-	-	-	-	6	1	4	-	-
	-	-	-	-	-	-	30.0%	5.0%	20.0%	-	-
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-
	-	-	-	-	-	-	13.3%	-	26.7%	-	-
合計	-	1	-	-	-	15	64	21	496	-	-
	-	0.1%	-	-	-	1.0%	4.1%	1.3%	31.4%	-	-

上段:度数 下段:%	福祉型児童 入所支援	医療型児童 入所支援	計画相談支援	障害児相談支援	地域移行支援	地域定着支援	成年後見人制度 利用支援	意思疎通支援	日常生活用具 給付	移動支援	日中一時支援	不明・無回答	合計
身体障害者	-	1	17	18	1	-	-	-	26	17	40	16	297
	-	0.3%	5.7%	6.1%	0.3%	-	-	-	8.8%	5.7%	13.5%	5.4%	100.0%
知的障害者	2	1	42	45	-	-	-	-	25	33	94	66	717
	0.3%	0.1%	5.9%	6.3%	-	-	-	-	3.5%	4.6%	13.1%	9.2%	100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	2	8	1	-	-	-	5	2	6	4	55
	-	-	3.6%	14.5%	1.8%	-	-	-	9.1%	3.6%	10.9%	7.3%	100.0%
発達障がい	-	1	19	26	-	-	-	-	9	17	31	11	292
	-	0.3%	6.5%	8.9%	-	-	-	-	3.1%	5.8%	10.6%	3.8%	100.0%
高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	6
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7%	-	-	100.0%
重症心身障害児	-	1	12	18	-	-	-	-	22	19	39	4	270
	-	0.4%	4.4%	6.7%	-	-	-	-	8.1%	7.0%	14.4%	1.5%	100.0%
上記以外で何らかの 障がいがある	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	5	20
	-	-	5.0%	5.0%	-	-	-	-	-	-	5.0%	25.0%	100.0%
不明・無回答	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	4	15
	-	-	6.7%	-	-	-	-	-	-	-	20.0%	26.7%	100.0%
合計	2	4	94	116	2	-	-	-	87	89	214	16	1578
	0.1%	0.3%	6.0%	7.4%	0.1%	-	-	-	5.5%	5.6%	13.6%	1.0%	100.0%

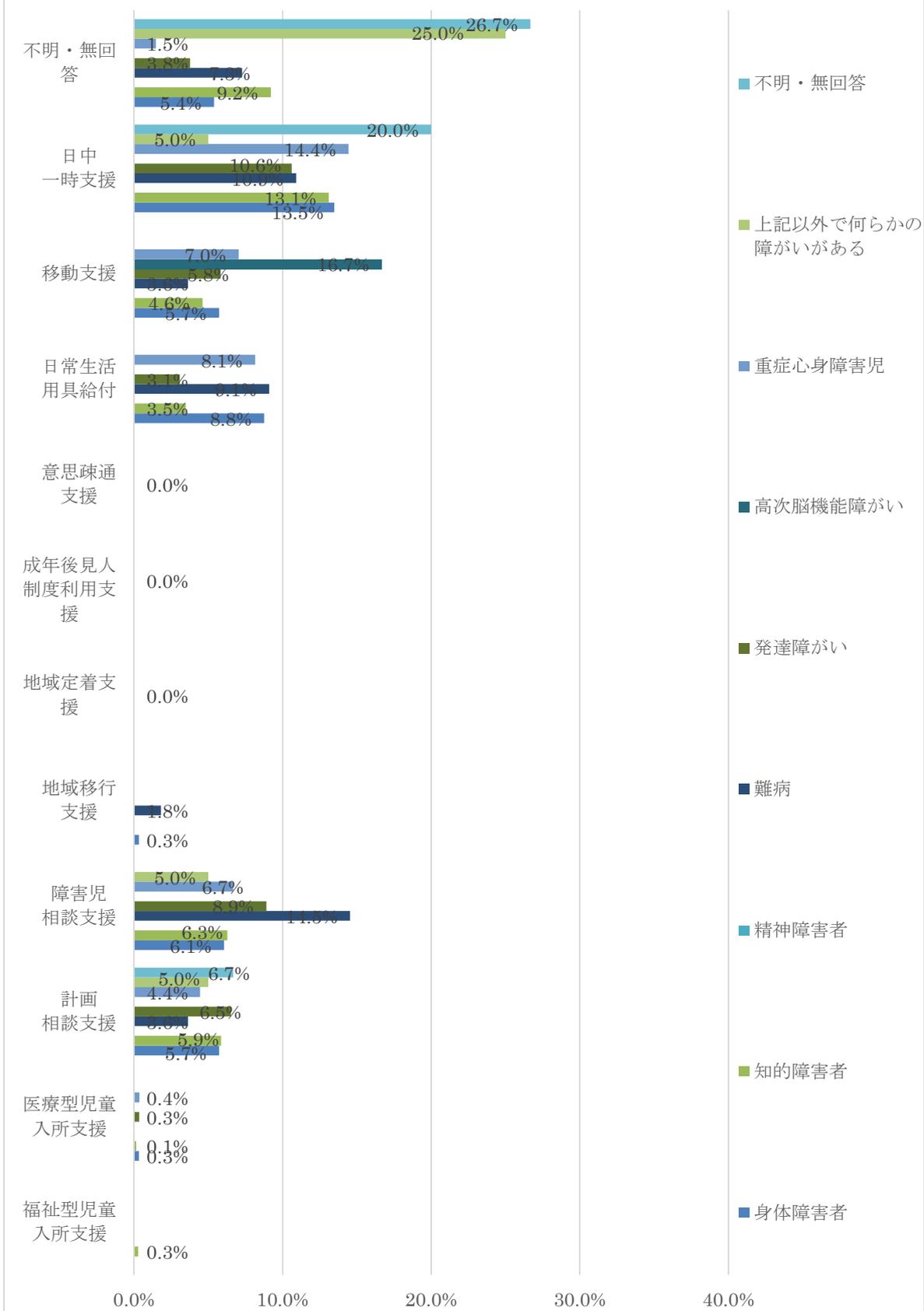
問 1 1. 現在利用している障害福祉サービス（児）①



問 1 1 . 現在利用している障害福祉サービス（児）②



問 1 1 . 現在利用している障害福祉サービス (児) ③



者の現在利用している障害福祉サービスは、全体では「生活介護」が16.3%で最も多く、「計画相談」の14.7%、「就労継続支援B」の12.5%と続く。

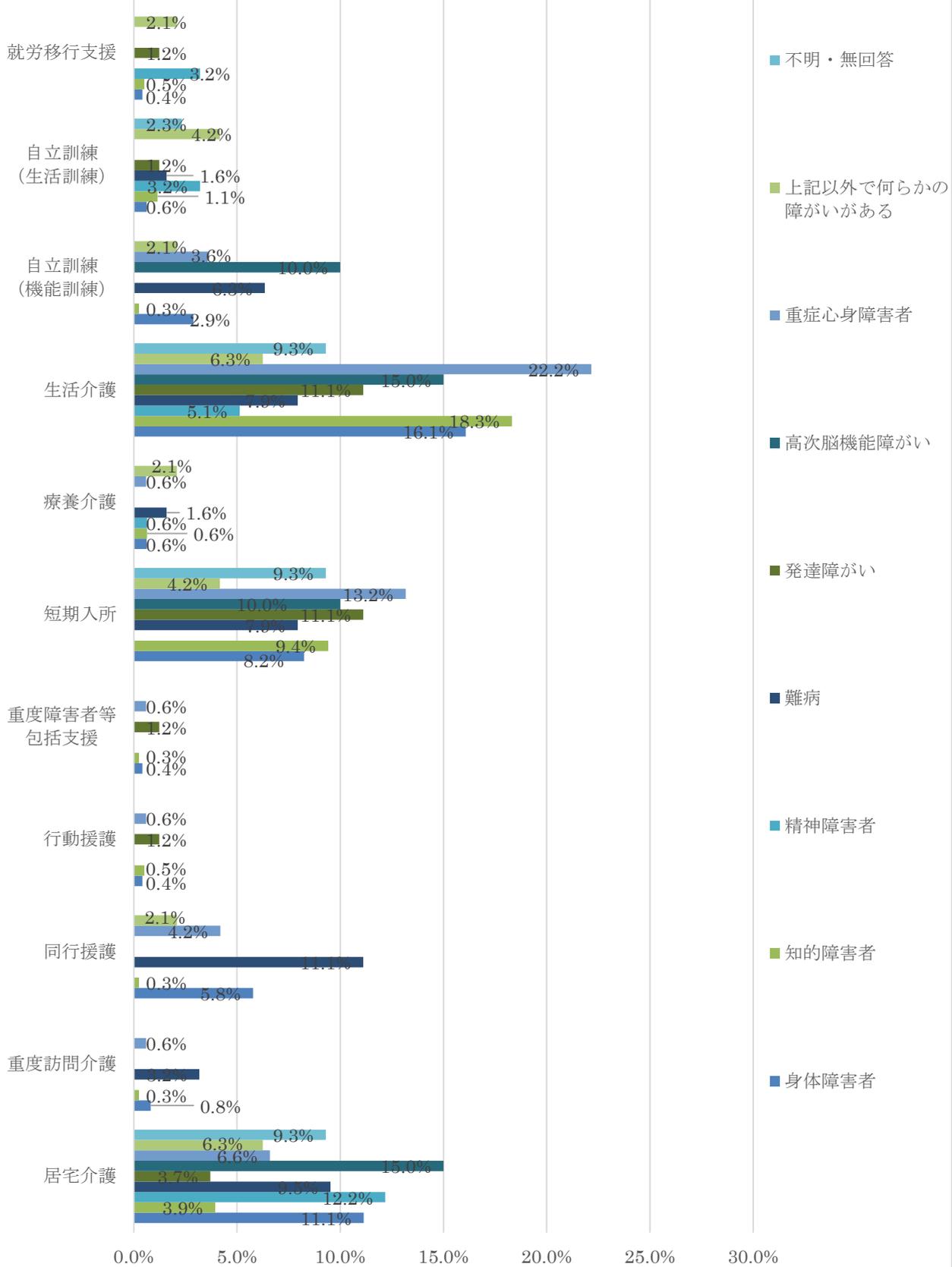
障がい種別では、「居宅介護」は身体障がい者が11.1%、精神障がい者が12.2%、高次脳機能障がい者が15%で比較的多い。「短期入所」は、発達障がい者が11.1%、高次脳機能障がい者が10%、重症心身障がい者が13.2%であった。また、精神障がいは、「就労継続支援（A型）」が14.7%、「共同生活援助」が13.5%と、他と比較して多い。

上段:度数 下段:%	居宅介護	重度訪問介護	同行支援	行動支援	重度障害者等 包括支援	短期入所	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援
身体障害者	54 11.1%	4 0.8%	28 5.8%	2 0.4%	2 0.4%	40 8.2%	3 0.6%	78 16.1%	14 2.9%	3 0.6%	2 0.4%
知的障害者	31 3.9%	2 0.3%	2 0.3%	4 0.5%	2 0.3%	74 9.4%	5 0.6%	144 18.3%	2 0.3%	9 1.1%	4 0.5%
精神障害者	19 12.2%	-	-	-	-	-	1 0.6%	8 5.1%	-	5 3.2%	5 3.2%
難病	6 9.5%	2 3.2%	7 11.1%	-	-	5 7.9%	1 1.6%	5 7.9%	4 6.3%	1 1.6%	-
発達障がい	3 3.7%	-	-	1 1.2%	-	9 11.1%	-	9 11.1%	-	1 1.2%	1 1.2%
高次脳機能障がい	3 15.0%	-	-	-	-	2 10.0%	-	3 15.0%	2 10.0%	-	-
重症心身障害者	11 6.6%	1 0.6%	7 7.9%	1 0.6%	1 0.6%	22 13.2%	1 0.6%	37 22.2%	6 3.6%	-	-
上記以外で何らかの障がいがある	3 6.3%	-	1 2.1%	-	-	2 4.2%	1 2.1%	3 6.3%	1 2.1%	2 4.2%	1 2.1%
不明・無回答	4 9.3%	-	-	-	-	4 9.3%	-	4 9.3%	-	1 2.3%	-
合計	134 7.5%	9 0.5%	45 2.5%	8 0.4%	6 0.3%	158 8.8%	12 0.7%	291 16.3%	29 1.6%	22 1.2%	13 0.7%

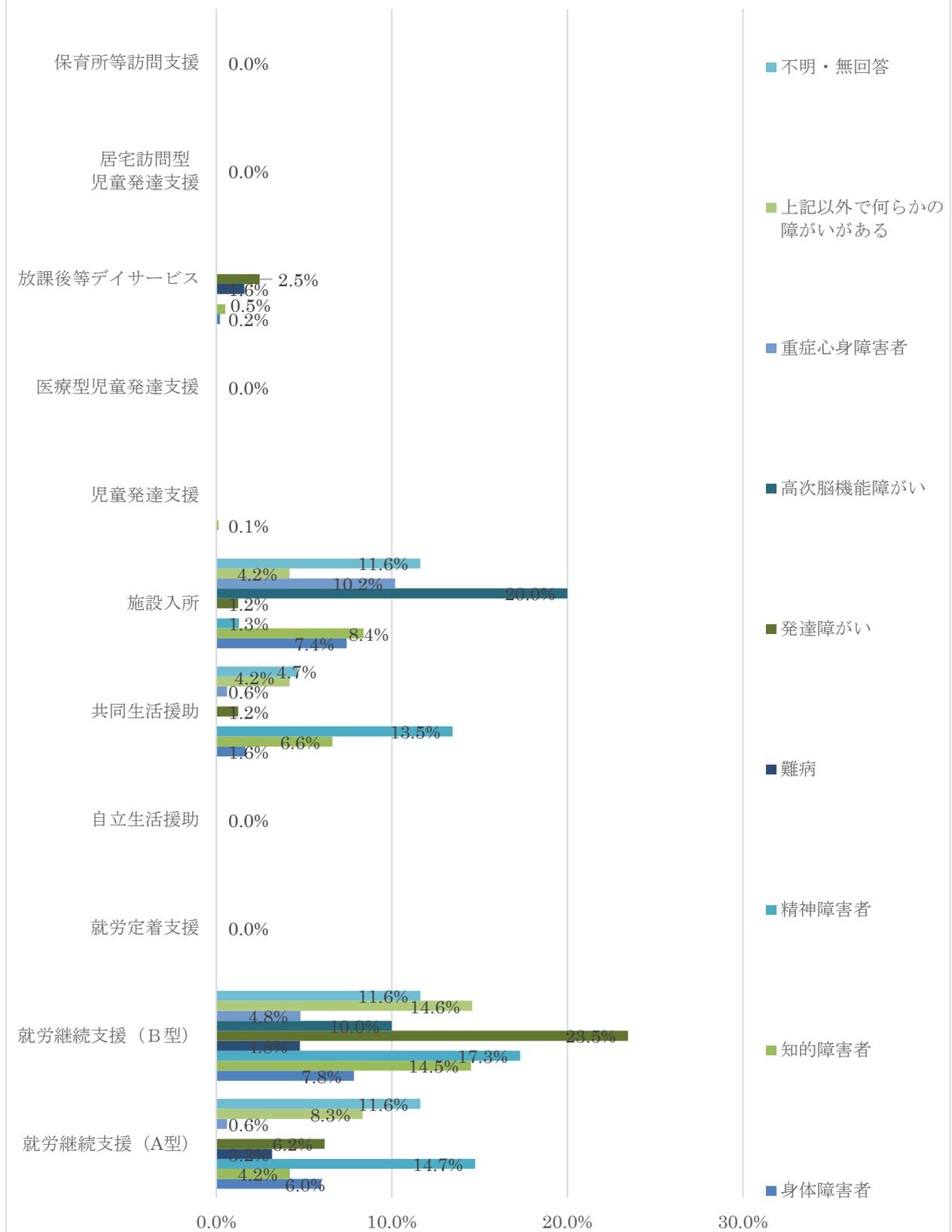
上段:度数 下段:%	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	自立生活援助	共同生活援助	施設入所	児童発達支援	医療型児童 発達支援	放課後等 デイサービス	居宅訪問型 児童発達支援	保育所等 訪問支援
身体障害者	29 6.0%	38 7.8%	-	-	8 1.6%	36 7.4%	-	-	1 0.2%	-	-
知的障害者	33 4.2%	114 14.5%	-	-	52 6.6%	66 8.4%	1 0.1%	-	4 0.5%	-	-
精神障害者	23 14.7%	27 17.3%	-	-	21 13.5%	2 1.3%	-	-	-	-	-
難病	2 3.2%	3 4.8%	-	-	1 1.2%	-	-	-	1 1.6%	-	-
発達障がい	5 6.2%	19 23.5%	-	-	1 1.2%	1 1.2%	-	-	2 2.5%	-	-
高次脳機能障がい	-	2 10.0%	-	-	-	4 20.0%	-	-	-	-	-
重症心身障害者	1 0.6%	8 4.8%	-	-	1 0.6%	17 10.2%	-	-	-	-	-
上記以外で何らかの障がいがある	4 8.3%	7 14.6%	-	-	2 4.2%	2 4.2%	-	-	-	-	-
不明・無回答	5 11.6%	5 11.6%	-	-	2 4.7%	5 11.6%	-	-	-	-	-
合計	102 5.7%	223 12.5%	-	-	87 4.9%	133 7.4%	1 0.1%	-	8 0.4%	-	-

上段:度数 下段:%	福祉型児童 入所支援	医療型児童 入所支援	計画相談支援	障害児相談支援	地域移行支援	地域定着支援	成年後見人制度 利用支援	意思疎通支援	日常生活用具 給付	移動支援	日中一時支援	不明・無回答	合計
身体障害者	-	-	58 12.0%	2 0.4%	1 0.2%	2 0.4%	2 0.4%	-	10 2.1%	20 4.1%	11 2.3%	37 7.6%	485 100.0%
知的障害者	-	-	121 15.4%	2 0.3%	-	-	5 0.6%	-	4 0.5%	44 5.6%	39 5.0%	22 2.8%	786 100.0%
精神障害者	-	-	29 18.6%	1 0.6%	2 1.3%	5 3.2%	1 0.6%	-	2 1.3%	2 1.3%	2 1.9%	3 1.9%	156 100.0%
難病	-	-	3 4.8%	-	-	-	-	-	2 3.2%	3 4.8%	1 1.6%	17 27.0%	63 100.0%
発達障がい	-	-	16 19.8%	-	-	-	-	-	1 1.2%	5 6.2%	5 6.2%	1 1.2%	81 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	3 15.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	1 5.0%	20 100.0%
重症心身障害者	-	-	19 11.4%	-	-	-	1 0.6%	-	6 3.6%	12 7.2%	11 6.6%	4 2.4%	167 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	-	6 12.5%	-	1 2.1%	1 2.1%	-	-	-	1 2.1%	-	10 20.8%	48 100.0%
不明・無回答	-	-	8 18.6%	-	-	-	-	-	-	2 4.7%	2 4.7%	1 2.3%	43 100.0%
合計	-	-	263 14.7%	5 0.3%	4 0.2%	8 0.4%	9 0.5%	-	23 1.3%	89 5.0%	71 4.0%	37 2.1%	1790 100.0%

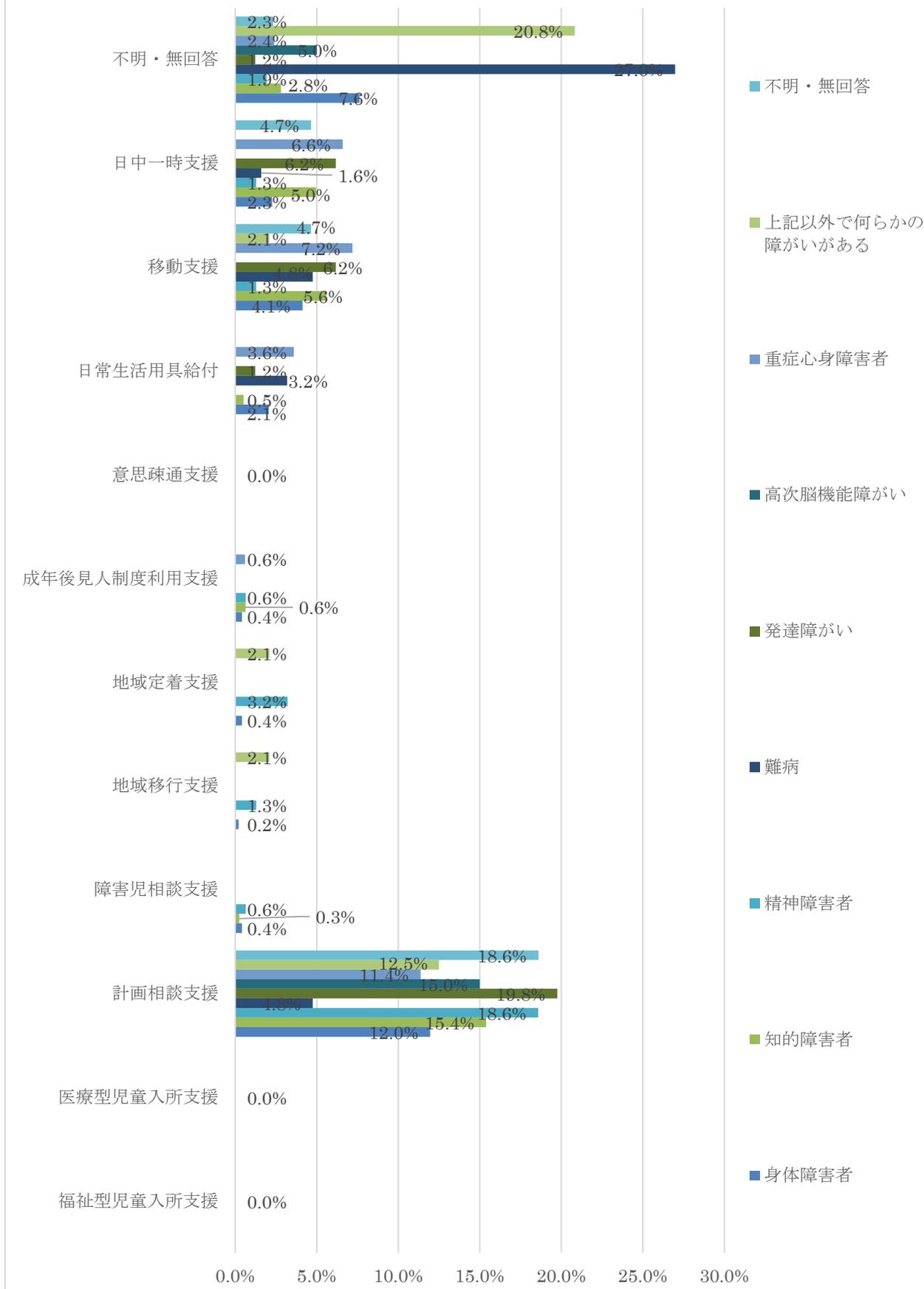
問 1 1 . 現在利用している障害福祉サービス（者）①



問 1 1 . 現在利用している障害福祉サービス（者）②



問 1 1. 現在利用している障害福祉サービス（者）③



(12) 近い将来（およそ3年後）利用したい障害福祉サービス等について

問12 ご本人が、今は利用していないが、近い将来（およそ3年後）利用したい障害福祉サービス等について、あてはまるものすべてに○をしてください。

※項目は87ページに記載の「障害福祉サービス等について」です。

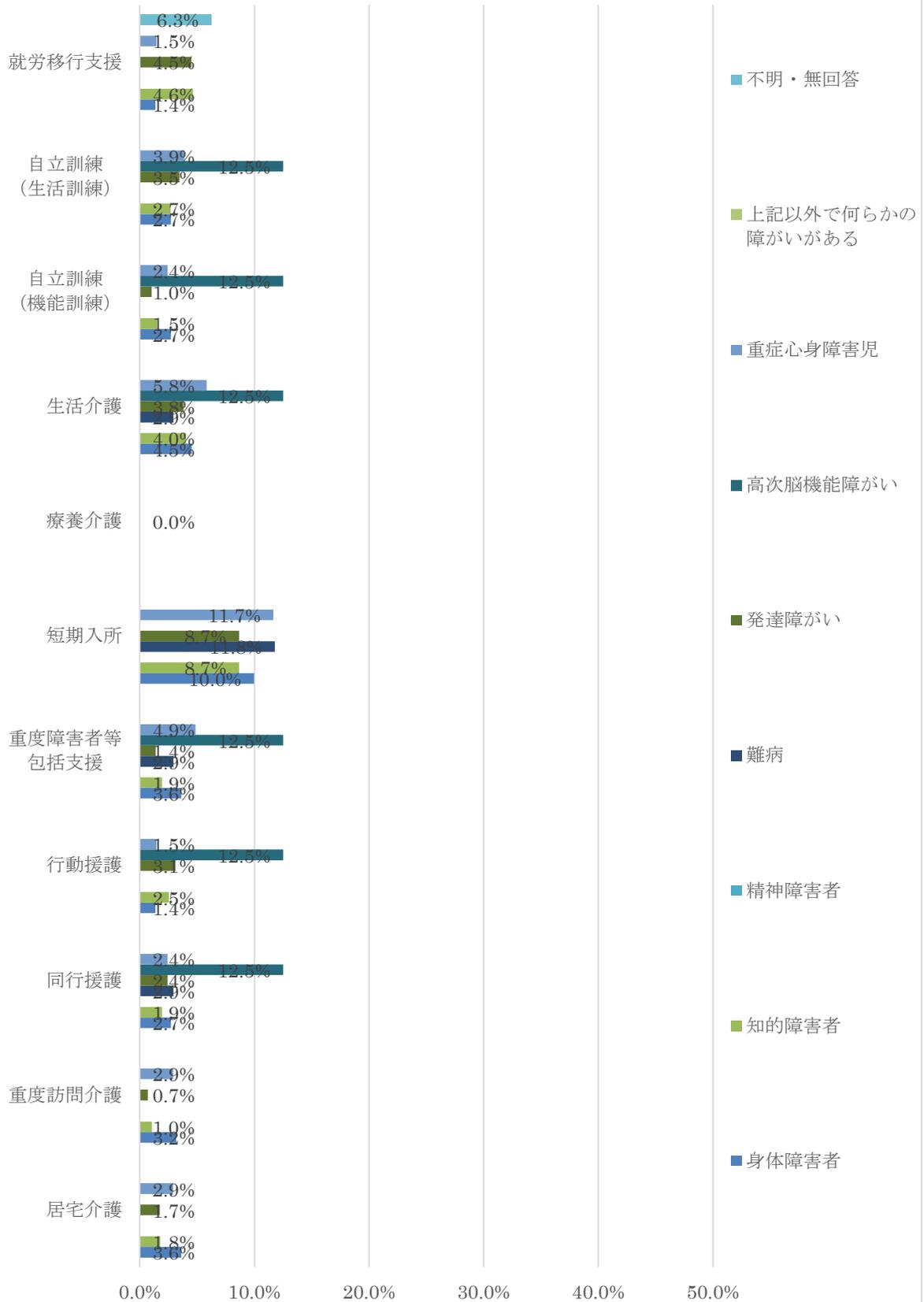
児の近い将来利用したい障害福祉サービスは、全体では「短期入所」が9.1%、「放課後等デイサービス」が7.6%で比較的多い。その他のサービスはニーズが分散しているが、不明・無回答が最も多く、18.3%を占めている。障害者総合支援法の改正により新設されるサービスも含めて、制度やサービス内容の周知・啓発等により、障がい関係者への理解を促進する必要があると考えられる。

上段：度数 下段：%	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等 包括支援	短期入所	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援
身体障害者	8 3.6%	7 3.2%	6 2.7%	3 1.4%	8 3.6%	22 10.0%	-	10 4.5%	6 2.7%	6 2.7%	3 1.4%
知的障害者	12 1.8%	7 1.0%	13 1.9%	17 2.5%	13 1.9%	58 8.7%	-	27 4.0%	10 1.5%	18 2.7%	31 4.6%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	1 2.9%	-	1 2.9%	4 11.8%	-	1 2.9%	-	-	-
発達障がい	5 1.7%	2 0.7%	7 2.4%	9 3.1%	4 1.4%	25 8.7%	-	11 3.8%	3 1.0%	10 3.5%	13 4.5%
高次脳機能障がい	-	-	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	-	-	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	-
重症心身障害児	6 2.9%	6 2.9%	5 2.4%	3 1.5%	10 4.9%	24 11.7%	-	12 5.8%	5 2.4%	8 3.9%	3 1.5%
上記以外で何らかの障がいがある	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明・無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 6.3%
合計	31 2.1%	22 1.5%	33 2.3%	33 2.3%	37 2.5%	133 9.1%	-	62 4.2%	25 1.7%	43 2.9%	51 3.5%

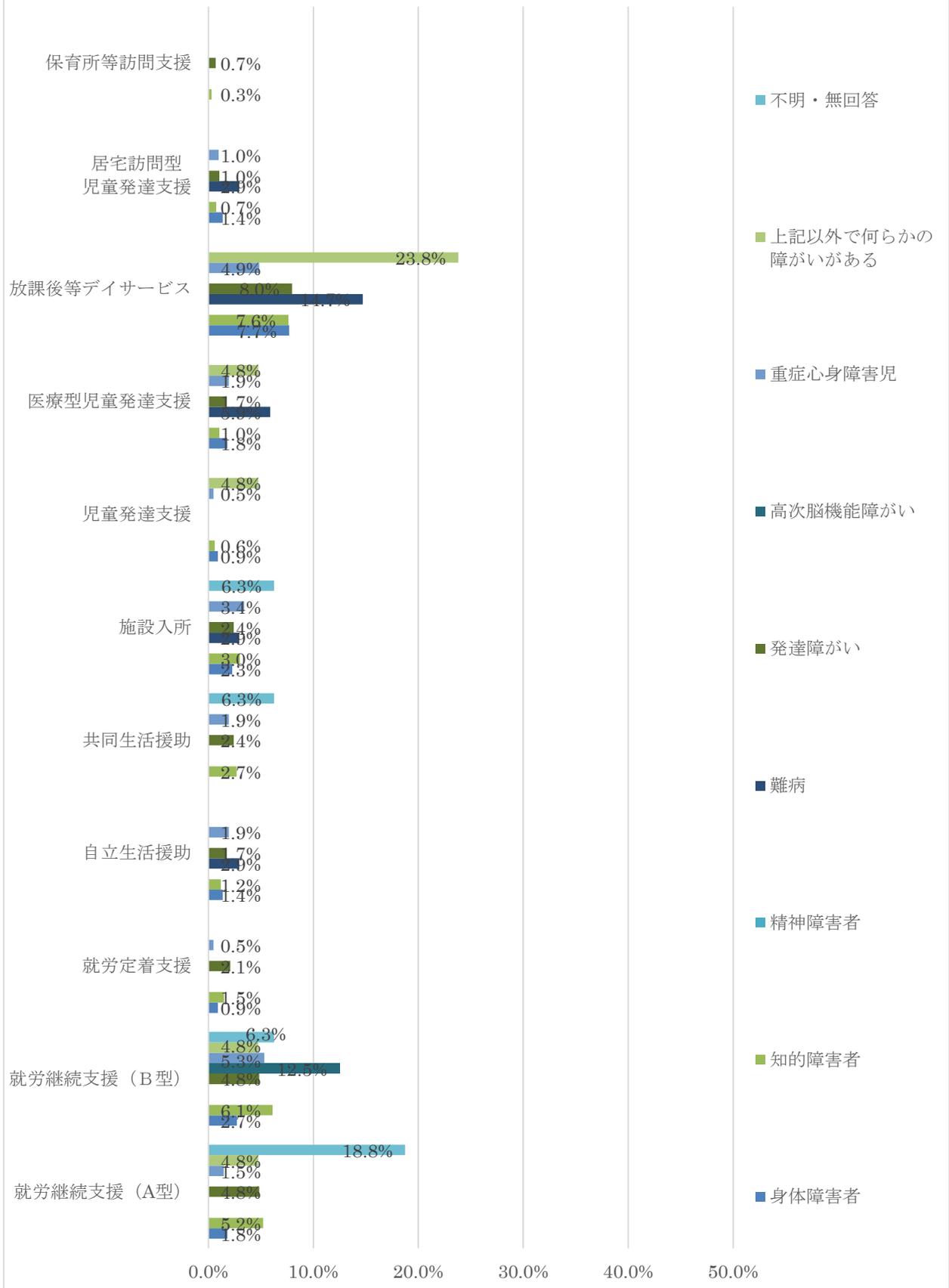
上段：度数 下段：%	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	自立生活援助	共同生活援助	施設入所	児童発達支援	医療型児童 発達支援	放課後等 デイサービス	居宅訪問型児 童発達支援	保育所等 訪問支援
身体障害者	4 1.8%	6 2.7%	2 0.9%	3 1.4%	-	5 2.3%	2 0.9%	4 1.8%	17 7.7%	3 1.4%	-
知的障害者	35 5.2%	41 6.1%	10 1.5%	8 1.2%	18 2.7%	20 3.0%	4 0.6%	7 1.0%	51 7.6%	5 0.7%	2 0.3%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	1 2.9%	-	1 2.9%	-	2 5.9%	5 14.7%	1 2.9%	-
発達障がい	14 4.8%	14 4.8%	6 2.1%	5 1.7%	7 2.4%	7 2.4%	-	5 1.7%	23 8.0%	3 1.0%	2 0.7%
高次脳機能障がい	-	1 12.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症心身障害児	3 1.5%	11 5.3%	1 0.5%	4 1.9%	4 1.9%	7 3.4%	1 0.5%	4 1.9%	10 4.9%	2 1.0%	-
上記以外で何らかの障がいがある	1 4.8%	1 4.8%	-	-	-	-	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%	-	-
不明・無回答	3 18.8%	1 6.3%	-	-	1 6.3%	1 6.3%	-	-	-	-	-
合計	60 4.1%	75 5.1%	19 1.3%	21 1.4%	30 2.0%	41 2.8%	8 0.5%	23 1.6%	111 7.6%	14 1.0%	4 0.3%

上段：度数 下段：%	福祉型児童 入所支援	医療型児童 入所支援	計画相談支援	障害児相談支援	地域移行支援	地域定着支 援	成年後見人制度 利用支援	意思疎通支援	日常生活用具 給付	移動支援	日中一時支援	不明・無回答	合計
身体障害者	1 0.5%	1 0.5%	7 3.2%	7 3.2%	1 0.5%	3 1.4%	4 1.8%	1 0.5%	4 1.8%	11 5.0%	13 5.9%	43 19.5%	221 100.0%
知的障害者	2 0.3%	2 0.3%	27 4.0%	13 1.9%	3 0.4%	5 0.7%	13 1.9%	1 0.1%	5 0.7%	29 4.3%	32 4.8%	131 19.6%	670 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	-	-	1 2.9%	2 5.9%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.9%	2 5.9%	5 14.7%	34 100.0%
発達障がい	3 1.0%	2 0.7%	13 4.5%	4 1.4%	3 1.0%	3 1.0%	7 2.4%	1 0.3%	4 1.4%	12 4.2%	16 5.5%	46 15.9%	100.0%
高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%
重症心身障害児	1 0.5%	1 0.5%	8 3.9%	7 3.4%	-	1 0.5%	3 1.5%	1 0.5%	4 1.8%	12 5.8%	12 5.8%	27 13.1%	208 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	-	1 4.8%	-	-	-	-	-	-	-	4 4.8%	1 4.8%	10 100.0%
不明・無回答	-	-	1 6.3%	-	-	-	1 6.3%	-	1 6.3%	1 6.3%	-	5 31.3%	16 100.0%
合計	8 0.5%	7 0.5%	58 4.0%	31 2.1%	7 0.5%	13 0.9%	30 2.0%	5 0.3%	19 1.3%	67 4.6%	76 5.2%	268 18.3%	1465 100.0%

問 1 2. 現在利用しておらず、近い将来（およそ3年後）
利用したい障害福祉サービス（児）①



問 1 2 . 現在利用しておらず、近い将来（およそ3年後）
利用したい障害福祉サービス（児）②



問12. 現在利用しておらず、近い将来（およそ3年後）
利用したい障害福祉サービス（児）③



者の近い将来利用したい障害福祉サービスは、児と同様ニーズが分散しているが、「共同生活援助」が7.0%、「短期入所」が5.1%で他と比較して多い。しかし、「不明・無回答」が全体の32.1%を占めており、各障害福祉サービス内容の把握や、自身が今後利用すべき障害福祉サービスが分からないといった現状が考えられる。

上段:度数 下段:%	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等 包括支援	短期入所	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援
身体障害者	13 3.5%	2 0.5%	12 3.3%	4 1.1%	4 1.1%	15 4.1%	5 1.4%	14 3.8%	14 3.8%	5 1.4%	12 3.3%
知的障害者	15 2.6%	2 0.3%	7 1.2%	11 1.9%	4 0.7%	37 6.4%	6 1.0%	26 4.5%	10 1.7%	10 1.7%	14 2.4%
精神障害者	4 2.8%	2 1.4%	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.4%	7 4.8%	2 1.4%	3 2.1%	5 3.4%
難病	6 5.3%	2 1.8%	4 3.5%	3 2.7%	3 2.7%	6 5.3%	3 2.7%	2 1.8%	4 3.5%	4 3.5%	2 1.8%
発達障がい	-	-	-	-	-	5 7.1%	-	1 1.4%	-	3 4.3%	1 1.4%
高次脳機能障がい	2 13.3%	-	-	-	-	-	-	1 6.7%	1 6.7%	-	2 13.3%
重症心身障害者	4 4.2%	-	1 1.0%	2 2.1%	-	9 9.4%	2 2.1%	3 3.1%	7 7.3%	1 1.0%	3 3.1%
上記以外で何らかの障がいがある	3 6.4%	-	3 6.4%	-	-	1 2.1%	-	2 4.3%	1 2.1%	-	-
不明・無回答	-	-	-	-	-	1 3.7%	-	-	-	-	-
合計	47 3.2%	8 0.5%	28 1.9%	21 1.4%	12 0.8%	75 5.1%	18 1.2%	56 3.8%	40 2.7%	26 1.8%	39 2.7%

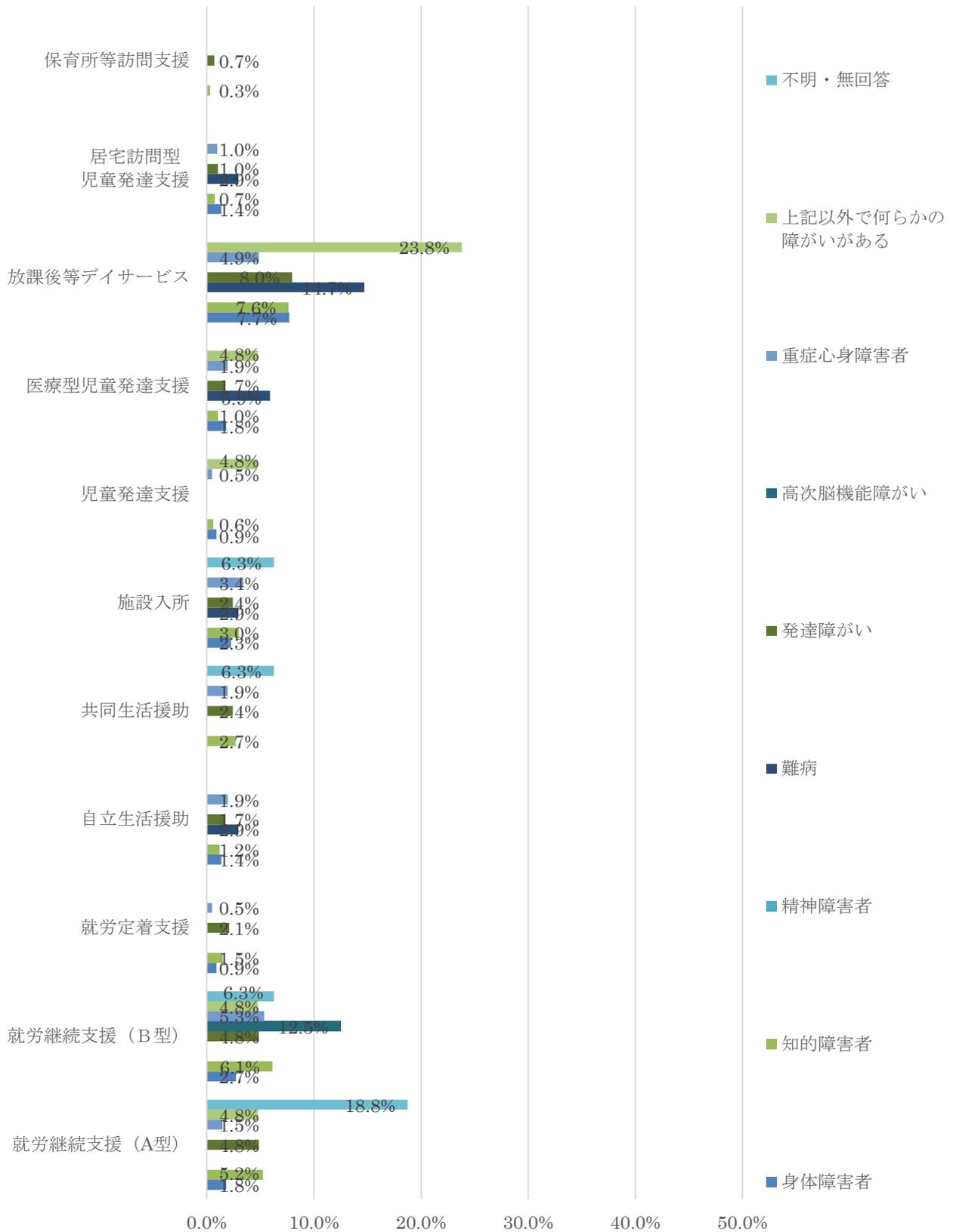
上段:度数 下段:%	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	自立生活援助	共同生活援助	施設入所	児童発達支援	医療型児童 発達支援	放課後等 サービス	居宅訪問型児 童発達支援	保育所等 訪問支援
身体障害者	15 4.1%	12 3.3%	3 0.8%	3 0.8%	15 4.1%	17 4.6%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%
知的障害者	24 4.1%	26 4.5%	4 0.7%	8 1.4%	54 9.3%	32 5.5%	1 0.2%	1 0.2%	2 0.3%	1 0.2%	1 0.2%
精神障害者	10 6.9%	9 6.2%	3 2.1%	2 1.4%	8 5.5%	3 2.1%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.4%	1 0.7%	1 0.7%
難病	1 0.9%	4 3.5%	1 0.9%	2 1.8%	4 3.5%	5 4.4%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%
発達障がい	4 5.7%	2 2.9%	-	2 2.9%	5 7.1%	3 4.3%	-	-	1 1.4%	-	-
高次脳機能障がい	1 6.7%	1 6.7%	-	-	-	2 13.3%	-	-	-	-	-
重症心身障害者	1 1.0%	2 2.1%	-	2 2.1%	11 11.5%	6 6.3%	-	-	-	-	-
上記以外で何らかの障がいがある	-	4 8.5%	1 2.1%	1 2.1%	3 6.4%	1 2.1%	-	-	-	-	-
不明・無回答	4 14.8%	2 7.4%	-	1 3.7%	2 7.4%	1 3.7%	-	-	-	-	-
合計	60 4.1%	62 4.2%	12 0.8%	21 1.4%	102 7.0%	70 4.8%	4 0.3%	4 0.3%	7 0.5%	4 0.3%	4 0.3%

上段:度数 下段:%	福祉型児童 入所支援	医療型児童 入所支援	計画相談支援	障害児相談支援	地域移行支援	地域定着支援	成年後見人制度 利用支援	意思疎通支援	日常生活用具 給付	移動支援	日中一時支援	不明・無回答	合計
身体障害者	1 0.3%	1 0.3%	9 2.4%	1 0.3%	4 1.1%	5 1.4%	5 1.4%	3 0.8%	12 3.3%	17 4.6%	7 1.9%	134 36.3%	369 100.0%
知的障害者	2 0.3%	1 0.2%	29 5.0%	4 0.7%	6 1.0%	6 1.0%	11 1.9%	4 0.7%	5 0.9%	18 3.1%	17 2.9%	182 31.3%	581 100.0%
精神障害者	1 0.7%	1 0.7%	5 3.4%	1 0.7%	1 0.7%	3 2.1%	4 2.8%	2 1.4%	2 1.4%	4 2.8%	2 1.4%	49 33.8%	145 100.0%
難病	1 0.9%	1 0.9%	3 2.7%	1 0.9%	3 2.7%	3 2.7%	2 1.8%	4 3.5%	3 2.7%	5 4.4%	4 3.5%	22 19.5%	113 100.0%
発達障がい	1 1.4%	-	4 5.7%	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	1 1.4%	2 2.9%	4 5.7%	6 8.6%	20 28.6%	70 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5 33.3%	15 100.0%
重症心身障害者	-	-	2 2.1%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	-	-	2 2.1%	4 4.2%	5 5.2%	26 27.1%	96 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	-	3 6.4%	-	1 2.1%	1 2.1%	-	-	1 6.4%	3 6.4%	-	18 38.3%	47 100.0%
不明・無回答	-	-	-	-	-	1 3.7%	1 3.7%	-	-	1 3.7%	-	13 48.1%	27 100.0%
合計	6 0.4%	4 0.3%	55 3.8%	10 0.7%	16 1.1%	20 1.4%	25 1.7%	14 1.0%	27 1.8%	56 3.8%	41 2.8%	469 32.1%	1463 100.0%

問 1 2 . 現在利用しておらず，近い将来（およそ3年後）
利用したい障害福祉サービス（者）①



問 1 2. 現在利用しておらず、近い将来（およそ3年後）
利用したい障害福祉サービス（者）②



問 1 2. 現在利用しておらず、近い将来（およそ3年後）
利用したい障害福祉サービス（者）③



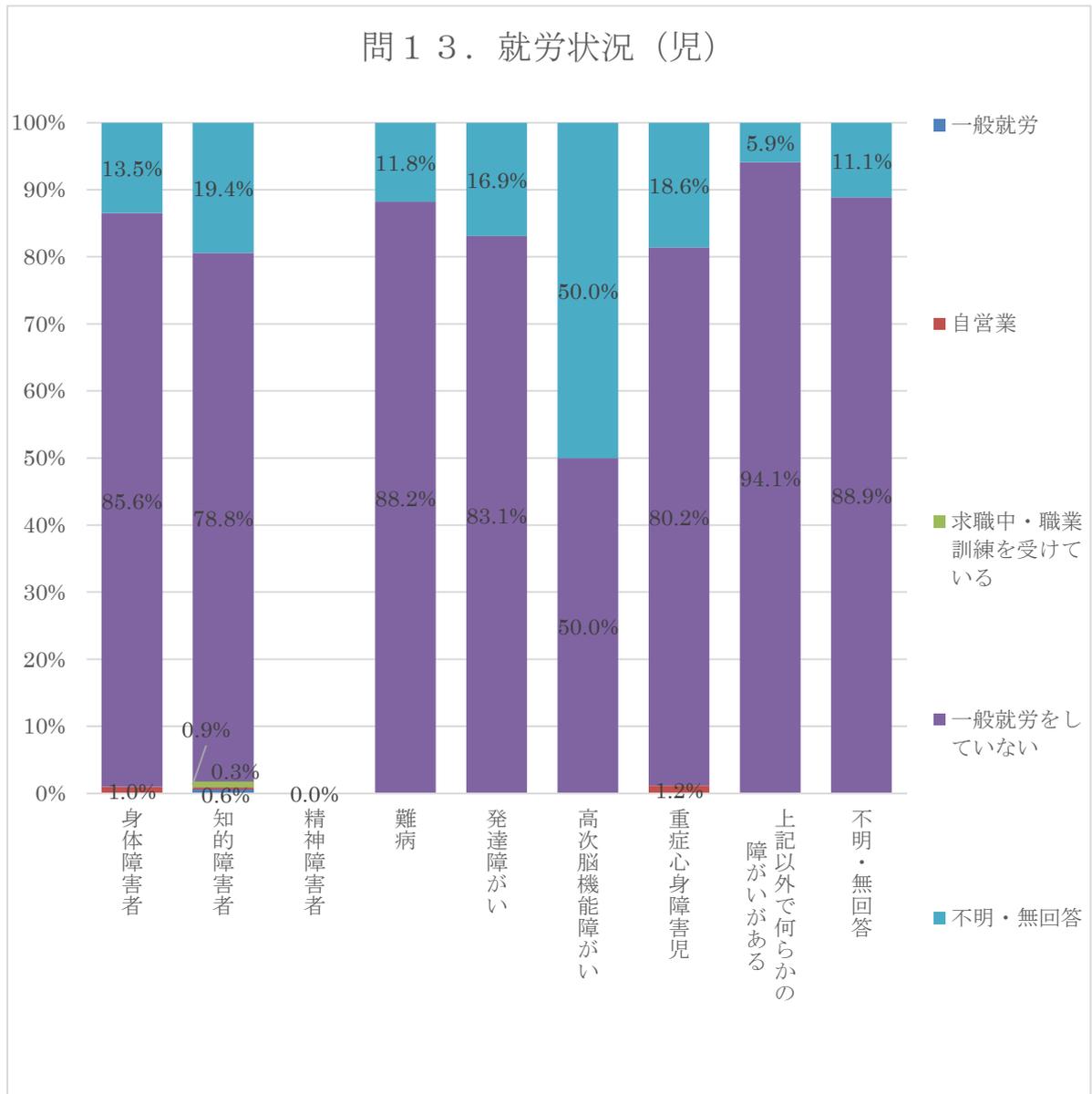
(13) 障がい者の就労状況について

問13 ご本人の現在の就労（仕事）の状況についてお聞きます。あてはまるものに1つだけ○をしてください。

※一般就労には就労継続支援（A型）（B型）は含まれません。

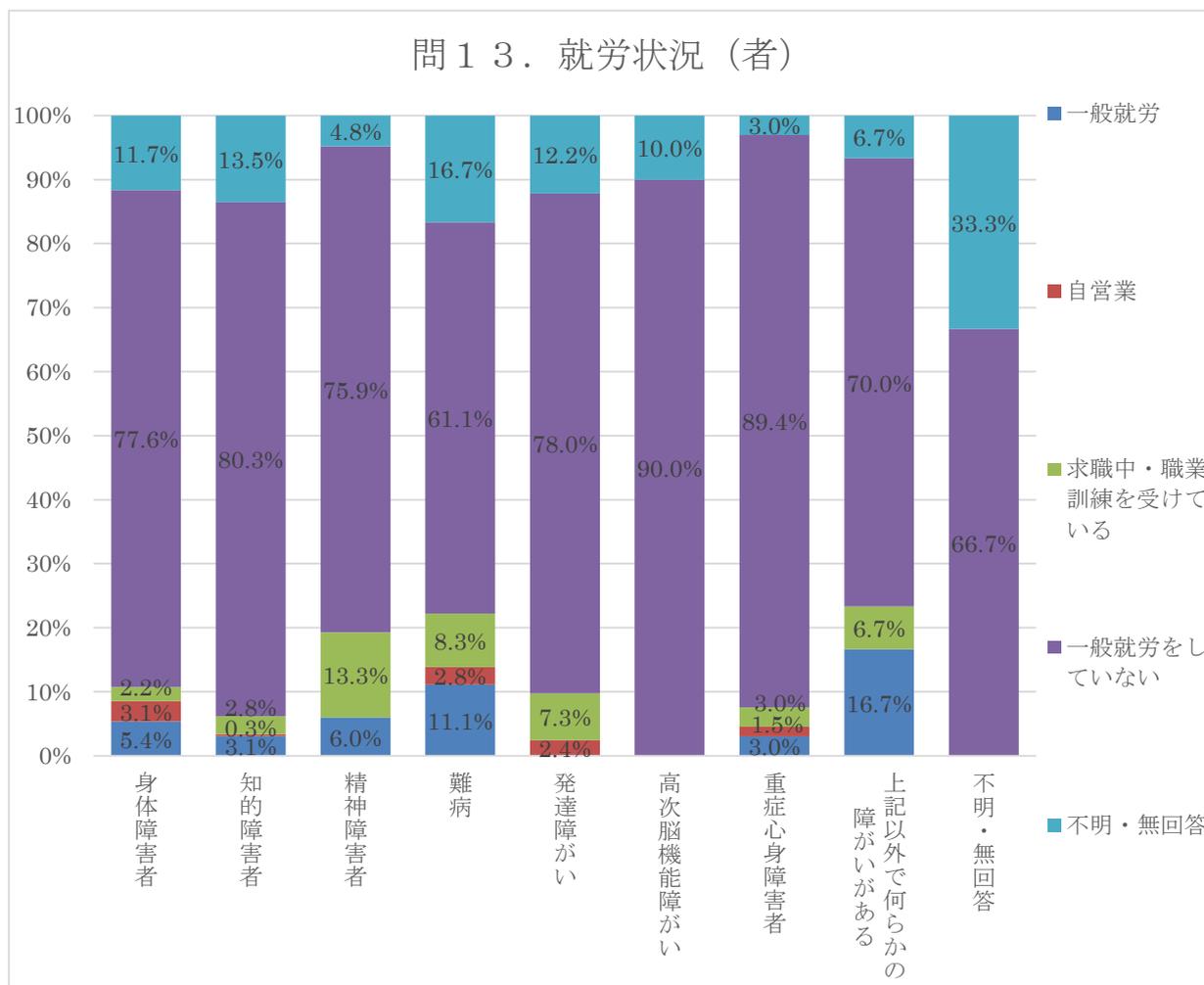
- 1 一般就労をしている（一般企業等で働いている）
- 2 自営業をしている（家業の手伝いを含む） ⇒【問 17】へ
- 3 求職中、または職業訓練を受けている
- 4 一般就労をしていない ⇒【問 14】へ

児の就労状況は、全体では「一般就労をしていない」が81.4%を占めている。未就学児・学齢期の児が大多数であるためと考えられる。



上段：度数 下段：%	一般就労	自営業	求職中・職業訓練を受けている	一般就労をしていない	不明・無回答	合計
身体障害者	-	1	-	89	14	104
	-	1.0%	-	85.6%	13.5%	100.0%
知的障害者	2	1	3	272	67	345
	0.6%	0.3%	0.9%	78.8%	19.4%	100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	15	2	17
	-	-	-	88.2%	11.8%	100.0%
発達障がい	-	-	-	108	22	130
	-	-	-	83.1%	16.9%	100.0%
高次脳機能障がい	-	-	-	1	1	2
	-	-	-	50.0%	50.0%	100.0%
重症心身障害児	-	1	-	69	16	86
	-	1.2%	-	80.2%	18.6%	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	-	-	16	1	17
	-	-	-	94.1%	5.9%	100.0%
不明・無回答	-	-	-	8	1	9
	-	-	-	88.9%	11.1%	100.0%
合計	2	3	3	578	124	710
	0.3%	0.4%	0.4%	81.4%	17.5%	100.0%

者の就労状況は、全体では「一般就労をしていない」が78.4%を占めている。
障がい種別では、精神障がいの「求職中・職業訓練を受けている」が13.3%、難病の「一般就労」が11.1%であり、比較的多い。



上段:度数 下段:%	一般就労	自営業	求職中・職業訓練を受けている	一般就労をしていない	不明・無回答	合計
身体障害者	12 5.4%	7 3.1%	5 2.2%	173 77.6%	26 11.7%	223 100.0%
知的障害者	11 3.1%	1 0.3%	10 2.8%	285 80.3%	48 13.5%	355 100.0%
精神障害者	5 6.0%	-	11 13.3%	63 75.9%	4 4.8%	83 100.0%
難病	4 11.1%	1 2.8%	3 8.3%	22 61.1%	6 16.7%	36 100.0%
発達障がい	-	1 2.4%	3 7.3%	32 78.0%	5 12.2%	41 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	-	9 90.0%	1 10.0%	10 100.0%
重症心身障害者	2 3.0%	1 1.5%	2 3.0%	59 89.4%	2 3.0%	66 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	5 16.7%	-	2 6.7%	21 70.0%	2 6.7%	30 100.0%
不明・無回答	-	-	-	14 66.7%	7 33.3%	21 100.0%
合計	39 4.5%	11 1.3%	36 4.2%	678 78.4%	101 11.7%	865 100.0%

(14) 今後の一般就労への意向について【問 13 で 4 に○をつけた方のみ】

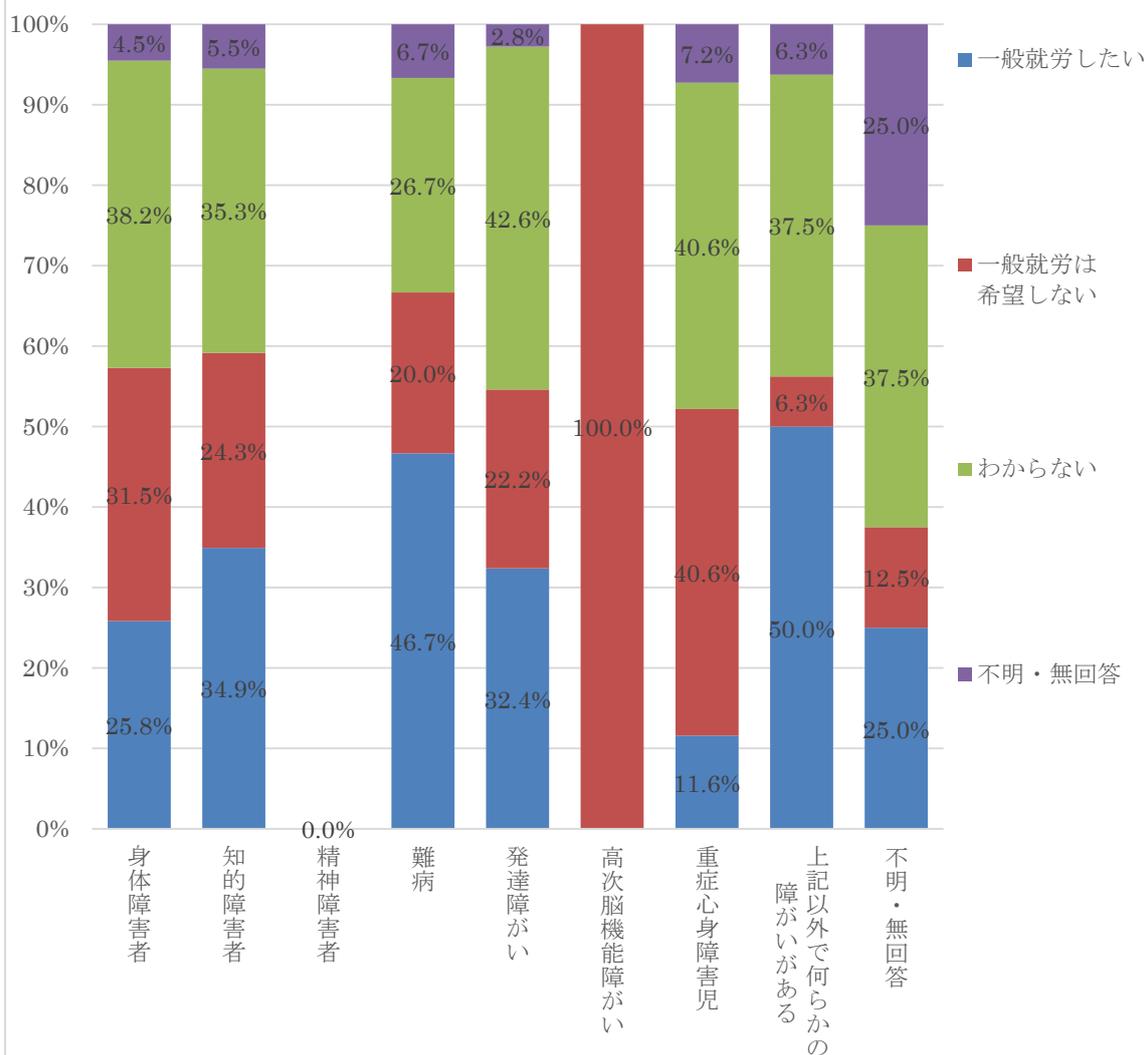
問14 今後の一般就労への意向について、あてはまるものに1つだけ○をしてください。

1	一般就労したい	⇒【問 15】へ
2	一般就労は希望しない	⇒【問 16】へ
3	わからない	⇒【問 17】へ

児の今後の一般就労への意向は、全体では「一般就労したい」が 30.8%、「一般就労は希望しない」が 26.3%、「わからない」が 37.5%であり、将来的な一般就労への意欲は 3割程度にとどまっている。

障がい種別では、難病は「一般就労したい」が 46.7%で比較的高い。一方、重症心身障害児は「一般就労したい」が 11.6%で低い。

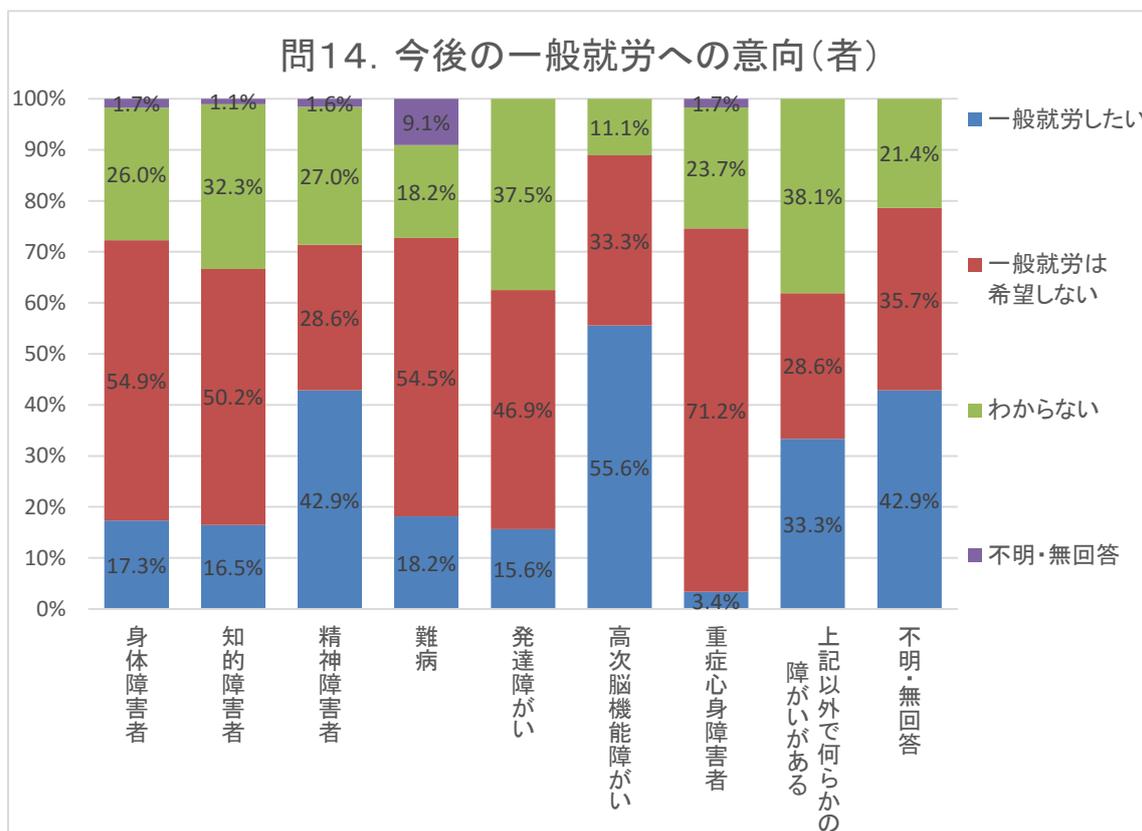
問14. 今後の一般就労への意向（児）



上段:度数 下段:%	一般就労したい	一般就労は希望しない	わからない	不明・無回答	合計
身体障害者	23 25.8%	28 31.5%	34 38.2%	4 4.5%	89 100.0%
知的障害者	95 34.9%	66 24.3%	96 35.3%	15 5.5%	272 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-
難病	7 46.7%	3 20.0%	4 26.7%	1 6.7%	15 100.0%
発達障がい	35 32.4%	24 22.2%	46 42.6%	3 2.8%	108 100.0%
高次脳機能障がい	-	1 100.0%	-	-	1 100.0%
重症心身障害児	8 11.6%	28 40.6%	28 40.6%	5 7.2%	69 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	8 50.0%	1 6.3%	6 37.5%	1 6.3%	16 100.0%
不明・無回答	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	2 25.0%	8 100.0%
合計	178 30.8%	152 26.3%	217 37.5%	31 5.4%	578 100.0%

者の今後の一般就労への意向は、全体では「一般就労したい」が19.6%、「一般就労は希望しない」が50%、「わからない」が28.9%であり、一般就労を希望する者は全体の2割程度にとどまっている。

障がい種別では、精神障がいの「一般就労したい」が42.9%、高次脳機能障がいの同項目が55.6%と、他の障がいと比較して高い。障がい種別によって就労に対するニーズが異なるため、障がい種別に応じた就労に関する支援が必要であると考えられる。



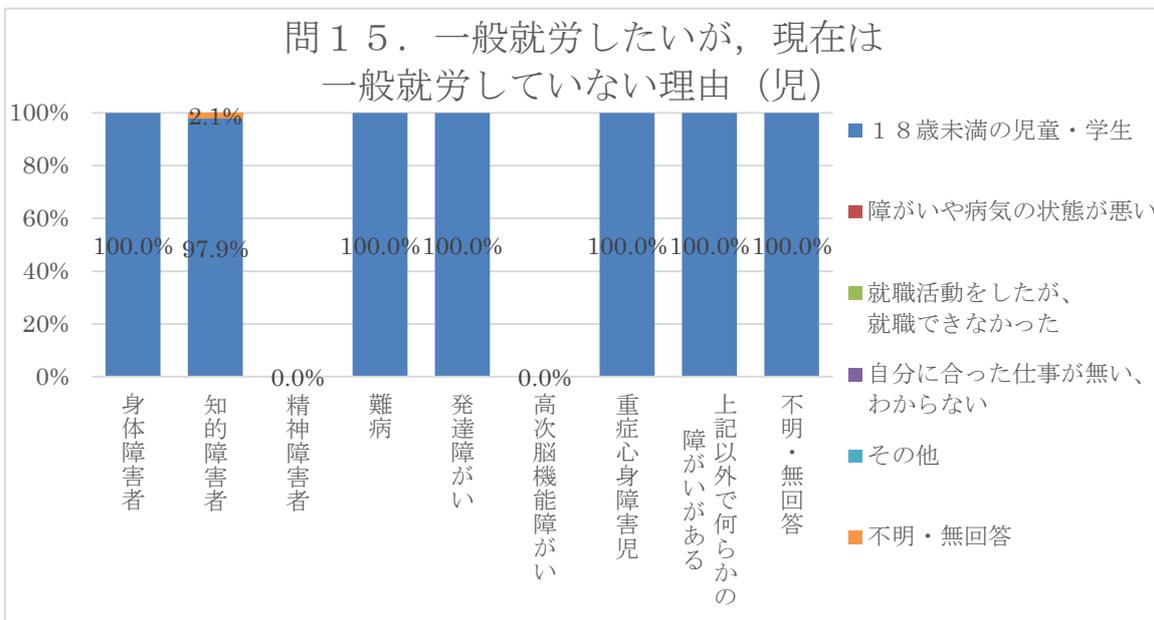
上段:度数 下段:%	一般就労したい	一般就労は希望しない	わからない	不明・無回答	合計
身体障害者	30 17.3%	95 54.9%	45 26.0%	3 1.7%	173 100.0%
知的障害者	47 16.5%	143 50.2%	92 32.3%	3 1.1%	285 100.0%
精神障害者	27 42.9%	18 28.6%	17 27.0%	1 1.6%	63 100.0%
難病	4 18.2%	12 54.5%	4 18.2%	2 9.1%	22 100.0%
発達障がい	5 15.6%	15 46.9%	12 37.5%	-	32 100.0%
高次脳機能障がい	5 55.6%	3 33.3%	1 11.1%	-	9 100.0%
重症心身障害者	2 3.4%	42 71.2%	14 23.7%	1 1.7%	59 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	7 33.3%	6 28.6%	8 38.1%	-	21 100.0%
不明・無回答	6 42.9%	5 35.7%	3 21.4%	-	14 100.0%
合計	133 19.6%	339 50.0%	196 28.9%	10 1.5%	678 100.0%

(15) 一般就労していない理由【問14で1に○をつけた方の】

問15 一般就労したいが、現在は一般就労をしていない理由について、主にあてはまるものに1つだけ○をしてください。

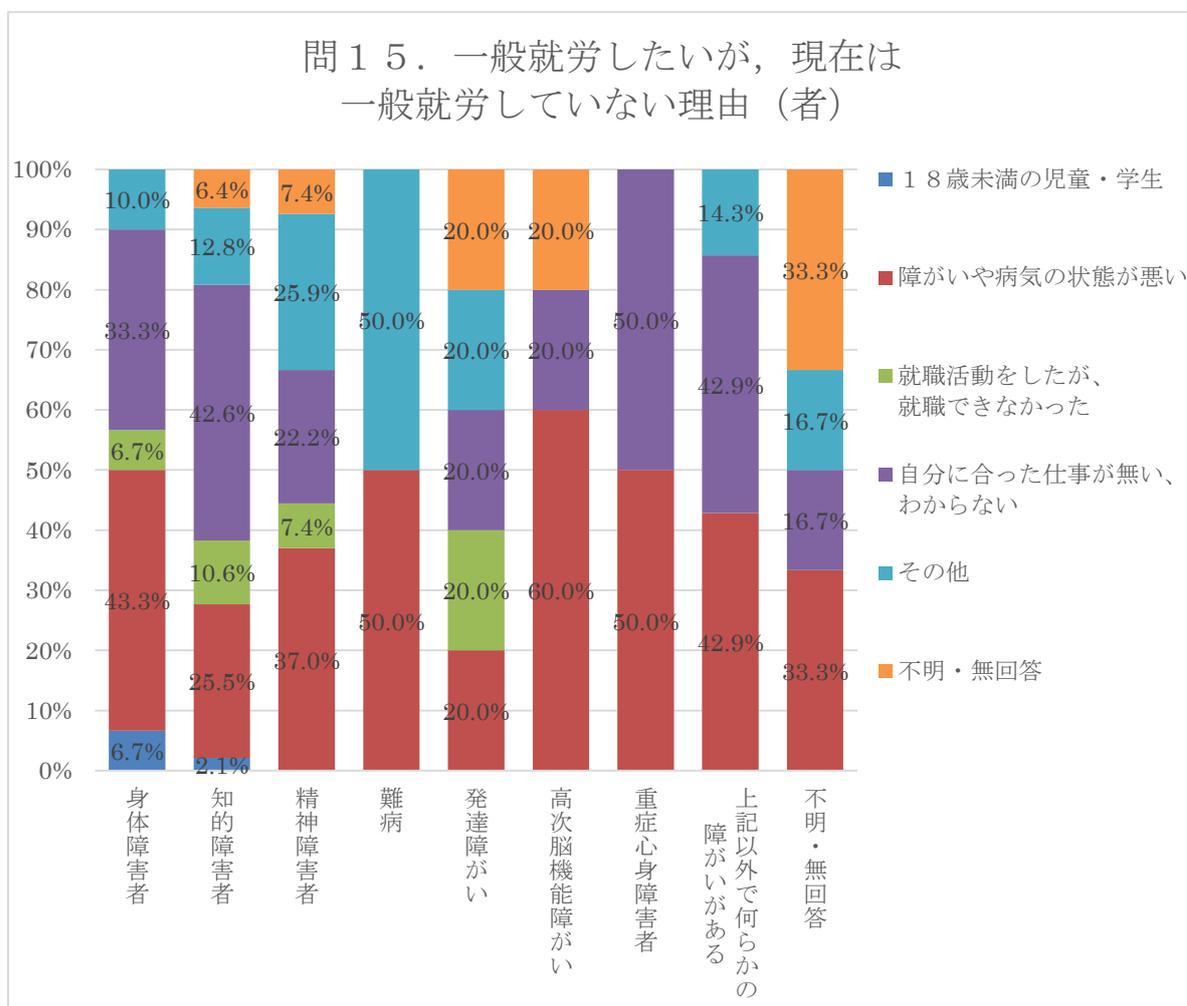
- 1 18歳未満の児童、または学生であるため
- 2 障がいや病気の状態が悪いため
- 3 就職活動をしたが、就職ができなかったため
- 4 自分に合った仕事がない、またはわからないため
- 5 その他（ ）

児の一般就労したいが、現在は一般就労していない理由は、抽出対象が18歳未満であるため、「不明・無回答」を除き、「18歳未満の児童・学生」が100%である。



上段:度数 下段:%	18歳未満の児童・学生	障がいや病気の状態が悪い	就職活動をしたが、就職できなかった	自分に合った仕事がない、わからない	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	23 100.0%	-	-	-	-	-	23 100.0%
知的障害者	93 97.9%	-	-	-	-	2 2.1%	95 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-
難病	7 100.0%	-	-	-	-	-	7 100.0%
発達障がい	35 100.0%	-	-	-	-	-	35 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-	-
重症心身障害児	8 100.0%	-	-	-	-	-	8 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	8 100.0%	-	-	-	-	-	8 100.0%
不明・無回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	2 100.0%
合計	176 98.9%	-	-	-	-	2 1.1%	178 100.0%

者の一般就労したいが、現在は一般就労していない理由は、全体では「障害や病気の状態が悪い」が35.3%で最も多く、「自分に合った仕事が無い、わからない」が次いで32.3%である。後者に対しては、障害福祉サービスの一つである就労移行支援や、松山市障がい福祉課に常駐の就労支援専門員による企業とのマッチング等を活用し、支援の促進が期待される。



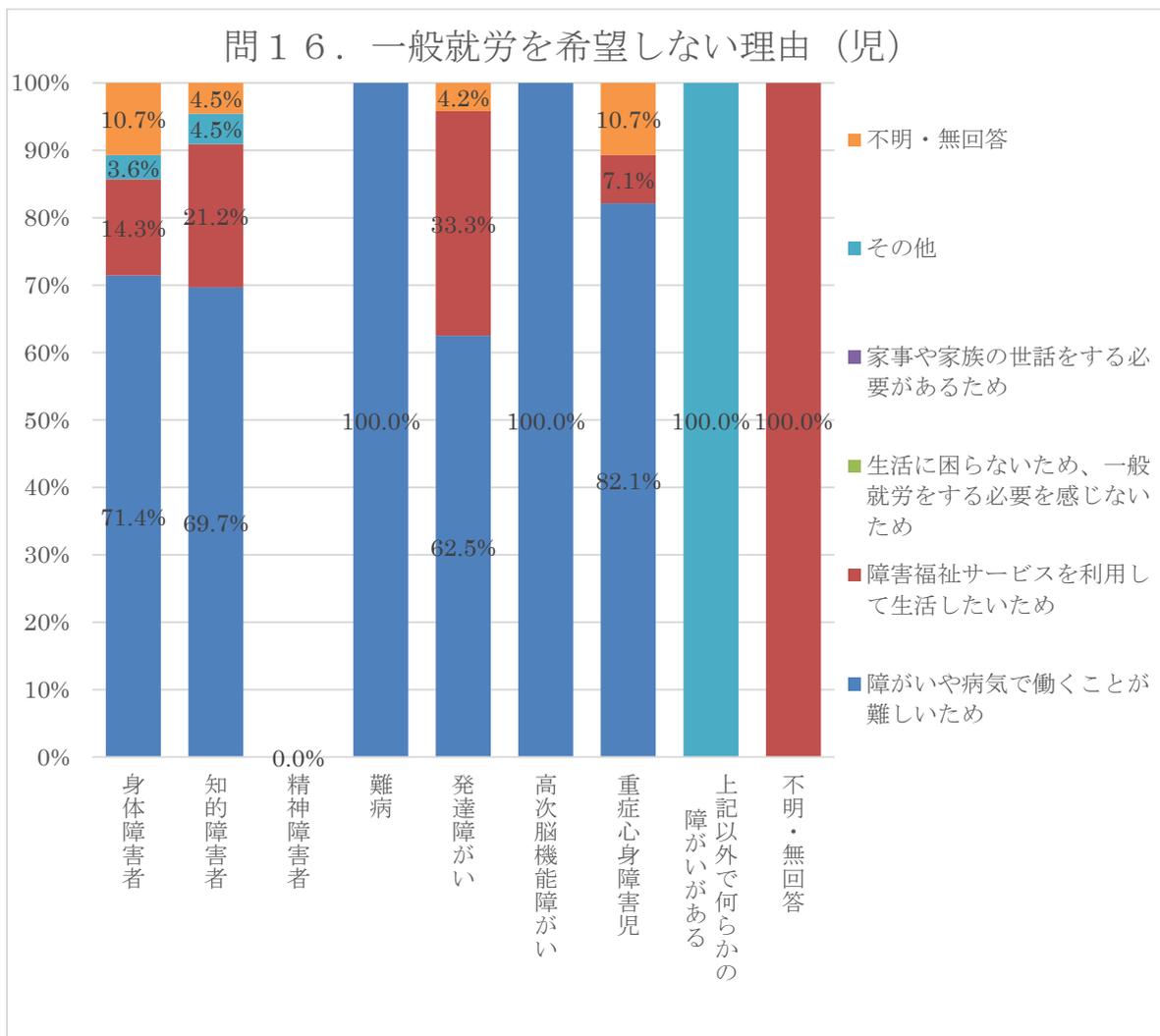
上段:度数 下段:%	18歳未満の児童・学生	障がいや病気の状態が悪い	就職活動をしたが、就職できなかった	自分に合った仕事が無い、わからない	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	2	13	2	10	3	-	30
	6.7%	43.3%	6.7%	33.3%	10.0%	-	100.0%
知的障害者	1	12	5	20	6	3	47
	2.1%	25.5%	10.6%	42.6%	12.8%	6.4%	100.0%
精神障害者	-	10	2	6	7	2	27
	-	37.0%	7.4%	22.2%	25.9%	7.4%	100.0%
難病	-	2	-	-	2	-	4
	-	50.0%	-	-	50.0%	-	100.0%
発達障がい	-	1	1	1	1	1	5
	-	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
高次脳機能障がい	-	3	-	1	-	1	5
	-	60.0%	-	20.0%	-	20.0%	100.0%
重症心身障害者	-	1	-	1	-	-	2
	-	50.0%	-	50.0%	-	-	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	-	3	-	3	1	-	7
	-	42.9%	-	42.9%	14.3%	-	100.0%
不明・無回答	-	2	-	1	1	2	6
	-	33.3%	-	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%
合計	3	47	10	43	21	9	133
	2.3%	35.3%	7.5%	32.3%	15.8%	6.8%	100.0%

(16) 一般就労を希望しない理由【問 14 で 2 に〇をつけた方】

問16 一般就労を希望しない理由について、主にあてはまるものに1つだけ〇をしてください。

- 1 障がいや病気のため、働くことが難しいため
- 2 障害福祉サービスを利用して生活したいため
- 3 生活に困らないので、一般就労をする必要を感じないため
- 4 家事や家族の世話をする必要があるので
- 5 その他 ()

児の一般就労を希望しない理由は、全体では「障がいや病気で働くことが難しいため」が71.1%で最も多く、次いで「障害福祉サービスを利用して生活したいため」が19.1%であった。

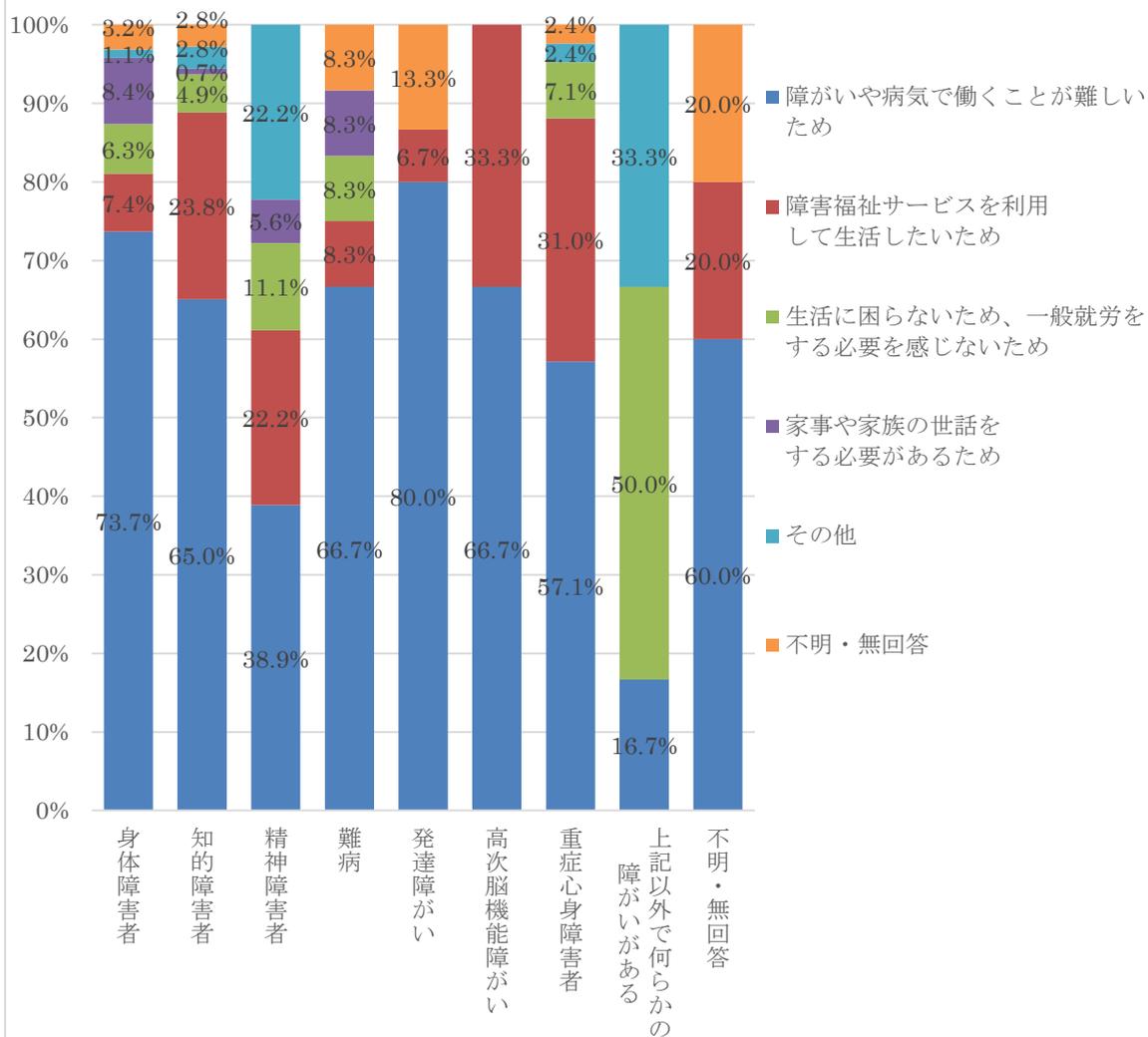


上段:度数 下段:%	障がいや病気で働く ことが難しいため	障害福祉サービス を利用して生活したいため	生活に困らないため、一般就労 をする必要を感じないため	家事や家族の世話を する必要があるため	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	20 71.4%	4 14.3%	-	-	1 3.6%	3 10.7%	28 100.0%
知的障害者	46 69.7%	14 21.2%	-	-	3 4.5%	3 4.5%	66 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-	-
難病	3 100.0%	-	-	-	-	-	3 100.0%
発達障がい	15 62.5%	8 33.3%	-	-	-	1 4.2%	24 100.0%
高次脳機能障がい	1 100.0%	-	-	-	-	-	1 100.0%
重症心身障害児	23 82.1%	2 7.1%	-	-	-	3 10.7%	28 100.0%
上記以外で何らかの 障がいがある	-	-	-	-	1 100.0%	-	1 100.0%
不明・無回答	-	1 100.0%	-	-	-	-	1 100.0%
合計	108 71.1%	29 19.1%	-	-	5 3.3%	10 6.6%	152 100.0%

者の一般就労を希望しない理由は、児と同様、「障がいや病気で働くことが難しいため」が最も多く、64.9%であった。一方、「生活に困らないため、一般就労をする必要を感じないため」が6.5%、「家事や家族の世話をする必要があるため」が3.2%と低く、一般就労を希望しない理由については、就労の必要性を感じないといった要因ではなく、障がい等により就労することが難しいと考えている者が多いと考えられる。

障がい種別では、精神障がいの「障がいや病気で働くことが難しいため」が38.9%であり、全体と比較して低い。また、「障害福祉サービスを利用して生活したいため」は、知的障がいが23.8%、精神障がいが22.2%、高次脳機能障がいが33.3%、重症心身障害児が31%と比較的多い。

問16. 一般就労を希望しない理由（者）



上段：度数 下段：%	障害がいや病気で働くことが難しいため	障害福祉サービスを利用して生活したいため	生活に困らないため、一般就労をする必要を感じないため	家事や家族の世話をする必要があるため	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	70	7	6	8	1	3	95
	73.7%	7.4%	6.3%	8.4%	1.1%	3.2%	100.0%
知的障害者	93	34	7	1	4	4	143
	65.0%	23.8%	4.9%	0.7%	2.8%	2.8%	100.0%
精神障害者	7	4	2	1	4	-	18
	38.9%	22.2%	11.1%	5.6%	22.2%	-	100.0%
難病	8	1	1	1	-	1	12
	66.7%	8.3%	8.3%	8.3%	-	8.3%	100.0%
発達障がい	12	1	-	-	-	2	15
	80.0%	6.7%	-	-	-	13.3%	100.0%
高次脳機能障がい	2	1	-	-	-	-	3
	66.7%	33.3%	-	-	-	-	100.0%
重症心身障害者	24	13	3	-	1	1	42
	57.1%	31.0%	7.1%	-	2.4%	2.4%	100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	1	-	3	-	2	-	6
	16.7%	-	50.0%	-	33.3%	-	100.0%
不明・無回答	3	1	-	-	-	1	5
	60.0%	20.0%	-	-	-	20.0%	100.0%
合計	220	62	22	11	12	12	339
	64.9%	18.3%	6.5%	3.2%	3.5%	3.5%	100.0%

(17) 障害者差別解消法について

問17 障害者差別解消法についてお聞きします。障害者差別解消法が施行された平成28年4月から今までに、障害者等を理由にご本人が差別されたり、いやな思いをしたことについて、あてはまるものに○をしてください。

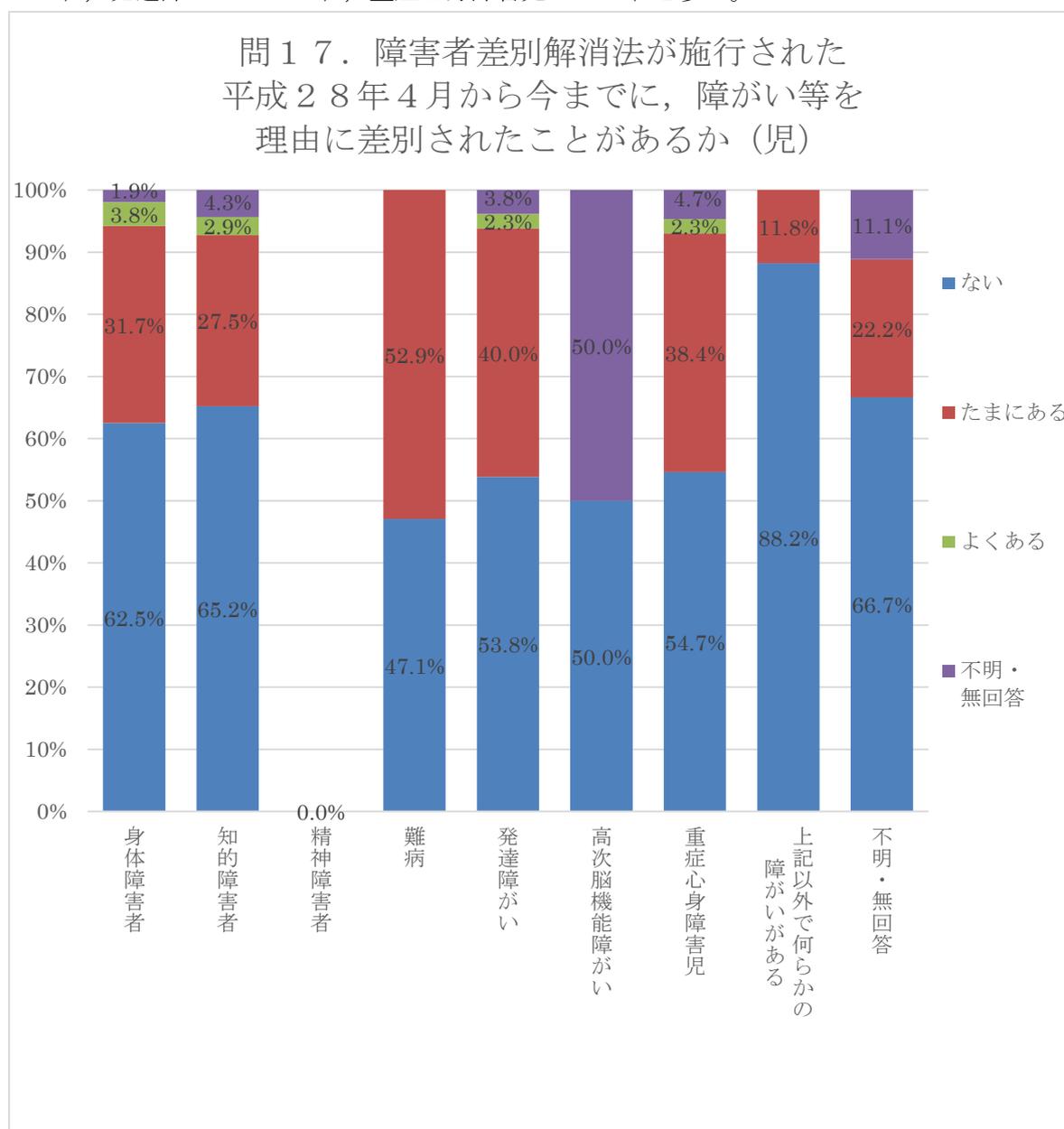
1 ない

2 たまにある

3 よくある

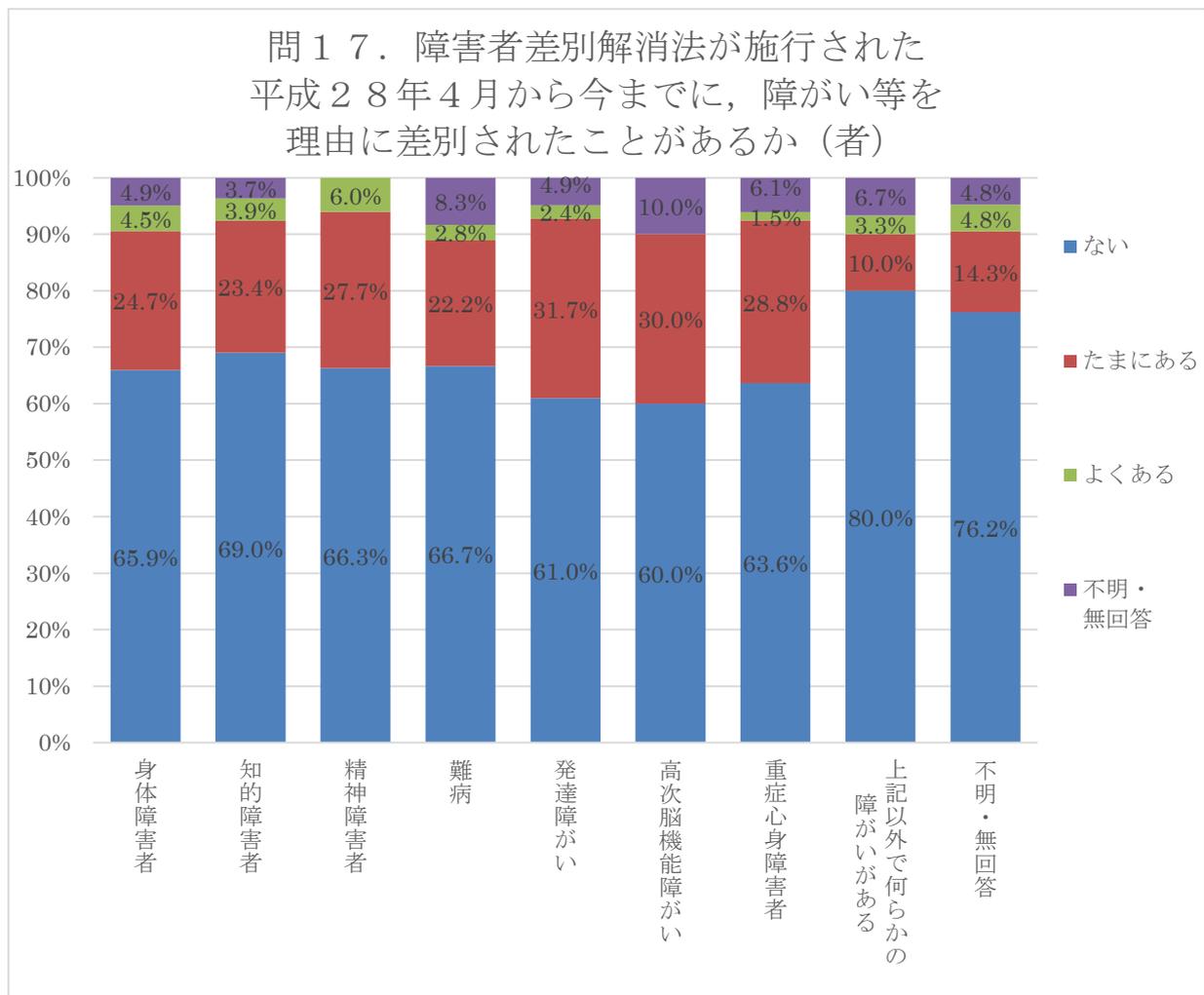
児は、全体では「ない」が61.5%であるが、「たまにある」が31.8%、「よくある」が2.7%で、計34.5%が差別されたり、いやな思いをしたことがあると回答している。

障害者別では、「たまにある」「よくある」のいずれかを回答している者が、難病は52.9%、発達障害が42.3%、重症心身障害児が40.7%と多い。



上段：度数 下段：%	ない	たまにある	よくある	不明・無回答	合計
身体障害者	65 62.5%	33 31.7%	4 3.8%	2 1.9%	104 100.0%
知的障害者	225 65.2%	95 27.5%	10 2.9%	15 4.3%	345 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-
難病	8 47.1%	9 52.9%	-	-	17 100.0%
発達障がい	70 53.8%	52 40.0%	3 2.3%	5 3.8%	130 100.0%
高次脳機能障がい	1 50.0%	-	-	1 50.0%	2 100.0%
重症心身障害児	47 54.7%	33 38.4%	2 2.3%	4 4.7%	86 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	15 88.2%	2 11.8%	-	-	17 100.0%
不明・無回答	6 66.7%	2 22.2%	-	1 11.1%	9 100.0%
合計	437 61.5%	226 31.8%	19 2.7%	28 3.9%	710 100.0%

者は、全体では「ない」が67.5%多く、「たまにある」が24.3%、「よくある」が3.9%であり、計28.2%が差別されたり、いやな思いをしたことがあると回答している。



上段:度数 下段:%	ない	たまにある	よくある	不明・無回答	合計
身体障害者	147 65.9%	55 24.7%	10 4.5%	11 4.9%	223 100.0%
知的障害者	245 69.0%	83 23.4%	14 3.9%	13 3.7%	355 100.0%
精神障害者	55 66.3%	23 27.7%	5 6.0%	-	83 100.0%
難病	24 66.7%	8 22.2%	1 2.8%	3 8.3%	36 100.0%
発達障がい	25 61.0%	13 31.7%	1 2.4%	2 4.9%	41 100.0%
高次脳機能障がい	6 60.0%	3 30.0%	-	1 10.0%	10 100.0%
重症心身障害者	42 63.6%	19 28.8%	1 1.5%	4 6.1%	66 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	24 80.0%	3 10.0%	1 3.3%	2 6.7%	30 100.0%
不明・無回答	16 76.2%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%	21 100.0%
合計	584 67.5%	210 24.3%	34 3.9%	37 4.3%	865 100.0%

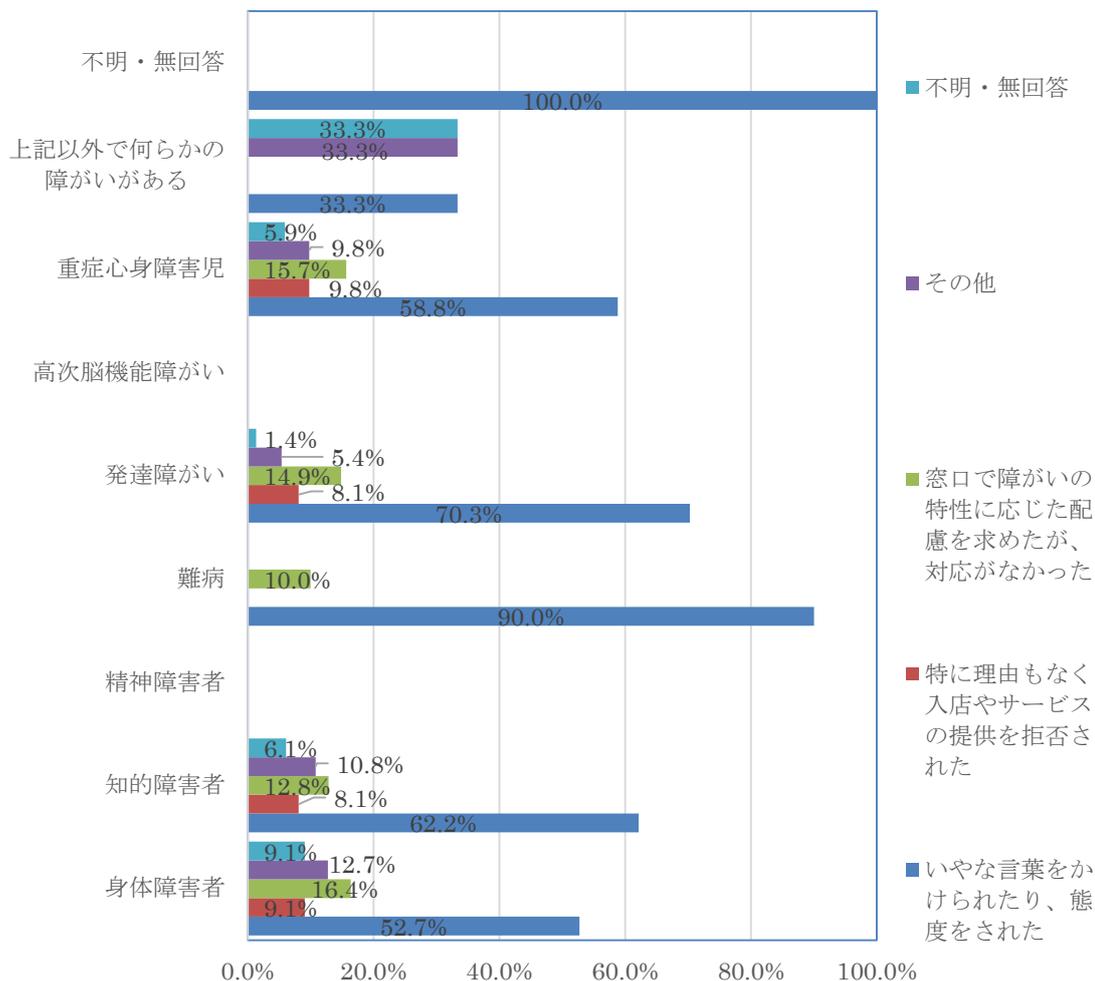
(18) 差別された、またはいやな思いをした経験について【問17で2または3に○をつけた方】

問18 差別されたり、いやな思いをしたことはどのようなことか、あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 いやな言葉をかけられたり、態度をされた
- 2 特に理由もなく入店やサービスの提供を拒否された
- 3 窓口やお店などで障がい特性に応じた手助けや配慮等（筆談、代筆、支援者の同行、休憩を取る等）を求めたが、対応がなかった。
- 4 その他（ ）

見は、全体では「いやな言葉をかけられたり、態度をされた」が62.7%で多い。また、「窓口で障がいの特性に応じた配慮を求めたが、対応がなかった」は14%であり、障害者差別解消法を踏まえた適切な対応が求められていると考えられる。

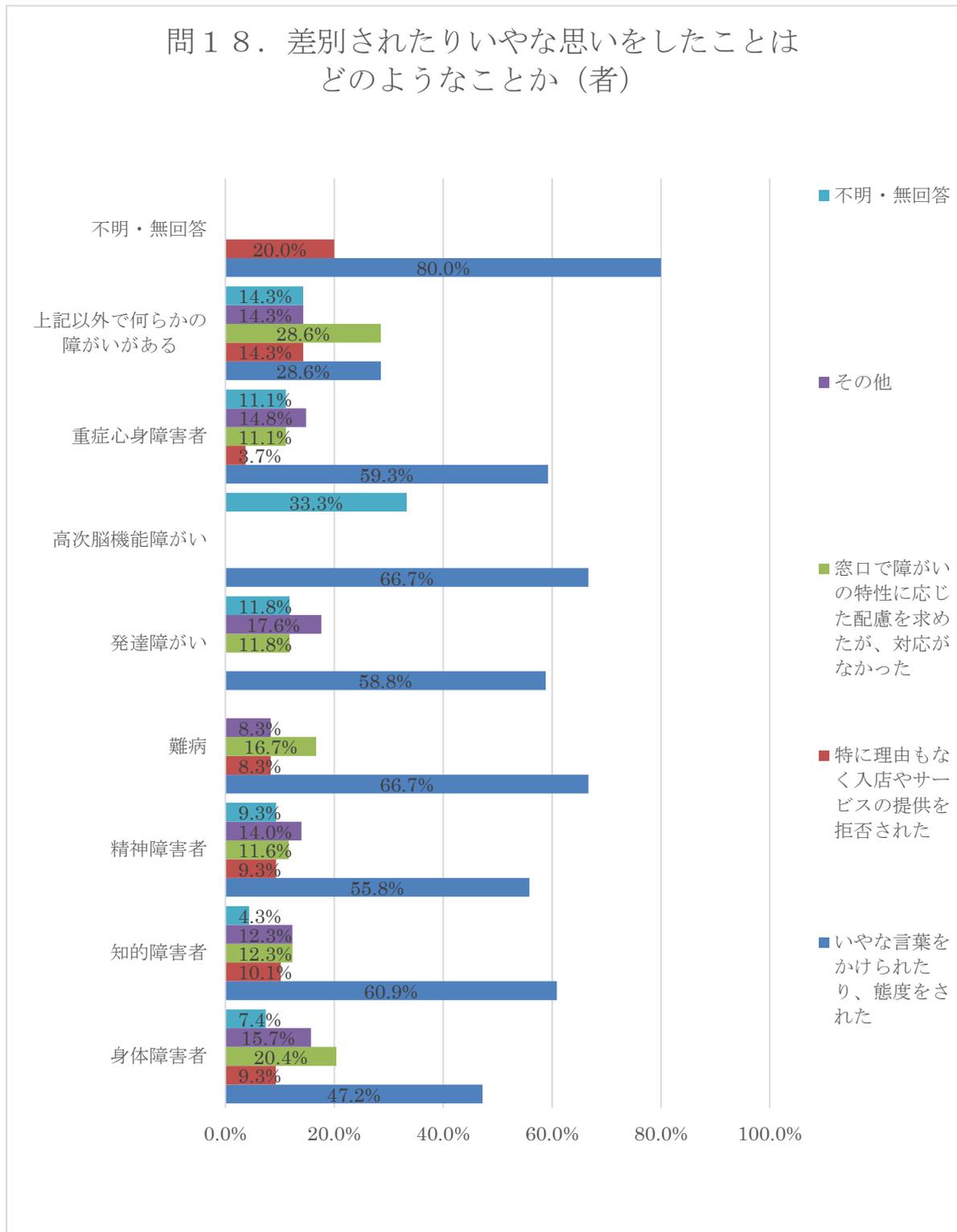
問18. 差別されたりいやな思いをしたことはどのようなことか (児)



上段:度数 下段:%	いやな言葉をかけられたり、態度をされた	特に理由もなく入店やサービスの提供を拒否された	窓口で障がいの特性に応じた配慮を求めたが、対応がなかった	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	29 52.7%	5 9.1%	9 16.4%	7 12.7%	5 9.1%	55 100.0%
知的障害者	92 62.2%	12 8.1%	19 12.8%	16 10.8%	9 6.1%	148 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-
難病	9 90.0%	-	1 10.0%	-	-	10 100.0%
発達障がい	52 70.3%	6 8.1%	11 14.9%	4 5.4%	1 1.4%	74 100.0%
高次脳機能障がい	-	-	-	-	-	-
重症心身障害児	30 58.8%	5 9.8%	8 15.7%	5 9.8%	3 5.9%	51 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	1 33.3%	-	-	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
不明・無回答	2 100.0%	-	-	-	-	2 100.0%
合計	215 62.7%	28 8.2%	48 14.0%	33 9.6%	19 5.5%	343 100.0%

者は、全体では「いやな言葉をかけられたり、態度をされた」が55.8%と多い。また、「窓口で障がいの特性に応じた配慮を求めたが、対応がなかった」は14.7%である。

障がい別では、身体障がいの「窓口で障がいの特性に応じた配慮を求めたが、対応がなかった」は、20.4%と他に比べて多い。今後は、障害者差別解消法の趣旨を鑑み、身体上の障がいに応じた窓口での合理的配慮の提供が期待される。



上段：度数 下段：%	いやな言葉をかけられたり、態度をされた	特に理由もなく入店やサービスの提供を拒否された	窓口で障がいの特性に応じた配慮を求めたが、対応がなかった	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	51 47.2%	10 9.3%	22 20.4%	17 15.7%	8 7.4%	108 100.0%
知的障害者	84 60.9%	14 10.1%	17 12.3%	17 12.3%	6 4.3%	138 100.0%
精神障害者	24 55.8%	4 9.3%	5 11.6%	5 14.0%	4 9.3%	43 100.0%
難病	8 66.7%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	-	12 100.0%
発達障がい	10 58.8%	-	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	17 100.0%
高次脳機能障がい	2 66.7%	-	-	-	1 33.3%	3 100.0%
重症心身障害者	16 59.3%	1 3.7%	3 11.1%	4 14.8%	3 11.1%	27 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	7 100.0%
不明・無回答	4 80.0%	1 20.0%	-	-	-	5 100.0%
合計	201 55.8%	32 8.9%	53 14.7%	49 13.6%	25 6.9%	360 100.0%

(19) 障がい者（児）等の福祉向上のために

必要な取り組みについて

問19 今後、障がい者（児）（難病患者等を含む。）の福祉向上のために必要な取り組みについてお聞きします。これまで以上に特に取り組みが必要と思うものに3つまで〇をしてください。

- 1 もっと一般企業等に就職できやすくなること
- 2 もっと障害者就労施設等の工賃が上がること
- 3 いろいろな活動の場や機会（スポーツや芸術活動、趣味等）があること
- 4 地域住民等がもっと障がい者（児）への理解を深めること
- 5 障がい特性等に応じた手助けや配慮がもっと適切におこなわれること
- 6 障害福祉サービス等がもっと利用できること
- 7 保育や子育て支援のサービス等がもっと利用できること
- 8 ボランティアがもっと利用できること
- 9 成年後見制度を利用しやすくなること
- 10 本人や家族が相談できる場所がもっとあること
- 11 もっと福祉制度や支援の情報が得られやすくなること
- 12 街のバリアフリー化（多目的トイレの設置や段差解消等）や安全対策がもっと進むこと
- 13 障がい者（児）の防災・防犯対策がもっと進むこと
- 14 その他（ ）

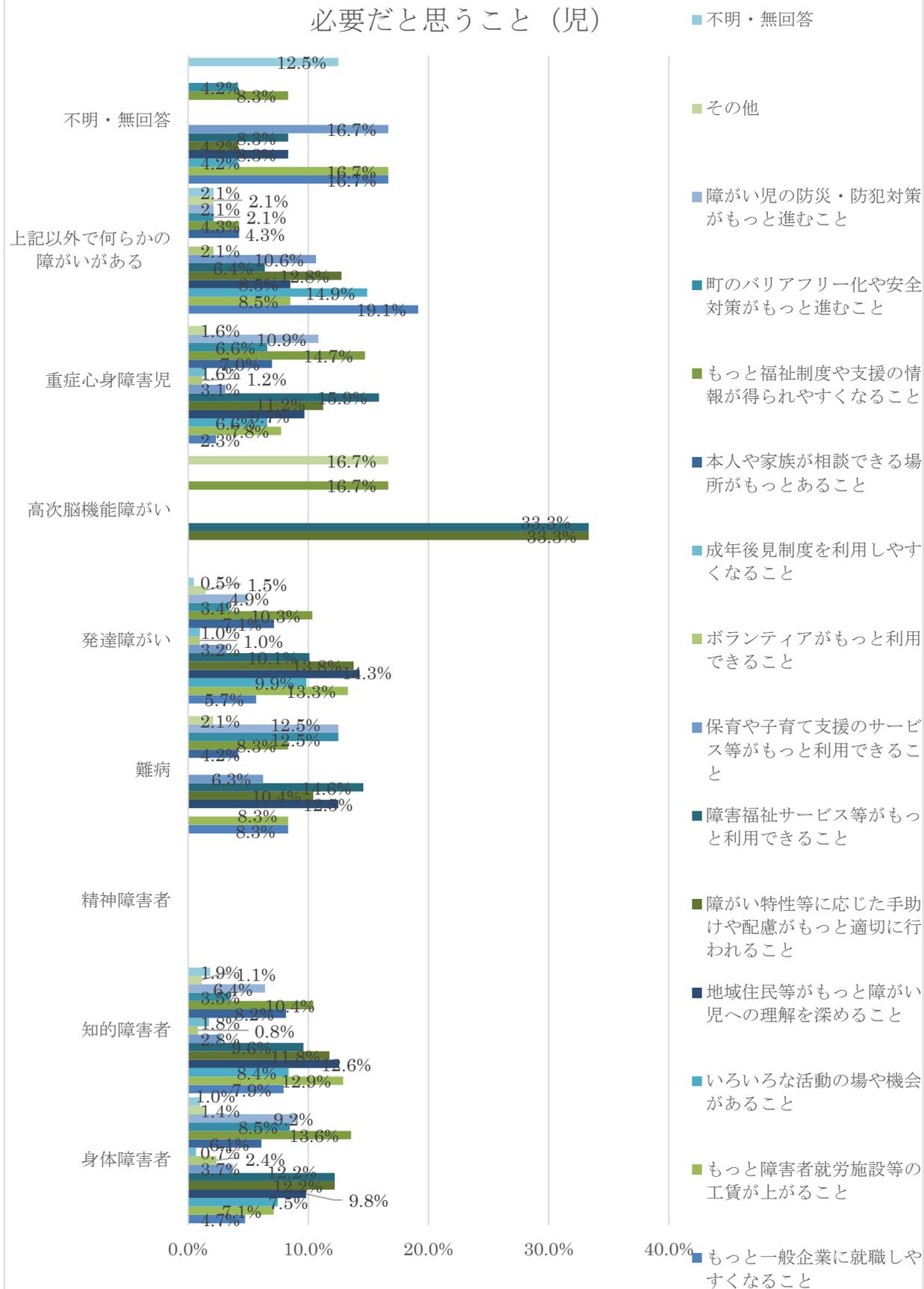
児のこれまで以上に取り組みが必要だと思うことは、全体では、各項目にばらつきがあるが、「もっと障害者就労施設等の工賃が上がること」が11.3%、「地域住民等がもっと障がい者（児）への理解を深めること」が12%、「障がい特性等に応じた手助けや配慮がもっと適切に行われること」が12.1%、「障害福祉サービス等がもっと利用できること」が11%、「もっと福祉制度や支援の情報が得られやすくなること」が11.2%と、他と比較して多い。

上段：度数 下段：%	もっと一般企業に就職しやすくなること	もっと障害者就労施設等の工賃が上がること	いろいろな活動の場や機会があること	地域住民等がもっと障がい児への理解を深めること	障がい特性等に応じた手助けや配慮がもっと適切に行われること
身体障害者	14 4.7%	21 7.1%	22 7.5%	29 9.8%	36 12.2%
知的障害者	77 7.9%	125 12.9%	81 8.4%	122 12.6%	114 11.8%
精神障害者	-	-	-	-	-
難病	4 8.3%	4 8.3%	-	6 12.5%	5 10.4%
発達障がい	23 5.7%	54 13.3%	40 9.9%	58 14.3%	56 13.8%
高次脳機能障がい	-	-	-	-	2 33.3%
重症心身障害児	6 2.3%	20 7.8%	17 6.6%	25 9.7%	29 11.2%
上記以外で何らかの障がいがある	9 19.1%	4 8.5%	7 14.9%	4 8.5%	6 12.8%
不明・無回答	4 16.7%	4 16.7%	1 4.2%	2 8.3%	1 4.2%
合計	137 6.7%	232 11.3%	168 8.2%	246 12.0%	249 12.1%

上段：度数 下段：%	障害福祉サービス等がもっと利用できること	保育や子育て支援のサービス等がもっと利用できること	ボランティアがもっと利用できること	成年後見制度を利用しやすくなること	本人や家族が相談できる場所がもっとあること
身体障害者	36 12.2%	11 3.7%	7 2.4%	2 0.7%	18 6.1%
知的障害者	93 9.6%	27 2.8%	8 0.8%	17 1.8%	79 8.2%
精神障害者	-	-	-	-	-
難病	7 14.6%	3 6.3%	-	-	2 4.2%
発達障がい	41 10.1%	13 3.2%	4 1.0%	4 1.0%	29 7.1%
高次脳機能障がい	2 33.3%	-	-	-	-
重症心身障害児	41 15.9%	8 3.1%	3 1.2%	4 1.6%	18 7.0%
上記以外で何らかの障がいがある	3 6.4%	5 10.6%	1 2.1%	-	2 4.3%
不明・無回答	2 8.3%	4 16.7%	-	-	-
合計	225 11.0%	71 3.5%	23 1.1%	27 1.3%	148 7.2%

上段：度数 下段：%	もっと福祉制度や支援の情報が得られやすくなること	町のバリアフリー化や安全対策がもっと進むこと	障がい児の防災・防犯対策がもっと進むこと	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	40 13.6%	25 8.5%	27 9.2%	4 1.4%	3 1.0%	295 100.0%
知的障害者	101 10.4%	34 3.5%	62 6.4%	11 1.1%	18 1.9%	969 100.0%
精神障害者	-	-	-	-	-	-
難病	4 8.3%	6 12.5%	6 12.5%	1 2.1%	-	48 100.0%
発達障がい	42 10.3%	14 3.4%	20 4.9%	6 1.5%	2 0.5%	406 100.0%
高次脳機能障がい	1 16.7%	-	-	1 16.7%	-	6 100.0%
重症心身障害児	38 14.7%	17 6.6%	28 10.9%	4 1.6%	-	258 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	2 4.3%	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	47 100.0%
不明・無回答	2 8.3%	1 4.2%	-	-	3 12.5%	24 100.0%
合計	230 11.2%	98 4.8%	144 7.0%	28 1.4%	27 1.3%	2053 100.0%

問19. これまで以上に取り組みが必要だと思うこと（児）



者のこれまで以上に取り組みが必要だと思うことは、全体では、「もっと障害者就労施設等の工賃が上がること」が11%、「いろいろな活動の場や機会があること」が10.9%、「地域住民等がもっと障がい者（児）への理解を深めること」が10.6%、「障がい特性等に応じた手助けや配慮がもっと適切に行われること」が10.6%、「障害福祉サービス等がもっと利用できること」が10.4%で、他と比較して多い。

障がい別では、全体と比較して「もっと一般企業に就職しやすくなること」が、精神障がい者が16.4%、高次脳機能障がい者が18.2%と多く、就労支援のニーズが見られる。また、「本人や家族が相談できる場所がもっとあること」は、発達障がい者が11%であり、「もっと福祉制度や支援の情報が得られやすくなること」は、難病が11.2%、発達障がい者が11.9%、「町のバリアフリー化や安全対策がもっと進むこと」は、身体障がい者が11.1%、難病が16.9%、高次脳機能障がい者が13.6%であり、障がい毎に必要なと感じる取り組みは異なることがうかがえる。

上段：度数 下段：%	もっと一般企業に就職しやすくなること	もっと障害者就労施設等の工賃が上がること	いろいろな活動の場や機会があること	地域住民等がもっと障がい者への理解を深めること	障がい特性等に応じた手助けや配慮がもっと適切に行われること
身体障害者	51 9.6%	60 11.3%	55 10.3%	57 10.7%	45 8.5%
知的障害者	54 5.8%	98 10.6%	114 12.3%	102 11.0%	110 11.9%
精神障害者	35 16.4%	33 15.4%	17 7.9%	18 8.4%	17 7.9%
難病	7 7.9%	5 5.6%	10 11.2%	11 12.4%	7 7.9%
発達障がい	6 5.1%	14 11.9%	14 11.9%	10 8.5%	19 16.1%
高次脳機能障がい	4 18.2%	3 13.6%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%
重症心身障害者	10 5.8%	16 9.2%	19 11.0%	21 12.1%	26 15.0%
上記以外で何らかの障がいがある	12 17.1%	8 11.4%	4 5.7%	10 14.3%	5 7.1%
不明・無回答	3 4.5%	6 9.0%	6 9.0%	4 6.0%	3 4.5%
合計	182 8.2%	243 11.0%	241 10.9%	234 10.6%	235 10.6%

上段：度数 下段：%	障害福祉サービス等がもっと利用できること	保育や子育て支援のサービス等がもっと利用できること	ボランティアがもっと利用できること	成年後見制度を利用しやすくなること	本人や家族が相談できる場所がもっとあること
身体障害者	66 12.4%	4 0.8%	15 2.8%	7 1.3%	26 4.9%
知的障害者	89 9.6%	10 1.1%	24 2.6%	30 3.2%	75 8.1%
精神障害者	17 7.9%	7 3.3%	7 3.3%	2 0.9%	21 9.8%
難病	11 12.4%	-	2 2.2%	1 1.1%	3 3.4%
発達障がい	13 11.0%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.7%	13 11.0%
高次脳機能障がい	3 13.6%	-	-	-	1 4.5%
重症心身障害者	24 13.9%	2 1.2%	1 0.6%	1 0.6%	12 6.9%
上記以外で何らかの障がいがある	3 4.3%	2 2.9%	3 4.3%	1 1.4%	9 12.9%
不明・無回答	4 6.0%	3 4.5%	-	-	7 10.4%
合計	230 10.4%	29 1.3%	53 2.4%	44 2.0%	167 7.6%

上段：度数 下段：%	もっと福祉制度や支援の情報が得られやすくなること	町のバリアフリー化や安全対策がもっと進むこと	障がい者の防災・防犯対策がもっと進むこと	その他	不明・無回答	合計
身体障害者	44 8.3%	59 11.1%	16 3.0%	6 1.1%	21 3.9%	532 100.0%
知的障害者	71 7.7%	54 5.8%	51 5.5%	10 1.1%	33 3.6%	925 100.0%
精神障害者	17 7.9%	8 3.7%	6 2.8%	4 1.9%	5 2.3%	214 100.0%
難病	10 11.2%	15 16.9%	2 2.2%	1 1.1%	4 4.5%	89 100.0%
発達障がい	14 11.9%	4 3.4%	5 4.2%	1 0.8%	1 0.8%	118 100.0%
高次脳機能障がい	1 4.5%	3 13.6%	-	-	1 4.5%	22 100.0%
重症心身障害者	13 7.5%	15 8.7%	10 5.8%	3 1.7%	-	173 100.0%
上記以外で何らかの障がいがある	5 7.1%	1 1.4%	2 2.9%	1 1.4%	4 5.7%	70 100.0%
不明・無回答	5 7.5%	4 6.0%	1 1.5%	-	21 31.3%	67 100.0%
合計	180 8.1%	163 7.4%	93 4.2%	26 1.2%	90 4.1%	2210 100.0%

問19. これまで以上に取り組みが必要だと思うこと(者)

